

2026

SSU履修ガイド

この履修ガイドは、卒業まで使用しますので大切に保管してください。

授業中のマナーについて

授業の妨げや他の学生の迷惑にならないよう、以下のマナーを守り、積極的に授業に参加するよう心掛けてください。

- 授業に遅刻しない。
- 私語を慎む。授業に関係のない目的でスマートフォン等を使用することは禁止です。
- 授業中の入退室は、原則禁止です。トイレ等、やむを得ず入退室する場合は、他の学生の迷惑にならないよう、心掛けてください。
- 授業中は、帽子を脱いでください。
- その他、受講に関してはシラバスや授業担当教員の指示に従ってください。

※受講に関して別途、授業担当教員より指定がある場合があります。

※詳細は、シラバス等により確認してください。

※マナーを守れない場合、受講資格を失うことがあります。

授業の撮影・録音について

1. 授業の様子や板書内容、ディスプレイ・スクリーンへの映写物などを写真や動画に撮影、または録音する場合、授業担当教員の許可を事前に得てください。
2. 前述の許可を得た学生のみ、撮影または録音したものを使用できますが、それらを他人に使用させたり、インターネット上などに公表することはできません。
3. 許可を得て撮影または録音したものを、特殊な事情により、他人に使用させたり、インターネット上などに公表しようとする場合、授業担当教員の許可が別途、事前に必要です。

以上

目 次

■ 履修ガイドとは？	1
■ 学部・学科・キャンパス	2
■ 大学での学び	3
1. 大学での学び方	3
2. 単位と単位修得	4
3. 履修登録	5
4. 専門ゼミナール・卒業研究	9
5. 授業科目へのナンバリング	11
6. 社会実践講座	14
7. 資格取得	14
8. 他大学等での単位修得	15
■ 授業について	17
1. 授業時間	17
2. 休講、補講、集中講義	17
3. 学生ポータル	19
■ 試験・レポートについて	20
1. 試験とレポート	20
2. レポート・論文の作成に関する注意事項	23
3. 生成AIの活用について	27
■ 成績評価について	28
1. 成績評価	28
2. GPA	28
3. 成績不良者への指導について	28
4. 成績に関する問い合わせ先	29
■ 進級及び卒業について	30
1. 進級及び卒業に必要な条件	30
2. 卒業延期制度	30
3. 長期履修学生制度	31
4. 転学部・転学科・キャンパス異動	31

■ 国内外留学・海外研修について	32
1. 海外研修.....	32
2. 海外短期語学研修.....	32
3. 協定校での国内・海外留学.....	33
■ 数理・データサイエンス・AI教育プログラムについて	34
1. SSUデータサイエンスプログラム（リテラシーレベル）	34
2. SSUデータサイエンスプログラム（経営学部・応用基礎レベル）	35
■ 履修登録の方法	36
1. 授業選びのルール.....	36
2. スケジュール.....	37
3. 問い合わせ先.....	38
■ 経営学部	39
1. 学びの体系（経営学部・1年生向け）	39
2. 授業の選び方（経営学部・1年生向け）	42
3. 2025・2026年度生卒業要件	44
4. 2024年度生卒業要件	46
5. 2023年度生卒業要件	47
6. 【重要】「授業科目一覧表」と「卒業」	48
経営学部授業科目一覧表.....	50
■ スポーツ科学部	69
1. 学びの体系（スポーツ科学部・1年生向け）	69
2. 授業の選び方（スポーツ科学部・1年生向け）	70
3. 2025・2026年度生卒業要件	72
4. 2024年度生卒業要件	74
5. 2023年度生卒業要件	75
6. 【重要】「授業科目一覧表」と「卒業」	76
スポーツ科学部授業科目一覧表.....	77
■ 3つのポリシーと単位認定の方針	91
1. 単位認定の方針.....	91
2. 3つのポリシー.....	91
■ 経営学部.....	92
□ 経営学科.....	93
□ 心理経営学科.....	94
■ スポーツ科学部.....	95
□ スポーツ科学科.....	96
■ 静岡産業大学学則・規程一覧	97

履修ガイドとは？

大学での学びは、皆さんが持っているいろいろな興味や関心を、さらに深めたり広げたりしていくためのものです。専門的な知識や技術を身につけることも大切ですが、それだけではなく、「自分から学ぼうとする気持ち」や「学びたいという意欲」、そして「学ぶ方法を知ること」もとても大切です。

大学での生活は、高校までのように決められた通りに進めるものではありません。皆さん自身が考えて学修計画を立て、それを実行していきます。時間割も、自分で作るオリジナルのスケジュールになります。

学修計画をうまく立てるためには、授業の内容や、履修（授業を受けて単位を取ること）のルールを知っておく必要があります。旅行も、行き先や交通手段、必要な持ち物を事前に調べておくことで、安心してスムーズに進められるように、履修のルールを理解しておくことで、自分に合った学修計画を立てることができます。

大学で学ぶ内容や履修のルールがまとめられているものが本冊子「履修ガイド」です。履修ガイドには、卒業に必要な条件や単位の取り方、授業の選び方、履修に関する決まりなど、大学で学ぶうえで大切なことがまとめられています。履修登録や各種手続きを行う前に、必ず確認しておきましょう。

もし、「履修ガイド」を読んでも分からないことがあったり、履修や学修計画について相談したいことがあったりする場合は、アドバイザーの先生との面談の機会を利用するか、教務課に相談してください。

教職員一同、皆さんが大学で安心して学び、充実した学生生活を送れるようにサポートしていきます。

学部・学科・キャンパス

(1) 学部・学科

- ・静岡産業大学は経営学部とスポーツ科学部の2学部から成ります。

【経営学部】

- ・経営学部では、経営学を体系的に学ぶとともに、地域学や心理学などの他分野と融合させた学びやゼミナール活動を通して、個性を磨きます。
- ・経営学部には、経営学科と心理経営学科が設置されています。経営学部生は、2年次から、いずれかの学科に所属します。

【スポーツ科学部】

- ・スポーツ科学部では、通常の授業に加えて、学内外での研修、ゼミナール活動を通して、より実践力を高めます。
- ・スポーツ科学部には、スポーツ科学科が設置されています。スポーツ科学部生は、1年次から、スポーツ科学科に所属します。

(2) 卒業要件

- ・卒業要件は学部・学科ごとに異なります。十分に注意してください。

(3) キャンパス

- ・本学は藤枝キャンパスと磐田キャンパスの2キャンパスを有します。各キャンパスには、以下の表のように学部・学科が置かれています。
- ・経営学部生は、いずれかのキャンパスに所属します。それを「メイン・キャンパス」といい、大学に申請します。
- ・スポーツ科学部生は、磐田キャンパスに所属します。
- ・学生の皆さんは、所属するキャンパスで主に大学生活を送ります。一方、他キャンパスで開講されている授業を履修し、単位を修得することも可能です。自分の目標に合わせて、2つのキャンパスを存分に活用してください。

表 学部・学科とキャンパス

学部	学科	藤枝キャンパス (藤枝C)	磐田キャンパス (磐田C)
経営学部	経営学科	○	○
	心理経営学科	○	○
スポーツ科学部	スポーツ科学科	×	○
(参考) 駅前サテライトキャンパス		あり	なし
(参考) キャンパスからのPR		図書館や情報機器がより充実。 藤枝Cで文化的な学生生活を。	スポーツ施設がより充実。 磐田Cで活力ある学生生活を。

(注) ○は学部・学科が置かれていることを、×は置かれていないことを示します。

大学での学び

高校の学び方と大学の学び方は、やや異なります。

第一に、大学には「クラスごとの時間割」は存在しません。大学では、目標や興味に合わせて、自分で授業を選び、「自分だけの時間割」を組み立てます。

第二に、大学では、課題に合格すると、「単位」を修得できます。決められたルールに沿って、4年後に124単位を修得した場合、大学を卒業できます。

第三に、大学では、学期初めの一定の期間に、授業を受ける手続きをする必要があります。それに間違いがあると、単位を修得できません。

以下、大学での「学び」を整理しましょう。

1. 大学での学び方

ここでは高校と大学での学びの違いを「科目選びの自由度の高さ」と「自由と責任」という観点から整理します。これらは大学での学びの基礎になる考え方です。

(1) 高校と大学での学びの違い — 科目選びの自由度の高さ —

高校と大学の学習面の大きな違いは、大学は学ぶ（これを「履修する」と言います）科目を選択できる余地が非常に大きいという点にあります。

以下、「高校の学習」と「大学の学習」を比較しましょう。

高校では、多くの場合、クラスごとに時間割が決められ、クラスメイトが同時に、同じ科目を受講していたと思います。個人が学ぶ科目を選択できる余地はあまりありません。

大学には、そのようなクラスごとの時間割は存在しません。以下で述べるように制約はありますが、決められたルールの範囲内で、自分の目標や興味に合わせて、履修する科目を自由に選ぶことができるのです。

(2) 高校と大学での学びの違い — 自由と責任 —

しかし、自由度が大きいということは、その代わりに皆さんに課せられる責任も大きいことを意味します。必ず履修しなくてはならない科目を選択し忘れてしまった、決められた期間に履修する科目を登録しなかった、勉強不足のため卒業に必要な科目の単位を修得できなかったなどに対して、大学が対処することはありません。それらから生じた不利益（進級できない、卒業できないなど）に関する責任は、すべて学生本人に帰すのです。

(3) 有意義な学習に向けて

大学の学習においては「科目選びにはルールがありますが、科目をかなり自由に選べます。ただし科目の選択や登録、合格はすべて自己責任です」ということを、十分認識してください。

本学には魅力的な科目がたくさんあります。決められたルールに沿い、自分の目標や興味に合わせて科目を選択し、ぜひ多くの事項を学んでください。

2. 単位と単位修得

ここでは「単位」という考え方を理解しましょう。

(1) セメスター制

- ・ 前期（4月1日～9月30日）
- ・ 後期（10月1日～3月31日）

※実際の授業期間は、上記とやや異なります。

※多くの科目では、半期（＝前期または後期）ごとに授業が終了します。

(2) 半期の授業の流れ

- ①【期首】決められたルール（これを「卒業要件」と言います¹）に沿って、自分の目標や興味に合わせ科目を選択する
- ②【期首】パソコンまたはスマートフォンを使い、履修を登録する
- ③【期中】半期の中に14回の授業を受講する。各回の授業は100分間²
- ④【期中】出された課題（定期試験、レポート、授業への参加など）に取り組む³
- ⑤【期末】成績評価がなされる⁴
 - ・ 課題に合格 →成績「S」「A」「B」「C」
→単位を修得できる（多くの場合、半期1科目＝2単位）⁵
 - ・ 課題に不合格 →成績「D」
→単位を修得できない
 - ・ 未受験または履修放棄 →成績「D」
→単位を修得できない

(3) 卒業

- ・ 4年以上在学する
- ・ 卒業要件に沿って、124単位以上を修得する⁶

¹ 卒業要件は入学年度に対応しています。この卒業要件は卒業するまで適用されます。

² 授業時間については本冊子 P.17「1. 授業時間」を参照してください。

³ 試験やレポートについては本冊子 P.20「1. 試験とレポート」を参照してください。

⁴ 成績については本冊子 P.28「1. 成績評価」を参照してください。各科目の成績の評価基準についてはシラバスの「成績の評価方法・基準」欄を参照してください。

⁵ 本学の学則は、単位を以下のように定めます。

（単位の計算方法）

第20条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 講義、演習、実験、実習または実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

⁶ 進級に必要な条件については本冊子 P.30「1. 進級及び卒業に必要な条件」を参照してください。なおこの124単位は教職課程科目のうち「教職関連科目」を含みません。

3. 履修登録

大学では卒業要件に沿って、自分の目標や興味に合わせ科目を選択、その科目を登録します（これを「履修登録」と言います）。本学ではインターネットに接続したパソコンまたはスマートフォンを用い、自宅からでも履修登録をすることができます（ここでは、このような履修登録の仕方を「Web履修登録」と呼びます）。

履修登録を行う期間は決められています。また年間履修登録単位数の制限があり、多くの科目を無制限に履修登録できるわけではありません。

(1) 履修登録の考え方

- ・受講に先だって、該当科目について履修を登録することが必要です。
- ・履修登録がなされていないと、授業を受講、課題に合格しても単位を修得できません。また履修登録していない科目を受講することもできません。
- ・単位を修得した科目を再度、履修することはできません。
- ・本学では、学生の皆さんの教育効果を高めるため少人数教育を実践し、意欲のある学生が出来る限り希望科目を履修できるように、すべての授業に「定員制」を導入しています。
- ・制限人数を超過した授業などでは「履修者選抜」を行います。それに漏れた場合、その授業の仮履修登録を取り消します。履修確定期間中に、別の授業の履修登録をしてください。
- ・履修登録者数が5名以下の授業は開講されないことがあります。その場合、当該授業の仮履修登録を取り消します。履修確定期間中に、別の授業の履修登録をしてください。

(2) 履修登録期間

- ・履修登録期間は半期ごとに設けられています。前期の履修登録期間には「前期」と「後期」の履修登録を、後期の履修登録期間には「後期」の履修登録をしてください。前期に行った「後期」の履修登録は、後期の履修登録期間に変更可能です。
- ※特に4年生は前期の履修登録期間に卒業要件を満たすよう履修登録をしてください。
- ・履修登録期間は「仮履修登録期間」「履修登録確認期間」「履修確定期間」から成ります。それぞれの期間に、Web履修登録をしてください。

表 履修登録期間

期	時期	学生	Web履修登録
前期	仮履修登録期間 4月上旬	Webにて希望する授業を履修登録 ・前期・後期の1年分を登録 ・制限人数を超えて登録可能 ・登録状況の確認可能	Web履修登録：○
	履修登録確認期間 仮履修登録期間後 (1週間程度)	履修登録した授業の受講 ・欠席の場合、登録を取り消されることがある	Web履修登録：× ・登録の追加・変更不可 ・閲覧のみ
	履修確定期間 履修登録確認期間後 (1週間程度)	Webにて履修登録の追加・変更 ・追加は履修者の追加受け入れが可能な授業のみ Webにて履修登録状況を確認、結果を印刷	Web履修登録：△ ・制限人数までの追加登録可 ・学生による取消可
履修登録完了			

期	時期	学生	Web履修登録
後期	仮履修登録期間 9月中旬～下旬	Webにて希望する授業を履修登録 ・制限人数を超えて登録可能 ・登録状況の確認可能 ・前期に登録した後期科目の変更可能	Web履修登録：○
	履修登録確認期間 仮履修登録期間後 (1週間程度)	履修登録した授業の受講 ・欠席の場合、登録を取り消されることがある	Web履修登録：× ・登録の追加・変更不可 ・閲覧のみ
	履修確定期間 履修登録確認期間後 (1週間程度)	Webにて履修登録の追加・変更 ・追加は履修者の追加受け入れが可能な授業のみ Webにて履修登録状況を確認、結果を印刷	Web履修登録：△ ・制限人数までの追加登録可 ・学生による取消可
履修登録完了			

※履修登録期間は、毎年変わります。本学はそれを学年暦に定めるとともに、オリエンテーションにて学生に示します。

※前期、後期とも履修確定期間にWeb上で履修登録状況の確認をし、結果を印刷、各自で保管してください。トラブル時の証明に印刷した用紙が必要です。

(3) 年間履修登録単位数の制限

- ・以下の表に示すとおり、年間に履修できる単位数には制限があります。ただし、年間履修登録単位数の制限に含めない科目もあります。

表 【2025・26 年度生】年間履修登録単位数の制限

年次	年間履修登録単位数
1～4 年生	年間 48 単位以下

表 【2023・24 年度生】年間履修登録単位数の制限

年次	年間履修登録単位数
1～3 年生	年間 44 単位以下
4 年生	年間 52 単位以下

【2025・26 年度生】年間履修登録単位数に含めない科目⁷

高大連携プロジェクトA・B、特別共同講義、インターンシップ、社会実践講座A～C、海外研修A～C、全学特殊講義A～C、経営学特殊講義A～E、心理経営学特殊講義A～E、スポーツ科学特殊講義A・B、卒業研究
教職課程科目のうち「教職関連科目」 ※教職課程履修者のみ

【2023・24 年度生】年間履修登録単位数に含めない科目⁷

高大連携プロジェクトA・B、海外研修A～C、社会実践講座A～C、特別共同講義、インターンシップA・B、全学特殊講義A～C、経営学特殊講義A～E、心理経営学特殊講義A～D、スポーツ科学特殊講義A・B、卒業研究
保育士養成課程科目のうち「保育士に関する科目」 ※保育士養成課程履修者のみ
教職課程科目のうち「教職関連科目」 ※教職課程履修者のみ

(4) 必修科目について

- ・卒業には必修科目すべてに合格することが必要です。必修科目の単位は卒業に不可欠です。いずれの授業科目も重要ですが、必修科目では特に学修を深め、単位を確実に修得してください。
- ・4年生・後期末に、必修科目の単位が未修得であった場合を考えましょう。このとき、その学生は卒業できず、留年となります。卒業は、当該の必修科目の単位修得後です。必修科目は科目ごと、前期または後期に開講されます。単位未修得の必修科目が後期のみが開講される場合、その学生は当該の必修科目の単位を前期に修得できないため、卒業は次年度・後期以降です（その学生は前期末に卒業できません）。

(5) 必修科目の履修登録について

- ①「基礎ゼミナール」「情報処理基礎Ⅰ」「情報処理基礎Ⅱ」「キャリアデザイン講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（2・3年次）」は、履修する曜日・時限、クラスが指定されています。
- ②「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」の履修登録はゼミナール面接結果に基づき、教務課が行います。

⁷ 該当する科目については本冊子「授業科目一覧表」を参照してください。

③指定された曜日・時限、クラスにあらかじめ履修登録されている必修科目は、それを変更できません。

④必修科目の成績が「D」であった場合、同一科目をもう一度受講し、課題に合格して単位を修得してください（これを「再履修」と言います⁸）。

(6) その他の科目の履修登録について

①英語、キャリア準備は大学での勉強、将来の就職等に大変重要です。「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」は選択必修科目、「キャリアデザイン概論」（2025・26年度生）、「キャリアデザイン概論A」（2023・24年度生）は選択科目ですが、本学ではこれら科目の履修を推奨しています。学生がこれら科目を少人数で履修できるよう、時間割を編成してあります。

②履修するための条件が課せられている科目があります。事前にシラバス、本冊子「授業科目一覧表」で確認してください。

③必修科目以外にもクラス指定がある科目があります。時間割等で確認してください。

④各科目には「配当年次」（履修できる最低学年）が定められています。ただし科目によっては、より上級学年に担当された科目を履修することも可能です。シラバスで条件等を確認し、教務課に相談してください。

⑤「他大学及び本学他学部での単位修得」「放送大学での学修と単位修得」「共同授業による単位修得」が可能です。
詳細については本冊子 P.15 「8. 他大学等での単位修得」を参照してください。

⁸ 再履修の要件は必修科目ごと異なります。詳細はシラバスの該当ページを参照してください。

4. 専門ゼミナール・卒業研究

【2025・2026 年度生】

経営学部では「特殊研究科目」の「経営学専門演習 A～H」(選択必修)の中から4単位、且つ3年次前期の「専門ゼミナールⅠ」(必修)2単位、3年次後期の「専門ゼミナールⅡ」(必修)2単位、計8単位を履修して卒業要件を満たさなければなりません。さらに4年次「卒業研究」6単位を履修し、卒業論文を書いて卒業することを推奨しています。

スポーツ科学部では、「特殊研究科目」の「スポーツ科学専門演習 A～H」(選択必修)の中から4単位、且つ3年次前期の「専門ゼミナールⅠ」(必修)2単位、3年次後期の「専門ゼミナールⅡ」(必修)2単位、4年次の「卒業研究」(必修)6単位、計14単位を履修して卒業要件を満たさなければなりません。

※スポーツ科学部では「特殊研究科目」の「スポーツ科学概論」「スポーツ科学研究法」も必修です。

【2023・2024 年度生】

「特殊研究科目」の中から8単位以上修得することが卒業要件のひとつとして設定されています。研究室(ゼミ)に入ると、3年次前期の「専門ゼミナールⅠ」(2単位)、3年次後期の「専門ゼミナールⅡ」(2単位)、4年次通年の「卒業研究」(4単位)、計8単位を履修することになります。研究室(ゼミ)に入らない場合は、「専門演習」(各2単位)を履修して卒業要件を満たさなければなりません。

※経営学部では、研究室(ゼミ)に入って専門性を高め、卒業論文を書いて卒業することを推奨しています。

※スポーツ科学部では、研究室(ゼミ)に入って専門性を高め、卒業論文を書いて卒業することを原則としています。

表 2026年度開講「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」

ゼミ分野	担当教員	受入対象学生	開講学部	ゼミ活動 実施キャンパス	他学部生 の受入
教養・保育・福祉系	入江 眞理	磐田	経営学部	磐田	○
	川端 奈津子	磐田	経営学部	磐田	○
	北本 遼太	藤枝・磐田	経営学部	両	○
	小林 健一郎	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	○
	佐藤 寛子	磐田	経営学部	磐田	○*
	谷口 正昭	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	○
	土居 繭子	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	○*
	法月 健	藤枝	経営学部	藤枝	×
	日隈 美代子	藤枝・磐田	経営学部	磐田	○*
	山田 悟史	藤枝・磐田	経営学部	磐田	×
経営・会計・経済系	石垣 美佳	藤枝・磐田	経営学部	両	○
	岩本 武範	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	○
	川合 智之	藤枝・磐田	経営学部	磐田	○
	熊王 康宏	磐田*	経営学部	磐田	○*
	近藤 尚武	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	○
	田口 敏行	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	○
	谷口 昭彦	藤枝・磐田	経営学部	磐田	○
	田畑 和彦	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	○
	中山 勝	藤枝	経営学部	藤枝	○
	藤田 直樹	藤枝・磐田	経営学部	磐田	○
	堀内 慎一郎	藤枝・磐田	経営学部	磐田	○
	牧野 好洋	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	○
	宮田 弘一	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	○
劉 放	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	×	
スポーツ系	塚本 博之	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	○
	佐藤 重芳	藤枝・磐田	経営学部	磐田	×
心理系	高城 佳那	磐田*	経営学部	磐田	×
情報系	佐野 典秀	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	×
	高橋 等	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	×
	永田 奈央美	藤枝・磐田	経営学部	藤枝	×
地域政策系	王 暁芸	藤枝・磐田	経営学部	磐田	×
	小泉 祐一郎	藤枝	経営学部	藤枝	×
	万浪 靖司	藤枝・磐田	経営学部	両	○
	山内 秋人	藤枝・磐田	経営学部	磐田	○
	渡辺 俊也	藤枝・磐田	経営学部	磐田	○
自然科学	田高 悠晟	磐田	スポーツ科学部	磐田	×
	館 俊樹	磐田	スポーツ科学部	磐田	×
	宮崎 彰吾	磐田	スポーツ科学部	磐田	×
コーチング・ トレーナー・ 健康	伊藤 麻希	藤枝・磐田	スポーツ科学部	磐田	○
	中井 真吾	磐田	スポーツ科学部	磐田	×
	中西 健一郎	磐田	スポーツ科学部	磐田	×
	藁科 侑希	磐田	スポーツ科学部	磐田	×
データサイエンス	青木 優	磐田	スポーツ科学部	磐田	×
人文・社会学	大島 建	磐田	スポーツ科学部	磐田	×
	木村 駿介	磐田	スポーツ科学部	磐田	×
	塩梅 弘之	藤枝・磐田	スポーツ科学部	磐田	○
	和所 泰史	藤枝・磐田	スポーツ科学部	磐田	○*
教育学	佐藤 知条	藤枝・磐田	スポーツ科学部	磐田	○
	佐藤 若	磐田	スポーツ科学部	磐田	×
	松永 由弥子	藤枝・磐田	スポーツ科学部	磐田	○

受入対象学生・他学部生の受入について

※印のある開講教員のゼミに所属を希望する場合には、事前の確認が必要です。

※各学部が開講する「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」は毎年、変わります。各年の「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」については、大学webサイト「専門ゼミナール履修ガイド」をご覧ください。

5. 授業科目へのナンバリング

静岡産業大学は、より体系的な学修・教育を可能とするために、コード体系を用いて、各授業科目に科目ナンバーを付与する「ナンバリング」を2021年度より、実施しています。

例えば、以下のとおりです（本学のコード体系や科目ナンバーの読み取り方を後述します）。

授業科目「基礎ゼミナール」	(科目ナンバー) 250-1111-11
授業科目「経営学入門」	(科目ナンバー) 251-2311-12
授業科目「体力学概論」	(科目ナンバー) 254-2411-11

学生の皆さんは「3つのポリシー」「授業科目一覧表」「科目ナンバー」「シラバス」などを一体的に活用し、履修登録を行い、学修を体系的に深めてください。

■ナンバリングの意義

学生の皆さんは当該授業科目の「科目ナンバー」を参照することにより、開設学部や科目区分（基礎教育科目、専門教育科目など）、科目属性（基盤科目、発展科目、ゼミナール科目など）、配当年次、卒業要件における扱い（必修、選択など）を的確に把握することができます。

大学は「科目ナンバー」を活用することにより、各学部において、より体系的な教育課程を編成するとともに、他学部の授業科目を一部、履修可能にするなど、学部を越えた全学的教育体制を構築します。

■本学のコード体系

本学の「科目ナンバー」は、以下のコード体系より成ります。

◇コード体系

〔編成年〕〔学部〕—〔科目区分〕〔科目属性〕—〔配当年次〕〔要件〕 ※分かりやすさを優先し、〔単位数〕〔授業形態（講義・演習等）〕を省略します。

◇各コード

〔編成年〕	当該カリキュラムを編成した年度（西暦下二けた）
〔学部〕	(0)全学、(1)経営学部、(4)スポーツ科学部 ※2,3は欠番です
〔科目区分〕	(1)基礎教育科目、(2)専門教育科目、 (3)教職関連科目、(4)保育士に関する科目
〔科目属性〕	(100～900)大分類、(10～90)中分類、(999)学部間履修 ※科目属性は3桁のコードです。次ページの表「〔科目属性〕の付番」を参照してください。
〔配当年次〕	(1)1年次、(2)2年次、(3)3年次、(4)4年次、(9)複数年次
〔要件〕	(1)必修、(2)選択、(3)自由、(4)留学生必修、(9)学部間履修
〔備考〕	(#)履修不可

■科目ナンバーの読み取り（例）

科目ナンバーから、当該授業科目の位置づけを以下のように読み取ることができます。

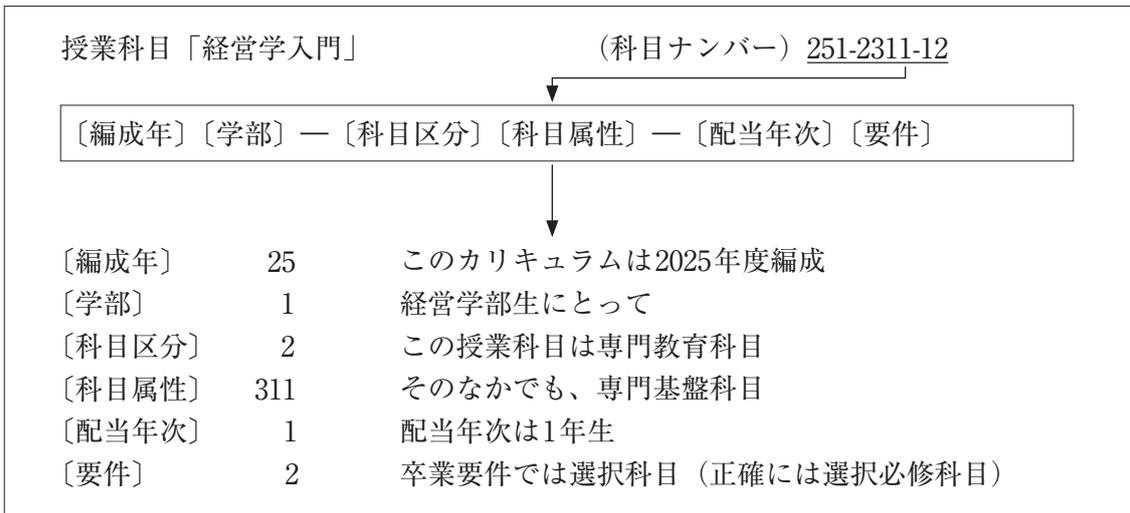


表 [科目属性] の付番

科目属性	科目区分	2025年度以降 経営学部		2025年度以降 スポーツ科学部		2021年度以降 経営学部		2021年度以降 スポーツ科学部	
		教養科目等	外国語科目	教養科目等	外国語科目	教養科目等	外国語科目	教養科目等	外国語科目
100番台	基礎教育科目	教養科目等	外国語科目	教養科目等	外国語科目	教養科目等	外国語科目	教養科目等	外国語科目
200番台	基礎教育科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目
300番台	専門教育科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目
400番台	専門教育科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目
500番台	専門教育科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目
600番台	専門教育科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目
700番台	専門教育科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目
800番台	専門教育科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目
900番台	専門教育科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目	専門基礎科目等	専門基礎科目
110番台	基礎教育科目	基礎能力形成科目	基礎能力形成科目	基礎能力形成科目	基礎能力形成科目	基礎能力形成科目	基礎能力形成科目	基礎能力形成科目	基礎能力形成科目
130番台	基礎教育科目	教養科目	教養科目	教養科目	教養科目	教養科目	教養科目	教養科目	教養科目
150番台	基礎教育科目	---	---	---	---	---	---	---	---
170番台	基礎教育科目	---	---	---	---	---	---	---	---
210番台	基礎教育科目	---	---	---	---	---	---	---	---
250番台	基礎教育科目	---	---	---	---	---	---	---	---
310番台	専門教育科目	専門基礎科目	専門基礎科目	専門基礎科目	専門基礎科目	専門基礎科目	専門基礎科目	専門基礎科目	専門基礎科目
330番台	専門教育科目	---	---	---	---	---	---	---	---
350番台	専門教育科目	専門関連科目	専門関連科目	専門関連科目	専門関連科目	専門関連科目	専門関連科目	専門関連科目	専門関連科目
370番台	専門教育科目	---	---	---	---	---	---	---	---
380番台	専門教育科目	産官学連携科目	産官学連携科目	産官学連携科目	産官学連携科目	産官学連携科目	産官学連携科目	産官学連携科目	産官学連携科目
390番台	専門教育科目	---	---	---	---	---	---	---	---
410番台	専門教育科目	---	---	---	---	---	---	---	---
430番台	専門教育科目	---	---	---	---	---	---	---	---
450番台	専門教育科目	---	---	---	---	---	---	---	---
490番台	専門教育科目	経営学特殊講義	経営学特殊講義	経営学特殊講義	経営学特殊講義	経営学特殊講義	経営学特殊講義	経営学特殊講義	経営学特殊講義
510番台	専門教育科目	---	---	---	---	---	---	---	---
590番台	専門教育科目	---	---	---	---	---	---	---	---
690番台	専門教育科目	心理経営学特殊講義	心理経営学特殊講義	心理経営学特殊講義	心理経営学特殊講義	心理経営学特殊講義	心理経営学特殊講義	心理経営学特殊講義	心理経営学特殊講義
710番台	専門教育科目	専門演習	専門演習	専門演習	専門演習	専門演習	専門演習	専門演習	専門演習
730番台	専門教育科目	専門ゼミナール	専門ゼミナール	専門ゼミナール	専門ゼミナール	専門ゼミナール	専門ゼミナール	専門ゼミナール	専門ゼミナール
750番台	専門教育科目	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究
910番台	専門教育科目	データサイエンス科目	データサイエンス科目	データサイエンス科目	データサイエンス科目	データサイエンス科目	データサイエンス科目	データサイエンス科目	データサイエンス科目
920番台	専門教育科目	スポーツ経営科目	スポーツ経営科目	スポーツ経営科目	スポーツ経営科目	スポーツ経営科目	スポーツ経営科目	スポーツ経営科目	スポーツ経営科目
940番台	専門教育科目	スポーツ保育科目	スポーツ保育科目	スポーツ保育科目	スポーツ保育科目	スポーツ保育科目	スポーツ保育科目	スポーツ保育科目	スポーツ保育科目
960番台	専門教育科目	キャリア形成科目	キャリア形成科目	キャリア形成科目	キャリア形成科目	キャリア形成科目	キャリア形成科目	キャリア形成科目	キャリア形成科目
970番台	専門教育科目	学外研修・海外研修	学外研修・海外研修	学外研修・海外研修	学外研修・海外研修	学外研修・海外研修	学外研修・海外研修	学外研修・海外研修	学外研修・海外研修
990番台	専門教育科目	全学特殊講義	全学特殊講義	全学特殊講義	全学特殊講義	全学特殊講義	全学特殊講義	全学特殊講義	全学特殊講義
999番	学部間履修	学部間履修	学部間履修	学部間履修	学部間履修	学部間履修	学部間履修	学部間履修	学部間履修

(注) 表上段が大分類を、表中段が中分類(大分類のなかの区分)を示します。最下段は学部間履修の場合です。
(出所) 各年度各学部の教育課程表に基づき、静岡産業大学作成。

6. 社会実践講座

様々な社会実践体験が、単位として認定されます。

社会実践講座は、学生が企業を様々な角度から体験学習できるよう、「インターンシップ⁹」に限定せず、広範囲にわたる社会・企業体験を学習することを目的としています。

学生にとっては、大学の中だけの勉強では、学んでいる学問が実際の社会とどのようなつながりがあるのか、不安を感じる人が多いのではないのでしょうか。実際に実社会や企業活動を体験すれば、大学の学問と社会との有機的関連が見え、学んだ内容が生き生きとしたものとなり、学習意欲が向上し、専門分野における知識も深めることができます。さらにこうした体験を通じて、どのような仕事が自分に適しているのかを考えることができ、将来の職業選択にとっても有益です。しかも、地域の企業にふれることにより、その企業の魅力も発見できることにも繋がります。

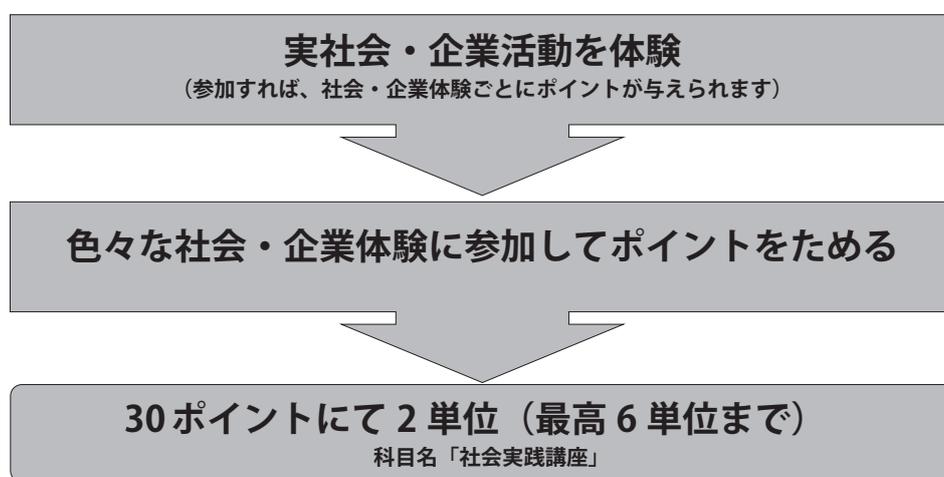


図 社会実践講座の仕組み

(注1) シラバスの「社会実践講座」を参照してください。

(注2) 学生が自主的に社会実践体験を希望したい場合、教務課へ相談してください。

7. 資格取得

本学では多様な資格の取得が可能です。また資格には「本学で取得できるもの」や「受験資格・申請資格を得るもの」など様々な形態があります。また別途、申請書が必要なものもあります。資格取得を希望する学生は、資格取得サポートセンターに問い合わせてください。

本学で定められた資格を取得した場合「静岡産業大学資格・免許取得奨励金給付規程」により奨励金が給付されます。事前申請及び面接により奨励者の選考を行います。奨励金給付希望者は、キャリア支援課へ申し出てください。

⁹ 学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関する短期間の実習・研修的な就業体験を行う制度のことです。

8. 他大学等での単位修得

(1) 他大学及び本学他学部での単位修得

① 単位互換制度

単位互換制度とは、本学と単位互換協定を結んだ大学・短大・学部等で正規科目を履修し、その修得単位を本学の履修単位として認定する制度です。規程・細則・内規・申し合わせ事項などに基づき、そのうち本学部のカリキュラム体系に関連深い科目を卒業に必要な単位として認めます。

② 修得できる単位数

表 他大学・学部との単位互換

大学・学部	卒業要件として認められる単位数
本学他学部	修得した単位（最大 30 単位）の内、本学部が認めた単位数
静岡大学農学部	修得した単位（最大 6 単位）の内、本学部が認めた単位数
静岡福祉大学	修得した単位（最大 30 単位）の内、本学部が認めた単位数
名桜大学（沖縄県）	修得した単位（最大 40 単位）の内、本学部が認めた単位数
大正大学（東京都）	修得した単位（最大 30 単位）の内、本学部が認めた単位数
ふじのくに地域・大学コンソーシアム	修得した単位（最大 30 単位）の内、本学部が認めた単位数
大真大学校（韓国）	修得した単位の内、12 単位までを認定
浙江樹人学院（中国）	修得した単位の内、12 単位までを認定
ワイカト大学カレッジ（ニュージーランド）	修得した単位の内、12 単位までを認定

③ 学部間履修

上記の表が示すとおり、本学の学生は、本学他学部の授業科目を履修できません。例えば、経営学部の学生はスポーツ科学部の授業科目を、スポーツ科学部の学生は経営学部の授業科目を履修可能です（ただし、授業内容などにより、一部の授業科目は、他学部の学生の履修を不可とします。他学部の学生はそれら授業科目を履修できません）。

学部間履修の上限は30単位です。学部間履修の対象は、配当年次が自分の学年と同等、またはそれ以下に定められている授業科目です。

学部間履修により修得した単位は、原則として、当該科目が設置されている学部の科目区分（基礎教育科目または専門教育科目）と同様の区分において、選択科目として認定されます。例えば、経営学部の学生がスポーツ科学部の専門教育科目を履修し、単位を修得した場合、それは経営学部の専門教育科目、そのうち選択科目として卒業要件に含まれます。

学部間履修を希望する場合、履修登録期間にWeb履修登録を行ってください。

④ その他

- ・他大学の履修の方法・期間等については随時学生ポータル¹⁰等で案内します。詳細については、教務課に問い合わせてください。
- ・協定による提携校への留学や短期語学研修も可能です。詳細についてはP.32「国内外留学・海外研修について」を参照してください。

¹⁰ 学生ポータルについては本冊子P.19「3. 学生ポータル」を参照してください。

(2) 放送大学での学修と単位修得**①単位互換**

本学は、放送大学との間に単位互換に関する協定を結んでおり、本学の学生は、特別聴講生として科目を履修し、単位を修得することができます。放送大学の科目は2単位科目です。卒業要件として認められる単位数は、修得した単位（最大30単位）の内、所属学部が認めた単位数です。

②履修期間

特別聴講生の履修期間は、1学期間（6ヶ月）です。第1学期は4月1日から、第2学期は10月1日から開始されます。

③履修方法

- (ア) 放送大学の授業は印刷教材（テキスト）に加えて、関東地域ではテレビ、ラジオによる放送授業、放送外エリアでは、パソコン・スマートフォン・タブレット端末によるインターネット配信、学習センター・サテライトスペースで受講することができます。
- (イ) BSデジタル放送を利用して受講することができます。
（受信機装置〈アンテナ・チューナー〉の工事が必要。電波使用料は不要。）
- (ウ) 放送大学の受講生が単位を修得するためには、学期末に各地区の学習センター・サテライトスペースで単位認定試験を受けなければなりません。
- (エ) 本年度の単位認定試験の日程は既に発表されています。詳細については、教務課に問い合わせてください。

④出願方法

- (ア) 出願期間は前期と後期に分かれます。毎年その期間が異なりますので注意してください（教務課に確認してください）。
- (イ) 放送大学の受講希望者は、特別聴講生の出願票に所定の事項を記入して、教務課に提出してください。
- (ウ) 受講希望者の出願票を大学で取りまとめて、放送大学へ提出します。

⑤学費

特別聴講生の受講料は1科目（2単位）12,000円です。入学金は免除されます。詳細については、教務課に問い合わせてください。

(3) 共同授業による単位修得**①単位認定と成績評価**

静岡県西部地域の7大学が、各大学の特徴を生かし、相互の連携のもとに、共同授業を行っています。

この授業を受講し、評価を得ると、教養科目「特別共同講義」の2単位を修得できます。

②共同授業の概要・出願方法

6月ごろ概要が決まりますので、学生ポータル等で案内します。

③受講料

不要。詳細については、教務課に問い合わせてください。

授業について

1. 授業時間

授業時間は以下のとおりです。

表 授業時間

時限	時間
1	9:00～10:40
2	10:50～12:30
3	13:20～15:00
4	15:10～16:50
5	17:00～18:40

2. 休講、補講、集中講義

(1) 休講

- ・何らかの事情で授業が出来ない場合は、休講となります。また、休講が前もってわかっている場合は掲示及び学生ポータルに公開します。緊急時の場合には、それを大学ホームページにも掲載します。掲示がなく、授業開始から30分以上経過しても担当教員が来ない場合は、教務課に問い合わせてください。
- ・なお、緊急時の授業の取り扱いについては、下記のとおりとします。

ア. 気象情報が発表された場合

静岡県中部または西部のいずれかに「特別警報（大雨または暴風の場合のみ）」又は「暴風警報」が発表された場合、両キャンパス共に、以下のとおり休講とします。

警報の種類	発表状況	授業の取り扱い
特別警報	午前6時現在解除されていない場合	終日休講
暴風警報	午前6時現在解除されていない場合	1限・2限 休講
	午前10時現在解除されていない場合	終日休講

イ. 避難情報が発令された場合

各キャンパスの対象区域に「緊急安全確保」または「避難指示」が発令された場合、当該キャンパスの授業については、以下のとおり休講とします。

【各キャンパスの対象区域】

藤枝キャンパス … 青島北地区

磐田キャンパス … 於保地区、中泉地区

※ただし、中泉地区の土砂災害警戒区域を対象とした上記避難情報の場合は除く
(磐田キャンパスから磐田駅間は土砂災害警戒区域外のため)

避難情報の種類	発表状況	授業の取り扱い
緊急安全確保	午前6時現在解除されていない場合	終日休講
避難指示	午前6時現在解除されていない場合	1限・2限 休講
	午前10時現在解除されていない場合	終日休講

ウ. 地震に関する情報が発表された場合

- ・気象庁による「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受け休講が必要であると大学が判断した場合、終日休講とします。
- ・地震発生により通学が困難であると大学が判断した場合、終日休講とします。

エ. JRの計画運休に関する情報が発表された場合の対応

- ・JRの計画運休の情報が発表され通学が困難であると大学が判断した場合、終日休講とします。また、授業等の時間中に運休情報が発表された場合、大学が休講の実施時刻を判断します。

上記ア～エに限らず、大学が必要と判断した場合は授業を休講とします。

○周知方法

授業の休講については、学生ポータルや大学ホームページでお知らせします。

(2) 補講

- ・休講になった授業に対しては原則として補講を行います。
- ・補講は、指定の土曜日などに実施します。補講の時間割については補講実施1週間前までに掲示および学生ポータル上に公開します。

(3) 集中講義

- ・科目によっては長期休暇中などに集中して授業を行うことがあります。時間割に掲載してありますので、履修登録を忘れずに行ってください。教室など詳細を後日案内します。
- ・4年次の学生は原則として卒業予定直前の期の集中講義（3月卒業であれば後期の集中講義、9月卒業であれば前期の集中講義）を履修できません。ただし、科目によっては履修が認められる場合があるので希望者は教務課に相談してください。

3. 学生ポータル

学生の皆さんはインターネット上の「学生ポータル」を通して、履修登録や成績確認などを行うことができます。一方、本学は「学生ポータル」を通して、学生の皆さんに情報提供などを行います。

「学生ポータル」には、ポートフォリオ、時間割、成績、出欠情報、健康、修学ポートフォリオなどの項目が設定されています。各項目の内容は、学生ポータルにてご確認ください。

学生の皆さんが学生ポータルにログインする際には「ユーザー名、パスワード」（学生証の紙カバーに記載）が必要です。学生ポータルは個人情報を多く含むため、学生の皆さんはパスワードなどを厳重に管理してください。

本学は学生の多様性を尊重しながら、各人により適した教育を行うことを目指します。

その目的に即して、アドバイザーをはじめとする本学の教職員及び父母等は、時間割や出欠情報など学生ポータルの個人情報を、当該の学生の教育に活用することがあります。本学はその際、教職員・父母等の属性ごとに、扱うことができる個人情報の範囲を厳密に定めるとともに、「学校法人新静岡学園個人情報保護規程」「静岡産業大学個人情報保護実施要領」「静岡産業大学情報ネットワークシステム利用規程」「学校法人新静岡学園情報セキュリティポリシー」などの関連諸規程を厳守します。

1. 試験とレポート

単位修得には「試験」や「レポート」で一定の評価を得ることが必要です。以下、(1)で「定期試験」の受け方を説明します。(2)で「追試験」、(3)で「再試験」について説明します。追試験と再試験は名前が非常に似ていますが、試験の持つ意味は大きく異なっているので注意してください。(4)で「レポート」の提出について説明します。

(1) 定期試験

定期試験には、前期末に行う前期定期試験と、後期末に行う後期定期試験があります。定期試験を受ける際には次のことに十分注意してください。

- ①履修登録していない科目の定期試験を受験することはできません。
- ②通常の講義曜日・時限に試験があるとは限りません。担当教員の指示に従ってください。
- ③複数の教室で試験が行われる科目もあります。
- ④定期試験のときには、学生証を机の上に必ず提示してください。ただし学生証を忘れた場合、試験開始後 20 分までに試験監督者に申し出て、教務課で仮学生証の申請手続きをすることができます。
- ⑤遅刻は試験開始後 20 分まで認められます。試験開始後 20 分を超える遅刻の場合、試験の受験資格を喪失します。この場合、追試験を受けることもできません。また試験開始後 30 分間は退室することができません。
- ⑥出席数が極端に少ない授業科目では、試験の受験資格を喪失することがあります。授業には欠席をしないよう注意してください。
- ⑦答案用紙に学籍番号及び氏名を記入し、答案用紙を試験終了時に必ず提出してください。学籍番号、氏名を記入していない答案用紙、教室の外に持ち出した答案用紙は無効です。
- ⑧試験中に「不正行為」と認められるような行為を行った場合は、懲戒処分が付されます。
 - 試験における不正行為とは、次のいずれかに該当する行為をいいます。
 - (ア) 他人に受験を代行させたり、他人の受験を代行したりすること。
 - (イ) 他人の問題用紙や答案を見たり、他人に見せたりすること。
 - (ウ) 問題用紙や答案を交換すること。
 - (エ) 音声、動作などで解答に役立つ情報を伝えること。
 - (オ) 参照を許可されていない物件を持ち込み、参照し、またはそれを参照できるような状態の下で受験をすること。
 - (カ) 参照を許可された物件を貸し借りすること。
 - (キ) 机、身体、所持品または紙片などに試験に関する内容を記載し参照できる状態にしていること。
 - (ク) 携帯電話、スマートフォン、その他情報通信機器などを許可なく使用すること。
 - (ケ) 試験監督者の指示に従わないこと。
 - (コ) レポートまたは作品による試験の場合、出典を明示せず他人の物を写すこと。
 - (サ) その他、明らかに公正な試験の実施を阻害すると認められる行為をすること。

- 懲戒処分が決定した場合の単位については、当該学期に成績を評価するすべての授業科目について、評価を「D」とします。ただし、教育上特別な事情があると認められる場合は、不正行為を行った試験科目以外の履修科目の一部について評価を「D」としないこともあります。

(2) 追試験

追試験は、やむを得ない理由によって、定期試験を受けることのできなかった人に受験機会を与えるものです。追試験の受験資格があるのは、以下の表に示すいずれかの理由により、定期試験を受験できなかった人のみです。

※追試験による評価は通常評価です。

表 追試験の受験事由と必要な証明書

事由	証明書
①病気、ケガ等	医師の診断書または入院証明書
②災害、事故等	災害、事故等を証明するもの
③公共交通機関の遅延または予定外の運休	最寄り駅の証明書
④一親等、二親等の親族、本人の配偶者及び同居の親族の忌引 ¹	会葬状またはこれに準ずるもの
⑤就職試験（内定式等を含む）、インターンシップ、進学試験	キャリア支援課長の確認書
⑥本学の部、会、愛好団体としての活動（公式試合もしくはそれに準ずるもの）	部活動等指導者の確認書
⑦本学の定期試験日程の重複	当該科目担当教員の確認書
⑧インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、その他の学校感染症による出席停止	インフルエンザ罹患証明書、 その他大学が指定する様式
⑨その他学部長が認めたやむを得ない事由	正当な事由を証明するもの

【手続き】

上記の事由に相当し、証明書を有し、追試験の受験を希望する学生は以下の手続きを行ってください。

- (ア) 「追試験受験願」と「追・再試験受験申込書」を教務課で受け取り、必要事項を記入、正当な理由で欠席したことを証明する資料（表 追試験の受験事由と必要な証明書「証明書」欄参照）を添えて、追試験の申込期間に提出してください（「追・再試験受験申込書」には捺印が必要です）。
- (イ) 追試験受験料（1科目あたり500円）を支払ってください（事由⑦⑧の場合及び学部長が認めた場合、受験料を免除します）。
- (ウ) 追試験の申込期間や試験日を学年暦や掲示等で確認してください。追試験の時間割については、別途案内します（必ず確認してください）。
- (エ) インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症・麻疹・流行性耳下腺炎・風疹・水痘等の学校感染症と診断された場合は「追試験」を適用します。その場合、追試験受験料は不要です。学生便覧「保健センター」を参照し、大学ホームページに掲載されている「インフルエンザ罹患証明書」「学校感染症（新型コロナウイルス感染症）健康観察表」「感染症登校許可証明書」を出力し、医療機関で必要事項を記入してもらい、治癒後に当該書類を学生支援課に提出後、教務課にて追試験の手続きを行ってください。

¹「親等」とは親族関係の近さを表す等級です。一親等は最も近い親族関係、すなわち父・母・子を指し、二親等は親子の次に近い関係、すなわち祖父母・兄弟・孫を指します。

(3) 再試験

再試験とは、当該学期の再試験の申込締切までに卒業要件を満たさないもののうち、不足単位数が4単位以内である者を対象に、当該学期の定期試験においてD評価となった科目で、かつ、担当教員が認めた科目に限り行う試験です。ただし、当該学期に必修科目が開講されていない等、やむを得ない場合は当該学期の1つ前の学期まで遡って再試験の対象とすることができます。

※再試験による評価は「C」評価以下です。また冠講座に再試験はありません。

※追試験の場合は、再試験は認めません。

【手続き】

上記の条件を満たし、再試験の受験を希望する学生は以下の手続きを行ってください。

- (ア) 「再試験受験願」と「追・再試験受験申込書」を教務課で受け取り、必要事項を記入して、再試験の申込期間に提出してください（「追・再試験受験申込書」には捺印が必要です）。
- (イ) 再試験受験料（1科目あたり1,000円）を支払ってください。
- (ウ) 再試験の申込期間や試験日を学年暦や掲示等で確認してください。

(4) レポート

- ①科目によっては、担当教員がレポートの提出を求めることがあります。レポートの提出要領は、授業や掲示を通じ伝達します。
- ②レポートに授業科目名、担当教員名、題名、学年、学籍番号、氏名、提出年月日を記入してください。提出先を確認し、本人がレポートを提出してください。
- ③教務課への提出の指示があった場合は、教務課前のレポート提出BOXに提出してください。（提出期限厳守）
- ④教務課では提出期日・時刻を過ぎたレポート、教務課への提出の指示のないレポートを受け取ることができません。

2. レポート・論文の作成に関する注意事項

情報化社会が進展し、誰でも情報へ自由にまた手軽にアクセスできるようになりました。レポートや論文を作成するときに、新聞や書物、インターネットへアクセスし、得られた情報を参考にすることがよくあります。

レポートのなかには、参考にした情報の利用の仕方を誤り、大半をコピーですませる、あるいは得られた情報をつなぎ合わせただけで提出するという行為が見受けられます。

このような行為を一般には「盗用・剽窃（ひょうせつ）行為」と言い、評価に値しないばかりでなく、悪質なものは不正行為としてカンニングと同様に処分の対象とします。

このようなことのないように、以下のルールと注意をよく理解して、レポート・論文の作成にあたるよう心がけてください。

【ルール1】

書物、ウェブサイトなどの他人の文章や資料を自分のレポートに使用する場合は、必ず使用したことを明示すること。

出典を明示すれば「引用」となり、盗用や剽窃にはなりません。丸ごとコピーでなくても、出典を明示せずに他人の文章や資料の要約を自分の意見のように記載する行為、文章や資料の一部を故意に変えてあたかも自分の文章のように見せかける行為は盗用や剽窃に該当します。

【ルール2】

使用した文章や資料は自分の文章と区別して記載すること。
著者や作成者がわかるように明示すること。

引用した部分を「」でくくる等区別して記載します。引用部分の著者や作成者を必ず明示します。また言うまでもありませんが、引用がレポート全体に及ぶようなものは、形式的には問題がなくてもレポート自体として問題があります。

【注意】

ルール1とルール2は、本学が試験などに代わるレポートや卒業論文を評価する場合の最低限のルールです。詳細についてはP.24の【レポート・論文の作成方法】(1)～(5)を参照してください。出典の記載方法や引用の仕方について、各教員がより詳細なルールを課す場合があります。

【レポート・論文の作成方法】

(1) 使用する用紙

・指定の原稿用紙もしくはパソコンで作成します。

※各教員により指定される場合があります。

(2) 表題部分に記入する項目

①授業科目名、担当教員名 ②題名 ③学年、学籍番号、氏名

④提出年月日

(3) 引用の仕方

①引用の目的

(ア) 自分の意見を裏付けるため

(イ) 他の意見を論評するため

・自身の著作物が「主」であり、引用物が「従」であること。

・他人の意見を紹介するだけの引用、字数稼ぎのための引用は意味をなしません。

・他人の文章を、自分の文章のようにみせかける行為を絶対にしてはいけません。

②引用のルール

(ア) 「自分の意見」と「他の資料」の区別をきちんとつける。

・「」で区別します。

例. まず、『国富論』の中から該当箇所を引用してみよう。「もちろん、かれは、普通、社会公共の利益を増進しようと意図しているわけでもないし、また、自分が社会の利益をどれだけ増進しているのかも知っているわけではない。(略) 目的を促進することになる。」スミスがここで述べていることは、(略)²

※上の例では、「もちろん、…になる。」が引用部分です。

・レイアウトで区別します。

例. アメリカの南北戦争当時の南部連邦における超インフレについての次のような叙述を考えてみられるとよい。

われわれは、かつてはポケットにお金を入れて店に行き、食料をバスケットに入れて持ち帰ったものだ。ところが今日では、われわれはバスケットにお金をのせて店に行き、食料をポケットに入れて持ち帰る状態である。

(略) 不便きわまる物々交換が支配する時代とはなった。(略)

ドイツ 詳細な調査研究を通じて、超インフレのいくつかの特徴が明らかとなっている。³

※上の例では、「われわれは、…なった。(略)」が引用部分です。

(イ) 「出所」をつける。

※上の例でも、「ドイツ…となっている。」の文章の後に3を付し、脚注3をこのページ下部に記載、出所を示しています。

² 日本経済新聞社編『経済学をつくった巨人たち先駆者の理論・時代・思想』日本経済新聞社、2003年、pp.34-35。
なお説明の都合上、原典の文章を一部抜粋、修正しました。以下、引用部分について同様です。

³ Samuelson, Paul A. and William D. Nordhaus, *Economics*, Thirteenth Edition, McGraw-Hill Book Company, New York and Other Cities, 1989. (都留重人訳『サムエルソン経済学 上 [原書第13版]』岩波書店、1992年、pp.303-304.)

(4) 出所の書き方

① 出所明記の目的

(ア) 著作権保護のため

(イ) 原典へのアクセスを可能にするため

② 出所の例

※出所には様々な書き方があります。以下では一例を紹介します。

(ア) 単行書の場合

例. 中谷巖『入門マクロ経済学第4版』日本評論社、2000年、p.10。

※単行書のタイトルを『 』で示す。※単一ページを「p.」で、複数ページを「pp.」で示す。

(イ) 論文の場合

例. 高木新太郎「93SNAの全体的な特徴」『ECO-FORUM』（統計研究会）、
Vol.23、No.2、2005年、pp.8-13。※論文のタイトルを「 」で示す。

(ウ) 単行書（洋書）の場合

例. Samuelson, Paul A. and William D. Nordhaus, *Economics*, Thirteenth
Edition, McGraw-Hill Book Company, New York and Other Cities,
1989.※はじめの著者名を「姓」「名」の順にする。※単行書のタイトルを斜体で示す。

(エ) 論文（英文）の場合

例. Pyatt, Graham and Jeffery I. Round, "Accounting and Fixed Price
Multipliers in a Social Accounting Matrix Framework", *The
Economic Journal*, Vol.89, No.4, 1979, pp.850-873.※論文のタイトルを“ ”（クォーテーションマーク）で示す。(オ) インターネットの場合⁴例. 総務省統計局「平成17年国勢調査の概要」[http://www.stat.go.jp/
data/kokusei/2005/gaiyou.html](http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/gaiyou.html)（参照2007年11月21日）

⁴ 科学技術振興機構「SIST 科学技術情報流通技術基準 SIST02 参考文献の書き方」http://sist-jst.jp/handbook/siste2_2007/sist02.htm（参照2007年7月4日）などを参考にしました。

(5) 図表の入れ方

① 図表につけるもの⁵

- (ア) 図表番号
- (イ) 図表タイトル
- (ウ) 資料、出所、注

※データに基づいて自分で図表を作成した場合、用いた資料を明記します。

※出所明記の目的は「(4) 出所の書き方」と同様です。データに関して注意事項がある場合、また自分でデータを加工した場合、それらを注に明記しなければなりません。

※他の人が当該図表と同じ資料に基づき、注に書かれたとおりの作業を行った場合、同じ結果を得られなければなりません。

② 出所の書き方

※図表には様々な書き方があります。以下では一例を紹介します。

(ア) 図の場合

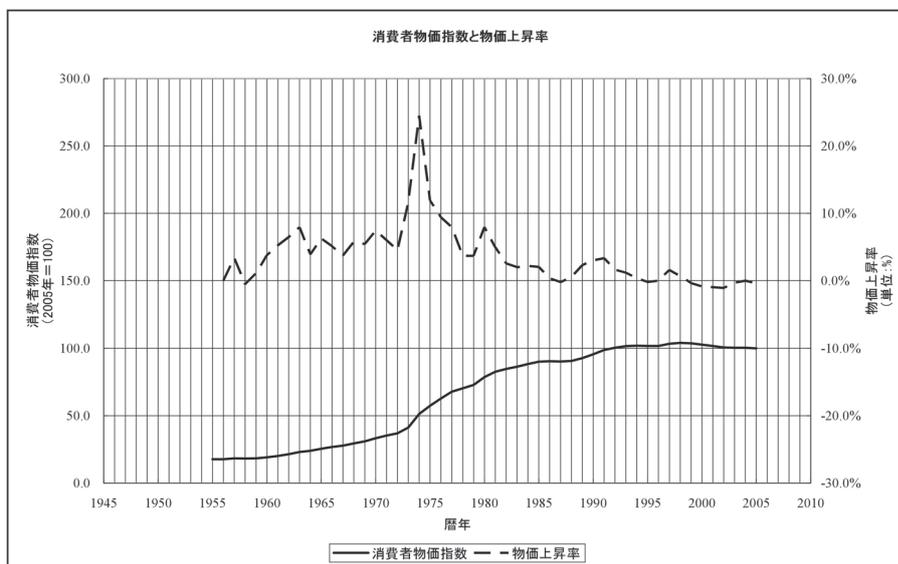


図1 消費者物価指数と物価上昇率

(資料) 総務省統計局「消費者物価指数 第1表-1 中分類指数(全国)一年平均指数」
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/longtime/zuhyou/a001-1.xls> (参照 2007年 11月 21日)

(注) 物価指数には「帰属家賃を除く総合」を用いた。物価上昇率は対前年である。

⁵小浜裕久・木村福成『経済論文の作法 増補版 勉強の仕方・レポートの書き方』日本評論社、1999年、pp.132-133を参考にしました。

3. 生成AIの活用について

近年、AI（人工知能）技術は急速に発展し、画像や文書などを自動的に作成する生成AI（Chat GPT・Gemini・Canva等）が開発され、誰でも簡単に利用できるようになりました。

これらは、機械の制御やデータの解析に使われる従来形式のAIにとどまらず、デジタル画像、音声、音楽、文章、翻訳、質問応答など多岐に亘るテキストを容易に生成することが可能になっています。

生成AIは、適切に使用することができれば有用なツールとなりますが、一方で、生成AIが学修に与える潜在的な利点とリスクを正しく認識する必要があります。

学生の皆さんは、授業における課題等の作成において、生成AIを利用する場合には、以下の点に十分留意してください。

- ①レポート・学位論文等については、学生本人が作成することを前提としているため、生成AIが生成した文章をそのまま用いて自らの成果物として提出した場合、それは盗用であり、「不正行為（剽窃）」とみなされる場合があります。
出典が明記されていない場合、「試験規程」第9条(10)に相当しており、不合格になることがあります。
また、出典が明記されている場合でも、引用として適切に扱われていなければ、不合格になることがあります。

「試験規程」第9条（試験の不正行為）

(10) レポートまたは作品による試験の場合、出典を明示せず他人の物を写すこと。

生成AIが生成した文章をレポートに引用する場合、当該部分に「(使用した生成AIの名称) 生成の文章に基づく」旨と、その作業を行った年月日を記載してください。

- ②授業担当教員によっては生成AIの使用を禁止又は限定する場合があります。
必ず担当教員の指示に従ってください。
- ③生成AIの出力情報には、不正確なものや矛盾するものなどが含まれていることがあります。生成AIの出力を用いる場合は、自らその信憑性を確認する必要があります。
- ④生成AIはインターネット上のコンテンツを利用してテキストを生成しているため、知らない間に著作権を侵害している可能性があります。
- ⑤未発表の論文や秘密にすべき情報（個人情報や機密情報等）を生成AIに入力してしまうと、それらの情報が意図せず流出した場合、漏洩に関与していることになり、社会的な責任を問われる可能性があります。
- ⑥生成AIに入力した情報は、データベースに蓄えられ、他の利用者への回答に利用される可能性があります。
そのため、個人情報・学籍番号・メールアドレスなどは、絶対に入力しないでください。

成績評価について

1. 成績評価

「S」「A」「B」「C」「D」の記号をもって成績評価を表します。「S」「A」「B」「C」を合格、「D」を不合格とします。「S」「A」「B」「C」と評価された場合に限り、所定の単位を与えます。合格、不合格の基準は以下の表のとおりです。

各学期末に成績通知表により、単位認定および成績評価の結果を通知します。

表 成績評価

判定	成績通知表の表示	基準	記号	成績証明書の表示
合格	S	90～100点	特に優れた成果を示した。	S
	A	80～89点	優れた成果を示した。	A
	B	70～79点	平均的な成果を示した。	B
	C	60～69点	合格に必要な最低の成果を示した。	C
不合格	D	59点以下	合格に必要な水準に及ばなかった。 (履修放棄を含む)	表示しない

※他大学等で履修した授業科目や学習の評価を行わない授業科目においては「認定」とし、成績通知表・成績証明書の表示は「認」とします。

2. GPA

GPAとは、各授業科目の成績評価に対応した評点となる「Grade Point(以下「GP」という。)」を付与して算出する1単位当たりの評定平均値をいいます。

GPAの算出の対象授業科目は、本学における学習の評価によって成績評価を受けた卒業要件に算入される全ての科目です。ただし、判定を「認定」とする授業科目は対象外です。

①GPの配点

評価	S	A	B	C	D
GP	4	3	2	1	0

②GPAの計算方法及び種類

次の方法により計算し、計算値は、小数点以下第5位を四捨五入して、小数点以下第4位までを求めます。

$$\bullet \text{学期 GPA} = \frac{(\text{当該学期に評価を受けた科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{当該学期に評価を受けた授業科目の総単位数}}$$

$$\bullet \text{年度 GPA} = \frac{(\text{当該年度に評価を受けた科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{当該年度に評価を受けた授業科目の総単位数}}$$

$$\bullet \text{累積 GPA} = \frac{(\text{入学時から当該学期に評価を受けた科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{在学期間に評価を受けた授業科目の総単位数}}$$

3. 成績不良者への指導について

本学では全学生を対象として、前期と後期にアドバイザーによる面談を実施していますが、修得単位数およびGPAが一定の基準を下回る成績不良者には別途履修指導を行っています。なお、4年間以上在学(休学期間を除く)する学生について、累積GPAが0.2未満である場合に退学勧告(最長在学年限内での卒業が困難であると警告すること)をすることがあります。

4. 成績に関する問い合わせ先（2026年度用）

教員用メールアドレス（五十音順）

氏名	アドレス	常・非常勤
青木 真咲	masaki-aoki@ssu.ac.jp	非常勤
青木 優	maoki@ssu.ac.jp	常勤
明石 さつき	akashi@ssu.ac.jp	常勤
赤塚 顕宏	a-akatsuka@ssu.ac.jp	非常勤
天野 利彦	amano@ssu.ac.jp	非常勤
石垣 美佳	ishigaki@ssu.ac.jp	常勤
一之瀬 敦幾	a-ichinose@ssu.ac.jp	非常勤
伊藤 早紀	s-ito@ssu.ac.jp	非常勤
伊藤 麻希	maki-ito@ssu.ac.jp	常勤
犬塚 昭治	inuduka@ssu.ac.jp	非常勤
入江 眞理	m-irie@ssu.ac.jp	常勤
岩澤 敏幸	t-iwasawa@ssu.ac.jp	非常勤
岩本 武範	t-iwamoto@ssu.ac.jp	常勤
江間 諒一	r-ema@ssu.ac.jp	非常勤
王 暁芸	wang@ssu.ac.jp	常勤
大石 人士	h-oishi@ssu.ac.jp	非常勤
大島 建	k-oshima@ssu.ac.jp	常勤
太田 さつき	ohta@ssu.ac.jp	常勤
大谷 治男	h-otani@ssu.ac.jp	非常勤
大村 慎一	s-omura@ssu.ac.jp	非常勤
緒方 博幸	ogata@ssu.ac.jp	非常勤
岡谷 慶子	okaya@ssu.ac.jp	非常勤
影山 剛士	takeshi-kageyama@ssu.ac.jp	非常勤
笠井 義明	y-kasai@ssu.ac.jp	常勤
神尾 玲子	r-kamio@ssu.ac.jp	常勤
川合 智之	tomoyuki-kawai@ssu.ac.jp	常勤
川端 奈津子	n-kawabata@ssu.ac.jp	常勤
北本 遼太	r-kitamoto@ssu.ac.jp	常勤
木村 駿介	s-kimura@ssu.ac.jp	常勤
木村 憂子	kimura@ssu.ac.jp	非常勤
金 小賢	kin@ssu.ac.jp	非常勤
金原 利奈	r-kinbara@ssu.ac.jp	非常勤
久保田 和夫	ka-kubota@ssu.ac.jp	非常勤
久保田 貴之	t-kubota@ssu.ac.jp	非常勤
熊王 康宏	kumaoh@ssu.ac.jp	常勤
小泉 祐一郎	y-koizumi@ssu.ac.jp	常勤
五條 愛子	a-gozyo@ssu.ac.jp	非常勤
後藤 隆浩	takagoto@ssu.ac.jp	常勤
後藤 りか	rikagoto@ssu.ac.jp	非常勤
小林 克司	katsushi@ssu.ac.jp	非常勤
小林 健一郎	ken@ssu.ac.jp	常勤
近藤 尚武	nkondo@ssu.ac.jp	常勤
今野 文子	f-konno@ssu.ac.jp	非常勤
坂本 孝司	t-sakamoto@ssu.ac.jp	非常勤
櫻田 佳恵	y-sakurada@ssu.ac.jp	非常勤
佐瀬 竜一	r-sase@ssu.ac.jp	非常勤
佐藤 重芳	s-sato@ssu.ac.jp	常勤
佐藤 知条	c-sato@ssu.ac.jp	常勤
佐藤 寛子	h-sato@ssu.ac.jp	常勤
佐藤 若	waka-sato@ssu.ac.jp	常勤
佐野 典秀	sano@ssu.ac.jp	常勤
澤谷 由美	y-sawaya@ssu.ac.jp	非常勤
塩梅 弘之	shioume@ssu.ac.jp	常勤
繁田 和美	shigeta@ssu.ac.jp	非常勤
下大澤 志保	s-shimoosawa@ssu.ac.jp	非常勤
下田 明宏	a-shimoda@ssu.ac.jp	常勤
徐 広孝	h-jo@ssu.ac.jp	非常勤
関 壺成	i-seki@ssu.ac.jp	非常勤
高城 佳那	kana-takagi@ssu.ac.jp	常勤
高橋 等	h-taka@ssu.ac.jp	常勤
高村 紫	y-takamura@ssu.ac.jp	非常勤

氏名	アドレス	常・非常勤
田口 敏行	taguchi@ssu.ac.jp	常勤
田高 悠晟	tataka@ssu.ac.jp	常勤
館 俊樹	tachi@ssu.ac.jp	常勤
谷口 昭彦	taniguchi@ssu.ac.jp	常勤
谷口 正昭	mtani@ssu.ac.jp	常勤
田畑 和彦	tabata@ssu.ac.jp	常勤
陳 端端	chin@ssu.ac.jp	非常勤
塚本 博之	tukamoto@ssu.ac.jp	常勤
土屋 崇明	tsuchiya@ssu.ac.jp	非常勤
土居 蘭子	doi@ssu.ac.jp	常勤
中井 真吾	nakai@ssu.ac.jp	常勤
永田 奈央美	nagata@ssu.ac.jp	常勤
中西 健一郎	k-nakanishi@ssu.ac.jp	常勤
中村 昭夫	akio-nakamura@ssu.ac.jp	非常勤
中村 住子	s-nakamura@ssu.ac.jp	非常勤
中村 美智太郎	m-nakamura@ssu.ac.jp	非常勤
中山 高伸	t-nakayama@ssu.ac.jp	非常勤
中山 勝	masaru-nakayama@ssu.ac.jp	常勤
ヌルー アクタル 奈保子	n-nurulakther@ssu.ac.jp	非常勤
野口 直子	n-noguchi@ssu.ac.jp	非常勤
野口 勝央	m-noguchi@ssu.ac.jp	非常勤
野崎 英二	e-nozaki@ssu.ac.jp	非常勤
法月 健	norizuki@ssu.ac.jp	常勤
長谷川 ひかり	hikari-hasegawa@ssu.ac.jp	非常勤
日隈 美代子	m-higuma@ssu.ac.jp	常勤
一杉 憲重	hitosugi@ssu.ac.jp	非常勤
藤田 直樹	n-fujita@ssu.ac.jp	常勤
船越 雅人	m-funakoshi@ssu.ac.jp	非常勤
星賀 彰	hosiga@ssu.ac.jp	非常勤
堀内 慎一郎	s-horiuchi@ssu.ac.jp	常勤
牧野 好洋	makino@ssu.ac.jp	常勤
増田 和芳	kazuyoshi-masuda@ssu.ac.jp	非常勤
松永 由弥子	matunaga@ssu.ac.jp	常勤
万浪 靖司	mannami@ssu.ac.jp	常勤
南谷 幸子	s-minamitani@ssu.ac.jp	非常勤
宮崎 彰吾	s-miyazaki@ssu.ac.jp	常勤
宮田 弘一	h-miyata@ssu.ac.jp	常勤
宮村 典雄	n-miyamura@ssu.ac.jp	非常勤
森田 江美子	morita@ssu.ac.jp	非常勤
守山 凜	r-moriyama@ssu.ac.jp	非常勤
山内 秋人	a-yamauchi@ssu.ac.jp	常勤
山崎 秀夫	h-yamazaki@ssu.ac.jp	非常勤
山崎 裕子	y-yamazaki@ssu.ac.jp	非常勤
山田 一之	k-yamada@ssu.ac.jp	常勤
山田 悟史	s-yamada@ssu.ac.jp	常勤
兪 虹	yuhong@ssu.ac.jp	非常勤
劉 放	liu@ssu.ac.jp	常勤
渡辺 俊也	t-watanabe@ssu.ac.jp	常勤
和所 泰史	y-washo@ssu.ac.jp	常勤
藁科 侑希	warashina@ssu.ac.jp	常勤
Coughlin Matthew Joseph	coughlin@ssu.ac.jp	非常勤
Legg Christopher Lee	christopher@ssu.ac.jp	非常勤

- ① SSU メールを必ず使用し、学籍番号・氏名・科目・曜日・時限・評価・問い合わせ内容を明記してください。（SSU メール以外からの問い合わせには応じかねます。）
- ② 各担当教員から直接回答が送られます。
- ③ 成績問い合わせ期間のみ問い合わせることができます。それ以外の期間は一切受付いたしません。

進級及び卒業について

1. 進級及び卒業に必要な条件

各年次への進級に必要な条件は以下のとおりです。

(1) 1年生から2年生への進級

- ・特に条件はありません。

(2) 2年生から3年生への進級

- ・2年次末時点で卒業に必要な単位数が、40単位数に満たないと、進級できません。¹
- ・2年生に留年した学生は、修得単位数が40単位数以上に達した場合、在籍期間に応じて次のセメスターから3年生または4年生に進級します（2年生で留年しても、その後頑張れば、4年間で卒業可能です）。

(3) 3年生から4年生への進級

- ・特に条件はありません。

(4) 卒業

- ・4年以上在学（休学期間を除く）し、4年次末時点で卒業要件に沿った124単位数以上を修得していれば卒業します。

■卒業見込証明書の発行条件（2023・24年度生）

4年次前期：3年次終了時点で84単位数以上を修得していること

4年次後期：4年次前期終了時点で卒業要件に沿った124単位数以上を修得していること

※4年次後期においては、上記条件を満たさない場合でも、後期履修登録の状況により、発行可能となることがありますので、アドバイザーに相談してください。

※2025年度生以降の発行条件は変更される予定です。

2. 卒業延期制度

卒業延期制度とは、進学準備、就職活動等の正当な理由により、卒業を延期し、引き続き在学を希望する学生のための制度です。

- (1)条件：卒業要件を満たす4年生であること
授業料等納付金を完納していること
引き続き在学することにより在学期間が8年を超えないこと
- (2)履修期間：半年間（2年を限度に再延長可）
- (3)申請期間：毎年7月下旬～8月上旬、1月中旬～2月上旬
詳細は大学ホームページで確認してください。
- (4)科目履修：年間履修登録単位数までの履修が可能
- (5)納付金：履修登録の有無、履修登録単位数にかかわらず、授業料・施設設備費等の30%を一括納付
※この他に諸会費等を全額納付

詳細については、教務課へ問い合わせてください。

¹ この40単位数は保育士養成科目のうち「保育士に関する科目」及び教職課程科目のうち「教職関連科目」を含みません。以下、同様です。

3. 長期履修学生制度

職業を有している等の事情で時間的制約があり、修業年限での卒業が困難な学生に対して、修業年限を超えて一定の期間にわたっての計画的な教育課程の履修と学位取得を認める制度です。

- (1)対象者：長期履修を申請できる者は、次のいずれかに該当し、修業年限での卒業が困難と認められる正規学生です。
 - ①職業を有する者（自営業、臨時雇用（単発的なものを除く）、非常勤等を含む）
 - ②育児、介護の事情を有する者
 - ③病気等その他やむを得ない事情を有する者
 ただし、以下の学生は原則、対象外です。
 - ①修業年限の最終年次に在学する者
 - ②私費外国人留学生（在留資格「留学」の者）
 - ③特待生として選考されている者
- (2)長期履修期間：長期履修の期間は1年を単位とし、次に掲げるとおりです。
 - ①入学時に長期履修が認められる場合は、修業年限（4年）の2倍に相当する年数以内
 - ②在学途中から長期履修となる場合は、残りの修業年数の2倍に相当する年数以内
 ※休学期間は長期履修期間に算入されません。
- (3)申請手続き：所属キャンパスの教務課で申請書類を受け取り、提出期限までに必要書類を添えて提出してください。
- (4)申請締切：
 - ①入学時から長期履修を希望する者 → 入学前年度の3月末日
 - ②在学途中から長期履修を希望する者 → 開始希望年度の前年度の2月末日
 詳細については、所属キャンパス教務課へ問い合わせてください。

4. 転学部・転学科・キャンパス異動

- ・転学部とは所属する学部を変更すること、転学科とは同じ学部内で所属する学科を変更することです。審査があります。転学部・転学科は4月に行います。次の事項について審査し、転学部・転学科の可否を決定します。
 - (1)学部・学科における欠員の状況及び教育上の支障の有無
 - (2)出願の理由
 - (3)在籍年次までの履修成績と転学部・転学科後の履修可能性
 - (4)出願者に対する面接審査（転学部の場合のみ）
- ・希望者は教務課に事前相談のうえ、転学部、または転学科しようとする4月の前年度10月末日までに必要書類を教務課に提出してください。
- ・所属するキャンパスを変更する場合は、教務課に相談してください。（経営学部のみ）

国内外留学・海外研修について

1. 海外研修

学生が異文化体験や現地企業訪問を通じてグローバルな視野を身につけることを目的に、1年次から履修できる「海外研修」(スポーツ科学部 2023・24 年度生)、「海外研修 A～C」(経営学部 2023～26 年度生、スポーツ科学部 2025・26 年度生)を開講しています。本研修では海外のスポーツビジネス視察や日系企業の経営者との交流、フィールドワーク、現地大学でのプレゼンテーションなど、担当教員が計画を立てた様々なプログラムを体験することができます。

2026 年度海外研修 ※ 2027 年度以降の海外研修については当該年度のシラバスで確認してください

科目名	単位	担当教員	研修先	研修時期	日程	費用(概算)	奨励金
海外研修 A	2 単位	岩本 武範	タイ (バンコク)	2 月	4 泊 5 日	約 20 万円	5 万円
海外研修 A	2 単位	入江 眞理	韓国 (ソウル)	3 月	4 泊 5 日	約 15 万円	5 万円
海外研修 B	2 単位	熊王 康宏	台湾 (台北・台南)	12 月下旬	4 泊 5 日	約 15 万円	5 万円
海外研修 B	2 単位	万浪 靖司	香港 (九龍半島、香港島)	2 月	4 泊 5 日	約 20 万円	5 万円
海外研修 C	2 単位	和所 泰史	中国 (西安)	9 月上旬	4 泊 5 日	約 15 万円	5 万円
海外研修 C	2 単位	佐藤 寛子	オーストラリア (シドニー)	9 月上旬	4 泊 6 日	約 30 万円	8 万円

※研修先・時期・日程・費用は変更になる場合があるため、学生ポータルでお知らせする最新情報を確認してください。

※海外研修は履修登録期間または各研修の説明会で指定される期間に履修登録できます。説明会の実施日時については学生ポータルでお知らせします。

※申請により静岡産業大学学生海外短期研修奨励金を支給します。ただし、同一科目名での申請は一回に限ります。

※スポーツ学部 23・24 年度生については「海外研修 C」を「海外研修」に読み替え、「海外研修 A・B」は他学部の授業科目を履修する制度により履修登録してください。

2. 海外短期語学研修

春・夏季休暇期間中に、海外の本学協定校や提携校で集中的に語学を学ぶ短期プログラムです。学部学年、語学力を問わず誰でも参加することができます。滞在方法は研修により異なりますが、ホームステイまたは学生寮で生活します。募集については学生ポータル等でお知らせします。

協定校

大学名	国名	研修時期	研修期間	費用(概算)	奨励金
ワイカト大学	ニュージーランド	春・夏季休暇期間	3・5 週間	約 38・52 万円	8 万円
ハワイ大学マノア校	アメリカ	春・夏季休暇期間	3 週間	約 58 万円	8 万円
テイフ・ニューサウスウェールズ	オーストラリア	春・夏季休暇期間	2・4 週間	約 23・38 万円	8 万円
東新大学校	韓国	8 月	2 週間	約 20 万円	5 万円
アジア太平洋テクノロジーイノベーション大学 (APU)	マレーシア	春・夏季休暇期間	4 週間	約 27 万円	5 万円

※上記費用は主に授業料及び滞在費の概算です。

渡航費・ビザ申請費・海外旅行保険代・諸経費等は含みません。

※為替レート等により、費用は変動します。

※申請により静岡産業大学学生海外短期研修奨励金を支給します。ただし、同一研修での申請は一回に限ります。

※研修先での学業成績を本学の卒業要件単位として認定することがあります。

※テイフ・ニューサウスウェールズのリ修は最少催行人数（6名以上）の設定があります。
 ※アジア太平洋テクノロジーイノベーション大学（APU）の費用として約5万円の保証金（後日返金）が別途かかります。

その他の研修先

大学名	国名	研修時期	研修期間	費用
西シドニー大学	オーストラリア	春・夏季休暇期間	2・4週間	約43・56万円

※上記費用は主に授業料及び滞在費の概算です。

渡航費・ビザ申請費・海外旅行保険代・諸経費等は含みません。

※為替レート等により、費用は変動します。

3. 協定校での国内・海外留学

協定校へ長期留学する場合、1年または半年間、休学をせずに留学できる大学があります。また、留学先で修得した単位を本学の卒業要件単位として認定する制度があります。原則として、本学に通常の授業料を納付することで留学先への授業料の支払いは不要になりますが、英語圏の協定校の場合は本学と留学先の授業料の差額分については自己負担となります。なお、留学に係る旅費、保険加入費、滞在費等は別途負担していただきます。

協定校

大学名	留学期間	卒業要件として認められる単位数	応募資格
名桜大学（沖縄県）	1年または半年	最大40単位	留学開始時に2年次以上に在籍する者
大正大学（東京都）		最大30単位	
大真大学（韓国）		最大12単位	
浙江樹人学院（中国）		最大12単位	
ワイカト大学カレッジ（ニュージーランド）		最大12単位	

※留学先の大学で修得した単位は、所属学部の審議を経て認定されます。

※国内留学については教務課、海外留学については学生支援課に問い合わせてください。

[留学の申込期限]

- ・前期からの留学希望 留学希望年度の前年度9月末
- ・後期からの留学希望 留学希望年度の4月末

数理・データサイエンス・AI教育プログラムについて

1. SSUデータサイエンスプログラム（リテラシーレベル）

「SSU データサイエンスプログラム（リテラシーレベル）」は、全学共通の教育プログラムです。本教育プログラムは「情報処理基礎Ⅰ・Ⅱ」「データマネジメント基礎」といった3つの授業科目から成り、学生がデータサイエンスに関する基礎的・標準的な知識・思考・関心・技能を、演習などを通して体系的に修得することを目的とします。

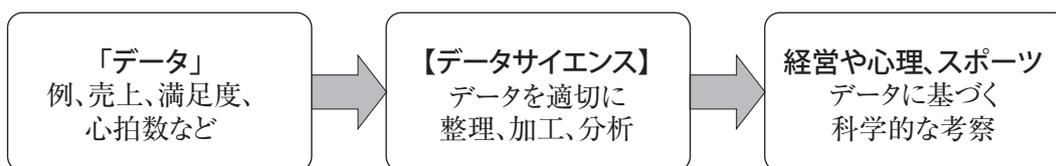
本学では2023年度からプログラムを開始し、2024年8月27日に文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定されました。



対象：全学部
認定有効期限：2029年3月31日

MDASH
Literacy
Approved Program for Mathematics,
Data science and AI Smart Higher Education

データ活用力を身に付けて、社会で活躍！



(1) 本プログラムで身に付けることができる能力

- ・ 表計算ソフトによる基礎的情報処理能力や、個人情報保護などデータを扱う上での留意事項を身に付けます。
- ・ 社会におけるデータサイエンスの発展とそれが社会に及ぼす効果・影響を理解します。
- ・ 平均・分散や推定・検定などデータの統計的な処理方法、調査票の設計や標本の抽出、結果の集計・分析及び統計的な調査の設計方法を修得します。

このプログラムの利点

- ①データを活用。経営や心理、スポーツを分析 → 他者とは異なる客観的な考察
- ②社会に必要な「データ活用力の基礎」の修得 → 就職活動での自己PRに有用
- ③データ活用力の基礎を習得。学修をより発展 → データ駆動型社会に於ける活躍

(2) プログラム授業科目

< 修了要件科目 >

【情報処理基礎Ⅰ】【情報処理基礎Ⅱ】（1年次必修科目）

【データマネジメント基礎】（1年次科目）

< 推奨科目 > ※任意

【データサイエンス基礎】（2年次科目）、【データサイエンス基礎実践】（3年次科目）

【統計学】（2年次科目）、【統計調査論】（3年次科目）

このプログラムの特徴

- ①プログラムは修了要件科目3つと推奨科目4つの計7科目で構成されています。
- ②データサイエンスを基礎から体系的に学びます。演習を含めた実践学修です。
- ③経営学部生もスポーツ科学部生も申請できます。成果を専門分野に活かしましょう。

(3) 履修方法

通常の科目と同様に「Web履修登録システム」から履修登録してください(必修科目等、既に登録されている場合があります)。

(4) プログラム申請方法

右の二次元コードよりプログラムへの申請をしてください。
このプログラムへの申請は、本学に在籍中に一度申請すれば、再度申請する必要はありません。なお、修了要件科目のうち1科目以上履修登録していれば、誰でも申請できます。

プログラム申請フォーム



(5) 修了証の発行

卒業までに修了要件科目3科目全ての単位を修得するとプログラム修了と認定し、希望者には学修歴のアピールとして利用できる修了証を発行します。修了証を希望する学生は二次元コードより申請してください。

修了証申請フォーム



申請期間については、学生ポータル等でお知らせをします。

2. SSUデータサイエンスプログラム（経営学部・応用基礎レベル）

「SSUデータサイエンスプログラム（経営学部・応用基礎レベル）」は、経営学部の教育プログラムです。本学経営学部では2026年度からプログラムを開始しました。

(1) 本教育プログラムで身に付けることができる能力

データを適切に集計・分析するとともに、AIなどを用いて考察し、結果を経営分野に係る諸課題の発見・解決に活かせるようになることを目標とします。それに向けて、①データサイエンスの基礎、②プログラミング技術、③データベースの取り扱い、④AIの活用方法などを身に付けます。さらに、実データに基づく演習を通して、それらの実践力・活用力をより高めます。

(2) プログラム授業科目

<修了要件科目> (本教育プログラムの必修科目。以下の8科目の単位を修得)

【AI・DX入門】【データサイエンス基礎】【データサイエンス基礎実践】

【統計学】【プログラミング応用】【経営学特殊講義C(データベース)】

【経営学専門演習F】(高橋等)、【経営学専門演習H】(永田奈央美)

<修了要件科目> (本教育プログラムの選択科目。以下のうち1科目の単位を修得)

【情報セキュリティ】【統計調査論】【デジタル技術基礎】【デジタル技術基礎演習】

(3) 履修方法、プログラム申請方法、修了証の発行

大学webサイトをご参照ください。

履修登録の方法

1. 授業選びのルール

(1) ポイント

- ・授業はたくさんあります。月～金曜の1～5限、すべての時間帯に授業を入れる必要はありません。自分で授業を選び、時間割を組んでください。
- ・多くの科目は半期完結。ひとつの科目に合格すると「2単位」になります¹。
- ・「半期1科目 = 2単位」を積み重ねていき、4年後124単位に到達すれば、「大学卒業」となります。

(2) 卒業要件

- ・ただし自由に授業を選び、124単位とればいいわけではありません。
- ・授業選びには学科ごとにルールがあります。それを「卒業要件」といいます。

(3) 授業選びのルール（ポイント）

- ①「基礎教育科目」で30単位、「専門教育科目」で94単位修得する
(卒業までに修得すべき単位数)
- ②必修科目 …科目が指定されている。ここにある科目をすべて合格する
選択必修科目…ある決められた枠のなかから、科目を選んで合格する
選択科目 …比較的広い区分のなかから、科目を選んで合格する
- ③履修登録は一年間に【2025・26年度生】48単位まで²
【2023・24年度生】44単位まで²

表 本学並びに「高等教育の修学支援新制度」が定める単位数

	本学が定める標準的な単位数		本学が定める成績不良者の単位数の目安	文部科学省「高等教育の修学支援新制度」標準単位数
	(年間の修得単位数)	(修得済みの単位数)	(修得済みの単位数)	(修得済みの単位数)
1年生・前期末	36	18	10	31
1年生・後期末		36	20	
2年生・前期末	36	54	30	62
2年生・後期末		72	40	
3年生・前期末	36	90	64	93
3年生・後期末		108	84	
4年生・前期末	16	116	104	124
4年生・後期末		124	124	

¹一部、1単位の科目もある。各科目の単位数は本冊子「授業科目一覧表」の「単位数」欄を参照のこと。

²一部、例外の科目もある。本冊子 P.7「年間履修登録単位数の制限」を参照のこと。

- (注1) P.36 表内の数値は単位数を示します。対象は卒業要件内の授業科目です。
- (注2) 「本学が定める標準的な単位数」は4年間での卒業を保証するものではありません。計画的に履修し、学力をより高め、各時点でより多くの単位を修得することを勧めます。
- (注3) 「本学が定める成績不良者の単位数の目安」は各時点で修得しておきたい最低限の単位数を示します。当該の単位数未満の場合、履修状況に問題があると思われます。本人はより一層、努力することが必要であるとともに、大学が適切な指導を行います。
- (注4) 文部科学省「高等教育の修学支援新制度」標準単位数は、同制度が定める単位数です。詳細は当該の Web サイトをご覧ください。

2. スケジュール

(1) 【オリエンテーション】

- ・各自が「My Schedule」に時間割を作成します。

(2) 【仮履修登録期間】

① Web 履修登録

- ・以下を見て、Web 履修登録をしてください。
 - (a) この期間は履修登録を何度でも修正できます（クラス指定がある授業を除く）。
 - (い) 一年分（前期分および後期分）の履修登録を行ってください。前期分は前期履修確定期間最終日に確定しますが、後期分は「後期履修登録期間」に修正可能です。
 - (う) 不明点が生じる可能性があるため、早めに一度、履修登録を済ませてください。自宅や学外のパソコンからも Web 履修登録できます。
- ・この期間に行なう Web 履修登録は「仮履修登録」です。
 - (え) 履修登録確認期間に行う履修者選抜に漏れた場合、その授業に関する「仮履修登録」は取り消しになります。事前に「履修者選抜に漏れた場合、履修登録をどの科目に変更するか」考えておいてください。
 - (お) この期間はすべての授業（クラス指定がある授業を除く）に履修登録をできます。
[参考] 履修者選抜の競争率が高そうな授業の場合、この期間に自主的に履修登録を他の授業に変更するのも一案です。
 - (か) 各授業には制限人数が設定されています。この期間は制限人数を超えての履修登録が可能です。

②注意

- ・履修登録者数が5名以下の授業は開講されないことがあります。

(3) 【履修登録確認期間】

①授業へ出席

- ・この期間の授業で、必要に応じて「履修者選抜」を行います。受講を希望する授業に必ず出席してください。この期間の授業に欠席の場合、その授業を履修できなくなることがあります。

② Web 履修登録

- ・この期間は Web 履修登録できません。

③注意

- ・履修登録者数が5名以下のため、未開講となる可能性がある授業については、この期間に担当教員、教務課より履修申請者に連絡をします。

(4)【履修確定期間】

①授業へ出席

- ・合格（単位修得）を目指して、引き続き授業に出席してください。

② Web 履修登録

- ・この期間にパソコンで自分の履修登録「確定版」を確認、印刷してください。
 - (き) 履修確定期間後は、履修登録の変更をできません。
 - (く) 履修登録をしないまま講義に出席、試験に合格しても、「単位」を修得できません。
 - (け) 履修登録「確定版」を必ず印刷し、各自で保管してください。トラブル時の証明に印刷した用紙が必要です。
- ・「履修者選抜」で履修できることになった授業は、「仮履修登録」がそのまま「本登録」になります。この期間はそれらの授業について手続きは不要です。
 - (こ) 本登録になった授業の履修登録を、自主的に取り消すことはできます。
- ・「履修者選抜」に漏れた授業は仮履修登録が取り消されています。
 - (さ) それらの授業については、Web 履修登録によって、別の科目に登録を変更してください。
 - (し) この期間は追加受け入れが可能な授業のみ、履修登録をできます。
 - (す) 各授業には制限人数が設定されています。この期間は制限人数を超えての履修登録はできません。制限人数に達するまで先着順で登録を受け付けます。

③注意

- ・履修登録者数が5名以下のため、開講されなくなる授業は仮履修登録が取り消されます。それらの授業については、(さ)～(す)と同様に、Web 履修登録によって、別の科目に登録を変更してください。
- ・操作は大学からでも、自宅からでも行えます。
「ユーザー名、パスワード（学生証の紙カバーに記載）」が必要です。

3. 問い合わせ先

Web 履修登録について不明な点は、教務課に問い合わせてください。

経営学部

経営学部

1. 学びの体系（経営学部・1年生向け）

時代を超える経営学の原則を体系的に学ぶだけでなく、実学教育を通じて地域や企業が抱える諸問題に実際に触れることで、現状を正しく理解し、自らで考え抜く能力を養います。また、社会における新たな価値を特定・発信する重要性を学び、次世代のビジネスパーソンとして常に成長し続けられる人材の育成を目指します。

〔経営学科〕

AIを活用した経営戦略や脳科学をベースとしたマーケティング、会計学等の経営に関する幅広い専門知識を理論と実践の両面から学びます。また、そこで得た知見をビジネスだけでなく、地域産業や観光、スポーツ振興等の様々な領域で生かし、地域社会の活性化に資する能力を養成します。

- ・経営コース
- ・会計コース
- ・地域ビジネスコース
- ・AIデータサイエンスコース
- ・観光・文化コース
- ・スポーツビジネスコース

〔心理経営学科〕

人の心理や行動、感性を解明し、そこで得た学びを実社会で活用・応用し、発展させる能力を養成します。人の心を動かす商品開発や人が安心して働ける組織づくり等、ビジネス課題の解決に必要な視点や知見の獲得を図ります。

- ・ビジネス心理コース
- ・ものづくり感性コース

〈経営コース〉両キャンパス

経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を組み合わせ、活用することで社会が求める価値ある商品・サービスを創造する手法を学びます。経営戦略やマーケティング等について理解を深め、ビジネスの最前線で活躍する人材を目指します。

推奨科目は「経営学入門」「経営管理総論」「経営戦略論」「現代経済学A・B」です。

〈会計コース〉両キャンパス

企業の情報を数値化する会計学の知識を理論と実践を通じて学びます。財務諸表等から会社の状態を正確に把握し、経営分析・戦略に役立てる能力を育成します。また税理士や公認会計士等の資格取得にも努め、会計の専門家を目指します。

推奨科目は「簿記原理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「原価計算論」「税務会計論」「管理会計論」「財務諸表論」です。将来、税理士や公認会計士、さらには簿記1級の取得を目指す者に対しては会計塾が用意されています。

〈地域ビジネスコース〉両キャンパス

地域と産業の現状や課題を踏まえて持続的発展性を探求し、経営学の知見を活かして諸課題を解決する能力を養います。また、企業や自治体で働く人から地域の活性化について学び、地域ビジネスや行政の担い手となる人材を育成します。

推奨科目は「地域学」「地域産業論A・B」「民法A・B」「地域経営論」です。地域や産業の現場で学ぶ現地演習を実施したり、地域活性化の実践者や地域産業の革新的人材をゲスト講師に招聘したりします。

〈A I データサイエンスコース〉藤枝キャンパス

A I やビッグデータを活用したD X化の流れの中で、組織の効率を向上させるに必要なA Iを含むI C T技術を学び、A Iによる分析、予測が可能な人材育成を行います。

推奨科目は「A I・D X入門」「プログラミング応用」「データマネジメント基礎」「データサイエンス基礎」「データサイエンス基礎実践」です。社会のあらゆる課題をA Iとデータ分析の技術を用いて解く素養を身に付けるようにします。

〈観光・文化コース〉藤枝キャンパス

基礎的な経営学の知識に加え、様々な観光ビジネスに関する文化的教養を学びます。これからのインバウンドやツーリズム需要を見据えた新たな観光ビジネスに対応し活躍できる人材を育成します。

推奨科目は「観光資源論」「観光文化論」「観光産業論」「観光マネジメント論A・B」です。実践的な学びを重視しながら、観光文化に関する教養を身に付けるようにします。

※ 2027年度より、両キャンパスに設置予定です。

〈スポーツビジネスコース〉磐田キャンパス

スポーツが大好きな学生にマネジメントの知見を獲得させることで、スポーツ関連産業に就職できる力を身に付けさせます。スポーツに関わるイベント運営やインターシップ、さらには行政や企業と連携した実学教育を通じて、実践力を養うだけでなく、スポーツが持つ地域社会を元気にする力を学びます。

推奨科目は「スポーツマネジメント入門」「スポーツ産業論」「スポーツマーケティング論」「スポーツ経済学」「地域スポーツ政策論」「スポーツイベント企画運営演習A・B」です。

〈ビジネス心理コース〉両キャンパス

消費者や働く人の心と行動を理解し、ビジネスに心理学の知見を活かす方法を学びます。企画・開発、広告、販売促進、従業員のモチベーション、職場の人間関係等のビジネス課題に、経営学と心理学の視点からアプローチします。

推奨科目は「社会心理学」「組織心理学」「消費者心理学」「人間関係論」「人的資源管理論」です。ビジネス心理の実践知を修得し、専門ゼミの研究発表会に繋げましょう。

〈ものづくり感性コース〉両キャンパス

売れる商品・サービスを作るには、品質とともに消費者の感動や共感を得るための「感性」価値を高めることが重要です。ものづくりに「感性」という視点を取り入れ、新たな価値を創造するための手法を実践的に学びます。

推奨科目は「ものづくり心理学概論」「ものづくり心理学演習」「感性デザイン」「感性マーケティング」「行動経済学A」です。学外研修にもウエイトを置き、県西部のものづくり企業を視察し、製造工程や商品企画などを広く学びます。また海外研修も視野に入れ、感性訴求商品の先端技術を学びます。

2. 授業の選び方（経営学部・1年生向け）

ここでは4年後にきちんと卒業でき、かつ体系的な学習をできるように、授業の選び方を説明します

(1) 使用するもの

- ・「学生便覧」
- ・「SSU 履修ガイド」（本冊子）
- ・「時間割表」
- ・「My Schedule」

(2) 学科の設定

- ・希望する学科を仮に決める

(3) 必修科目について

①「授業科目一覧表」で「必修」欄を縦方向に見ます。

②必修科目を探す。以下の科目が見つかります。

- ・「基礎ゼミナール」……………（半期2単位）
- ・「情報処理基礎Ⅰ」「情報処理基礎Ⅱ」……………（それぞれ半期2単位）
- ・「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ（3年次必修）」……………（それぞれ半期2単位）
- ・「キャリアデザイン講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（2・3年次必修）」（それぞれ半期2単位）

③上記の科目をひとつずつチェックします。

・「基礎ゼミナール」

(あ) 授業科目一覧表の「配当年次」「単位数」「備考」を確認します。

(い) シラバスで授業内容を確認します。

(う) 学生ポータルにて、曜日・時限を確認する。所属クラスの変更はできません。

このクラスが高校のホームルームにあたります。

(え) 時間割表および My Schedule で曜日・時限を確認します。

・「情報処理基礎Ⅰ」「情報処理基礎Ⅱ」

(お) 授業科目一覧表の「配当年次」「単位数」「備考」を確認します。

(か) シラバスで授業内容を確認します。

(き) 学生ポータルにて、曜日・時限を確認します。

(く) 学生ポータルを見て、該当する必修クラスの「情報処理基礎Ⅰ」「情報処理基礎Ⅱ」を探します。

※この科目は曜日・時限が決められています。それらの変更はできません。

※該当するクラスの授業に出席します。例えば、時間割表に書かれているすべての「情報処理基礎Ⅰ」に出席する必要はありません。

(け) My Schedule 右側の表、該当する曜日・時限に「情報処理基礎Ⅰ」「情報処理基礎Ⅱ」を記入します。

(こ) 第1回の「情報処理基礎Ⅰ」の授業において、大学設置のパソコンの使い方などについて説明および確認を行います。必ず出席してください。また「ユーザー名、パスワード」（学生証の紙カバーに記載）を持参しましょう。

④その他

- ・これら必修科目を配当年次に記載されている学年で履修する必要があります。
- ・必修科目に合格しなければ、卒業できません。
- ・必修科目が不合格であった場合、次年度以降に再度、履修することになります。

(4) 選択必修科目について

- ① 「授業科目一覧表」で「選択必修」欄を縦方向に見ます。
- ② 「英語Ⅰ」～「英会話Ⅱ」で4単位分、科目を選んで、合格しなければなりません。ここでは例として、この枠で4単位分、科目を選ぶことにします。
※この「選択必修」枠4単位分をすべて1年次に合格する必要はありません。
卒業までに4単位分、合格すること
※この「選択必修」枠では4単位、必要です。4単位以上修得した場合、超過分を「選択」枠にまわすことができます。
- ③ 選択した科目について、下記(さ)～(た)の項目をひとつずつチェックします。
 - (さ) 授業科目一覧表の「配当年次」「単位数」「備考」を確認します。
※1年次には、原則として2年次以上に配当の科目を履修できません。逆に2年次以上の学生は低学年に配当の科目を履修できます。
 - (し) シラバスで授業内容を確認します。
 - (す) 時間割表を見て、当該科目の曜日・時限を確認します。
 - (せ) My Schedule 右側の表、該当する曜日・時限に当該科目を記入します。
 - (そ) 英語は大学での勉強、将来の就職等に大変重要です。「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」は選択必修科目ですが、経営学部ではこの科目の履修を推奨しています。
 - (た) 備考欄に「留学生専用」と書いてある科目を、日本人学生は履修できません。
- ④ 同様に、「授業科目一覧表」で「選択必修」欄を縦方向に見ます。
- ⑤ 「経営学入門」～「観光産業論」で8単位分、科目を選んで、合格しなければなりません。これ以降の作業は上記③と同様です。
- ⑥ ①～⑤を繰り返します。なお履修登録は一年間に48単位までです。ただし「授業科目一覧表」で**名称が太字で記載された科目**はこの制限に含みません。

(5) 選択科目について

- ① 「授業科目一覧表」で「選択」欄を縦方向に見ます。
- ② 「コミュニケーションと音声表現」～「特別共同講義」で20単位分、科目を選んで、合格しなければいけません。ここでは例として、この枠で20単位分、科目を選ぶことにします。
※この「選択」枠20単位分をすべて1年次に合格する必要はありません。
卒業までに20単位分、合格する必要があります。
※この「選択」枠に用いる科目は、先ほどの「選択必修」枠で用いた科目と別である必要があります。例えば「選択必修」枠で「英語Ⅰ」を選んだら、「選択」枠では「心理学」を選びます。なお「選択必修」枠で指定以上の単位を修得した場合、超過分を「選択」枠にまわすことができます。
- ③ 選択した科目について、上記(さ)～(せ)の項目をひとつずつチェックします。
 - (ち) キャリア準備は大学での勉強、将来の就職等に大変重要です。「キャリアデザイン概論」は選択科目ですが、経営学部ではこの科目の履修を推奨しています。
- ④ これを繰り返します。なお上記(4)⑥に記載の「履修登録の上限」に注意しましょう。

3. 2025・2026年度生卒業要件

科目区分	授業科目名(例示)	配当年次	必修	選択必修		選択	計		
				経営学科	心理経営学科				
基礎教育科目	基礎能力形成科目 全学共通科目	基礎ゼミナール	1	2			20	30	
		情報処理基礎Ⅰ	1	2					
		情報処理基礎Ⅱ	1	2					
		教養講座A～D	1						
	外国語科目	英語Ⅰ・英語Ⅱ	1		4				
		中国語Ⅰ・中国語Ⅱ	1						
教養科目	社会学	1							
	数学	1							
	スポーツA	1							
	スポーツB	1							
基礎教育科目 小計			6	4		20			
専門教育科目	専門基礎科目	経営学入門	1		8		52 注2	94	
		子ども家庭福祉	1						
	経営学科専門科目 (略)	経営戦略論	1		20				
		心理学概論A・B	1			20			
	学部共通科目	産官学連携科目	産官学連携講座A～H	1					
			経営学専門演習A～H	1		4			
		特殊研究科目	専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	3	4				
			卒業研究	4					
			留学生特別科目	1					
		留学生特別科目	日本語Ⅰ・Ⅱ	2	注2				
			日本語Ⅲ・Ⅳ	3					
			留学生特別科目 小計		注2				
	全学共通科目	データサイエンス科目	データマネジメント基礎	1					
			データサイエンス基礎	2					
			データサイエンス基礎実践	3					
		スポーツ学科	スポーツ産業論	1					
保育内容概論			1						
キャリア形成科目		キャリアデザイン講座Ⅰ	2	2					
		キャリアデザイン講座Ⅱ	3	2					
		キャリアデザイン講座Ⅲ	3	2					
学修・保健		社会実践講座A・B	1						
		海外研修A・B・C	1						
全学特殊講義科目	全学特殊講義A	1							
	全学特殊講義B	1							
	全学特殊講義C	1							
専門教育科目 小計			10 注2	32		52 注2			
合計			16 注2	36		72 注2	124		

(注1) この表には、多くの科目の中から一部を抜粋して掲載しています。

(注2) 留学生は、留学生特別科目の以下の12単位が必修科目となるため、専門教育科目の40単位が選択科目となります。「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」「日本語Ⅳ」「ビジネス日本語Ⅰ」「ビジネス日本語Ⅱ」

【基礎教育科目と専門教育科目】

経営学部が設置する科目は「基礎教育科目」と「専門教育科目」に分類されます。後者の「専門教育科目」は「専門基礎科目」と「学科専門科目（経営学科専門科目、心理経営学科専門科目）」などに分かれます。

①基礎教育科目

社会学や数学、外国語など教養を広く、深く身につけるための科目です。

②専門教育科目（専門基礎科目、専門関連科目）

経営学や経済学など、経営学部の基盤となる科目、また経営に関連する分野の科目です。

③専門教育科目（経営学科専門科目、心理経営学科専門科目）

会計学や心理学など、特徴ある専門性を身につける科目です。

【必修科目、選択必修科目、選択科目】

基礎教育科目や専門教育科目のなかは「必修科目」「選択必修科目」「選択科目」に区分されます。

①必修科目

必修科目は、各分野において基礎的かつ特に重要な内容を含む科目です。必修科目はあらかじめ定められており、卒業には必修科目すべてに合格することが必要です¹。

②選択必修科目

選択必修科目は、基礎教育科目や専門教育科目をバランスよく学ぶために設けられた科目群です。選択必修科目では、指定された科目群のなかから、自分の目標にあわせ科目を選ぶことができます。卒業には、それぞれの選択必修枠で定められた分、科目に合格することが必要です。

③選択科目

選択科目は、基礎教育科目や専門教育科目をより広く、より深く学ぶために設けられた科目群です。選択科目では、幅広い科目群のなかから、自分の目標にあわせ科目を選ぶことができます。卒業には、それぞれの選択枠で定められた分、科目に合格することが必要です。

【ゼミナール科目】

基礎教育科目には「基礎ゼミナール」、専門教育科目には「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」など、学部にはいくつかの「ゼミナール科目」が設置されています。講義科目では一般に「講義を聞く」のに対し、「ゼミナール科目」では学生が自ら調査を行い、結果をまとめ、発表をします²。それをできるよう「ゼミナール科目」では、少人数のクラス（＝ゼミ）を編成します。「基礎ゼミナール」「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」は必修科目です。「卒業研究」は必修科目ではありませんが、履修することを勧めます。

¹ 必修科目の履修にはいくつかの注意事項があります。それらについてはP.7「(5) 必修科目の履修登録について」を参照してください。

² 各ゼミナールの内容についてはシラバスの該当ページを参照してください。

4. 2024年度生卒業要件

科目区分	授業科目名 (例示)	配当年次	必修	選択必修		選択	計
				経営学科	心理経営学科		
基礎教育科目	基礎能力形成科目	基礎ゼミナール	1	2			30
		情報処理基礎Ⅰ	1	2			
		情報処理基礎Ⅱ	1	2			
		教養講座A～H	1				
		基礎能力形成科目 小計					
	外国語科目	英語Ⅰ	1		4		
		英語Ⅱ	1				
		外国語科目 小計					
	教養科目	社会学	1				
		数学	1				
		教養科目 小計					
	体育実技科目	スポーツA・B	1				
		体育実技科目 小計					
	キャリア形成科目	キャリアデザイン講座Ⅰ	2	2			
キャリアデザイン講座Ⅱ		3	2				
キャリアデザイン講座Ⅲ		3	2				
キャリア形成科目 小計							
基礎教育科目 中計			12	4		14	
専門教育科目	専門基礎科目				8	50 ^{注2}	
		専門基礎科目 小計					
	経営基礎科目				8		
		経営基礎科目 小計					
	心理基礎科目						8
		心理基礎科目 小計					
	経営学科専門科目	(略)	2		20		
		経営学特殊講義A～E					
	心理経営学科専門科目	(略)	2				20
		心理経営学特殊講義A～D					
	データサイエンス科目	データマネジメント基礎	1				
		データサイエンス基礎	2				
		データサイエンス基礎実践	3				
		データサイエンス科目 小計					
特殊研究科目	専門演習A～H	1			8		
	専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	3					
	卒業研究	4					
	特殊研究科目 小計						
留学生特別科目	日本語Ⅰ・Ⅱ	1	注2				
	日本語Ⅲ・Ⅳ	2					
	ビジネス日本語	3					
	留学生特別科目 小計		注2				
全学特殊講義科目	全学特殊講義A～C	1					
	全学特殊講義科目 小計						
専門教育科目 中計			0 ^{注2}	44		50 ^{注2}	

(注1) この表には、多くの科目の中から一部を抜粋して掲載しています。

(注2) 留学生は、留学生特別科目の12単位が必修科目とされ、専門教育科目の38単位が選択科目とされています。

5. 2023年度生卒業要件

科目区分	授業科目名 (例示)	配当年次	必修	選択必修		選択	計
				経営学科	心理経営学科		
基礎教育科目	基盤能力形成科目	基礎ゼミナール	1	2			30
		情報処理基礎Ⅰ	1	2			
		情報処理基礎Ⅱ	1	2			
		教養講座A～H	1				
		基盤能力形成科目 小計					
	外国語科目	英語Ⅰ	1		4		
		英語Ⅱ	1				
		外国語科目 小計					
	教養科目	社会学	1				
		数学	1				
		教養科目 小計					
	体育実技科目	スポーツA・B	1				
		体育実技科目 小計					
	キャリア形成科目	キャリアデザイン講座Ⅰ	2	2			
キャリアデザイン講座Ⅱ		3	2				
キャリアデザイン講座Ⅲ		3	2				
キャリア形成科目 小計							
基礎教育科目 中計			12	4	14		
専門教育科目	専門基盤科目			8			
		専門基盤科目 小計					
	経営基礎科目				8		
		経営基礎科目 小計					
	心理基礎科目				8		
		心理基礎科目 小計					
	経営学科専門科目 (略)	経営学特殊講義A～E	2		20		
		経営学科専門科目 小計					
	心理経営学科専門科目 (略)	心理経営学特殊講義A～D	2			20	
		心理経営学科専門科目 小計					
	特殊研究科目	専門演習A～H	1		8		
		専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	3				
		卒業研究	4				
		特殊研究科目 小計					
留学生特別科目		日本語Ⅰ・Ⅱ	1				注2
日本語Ⅲ・Ⅳ	2						
ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ	3						
留学生特別科目 小計			注2				
全学特殊講義科目	全学特殊講義A～C	1					
	全学特殊講義科目 小計						
専門教育科目 中計			0注2	44	50注2		

(注1) この表には、多くの科目の中から一部を抜粋して掲載しています。

(注2) 留学生は、留学生特別科目の12単位が必修科目とされ、専門教育科目の38単位が選択科目とされています。

6. 【重要】「授業科目一覧表」と「卒業」

(1) 「授業科目一覧表」の見方

- ・本冊子「授業科目一覧表」には、経営学部設置されている授業科目が掲載されています。「授業選びのルール」「学部・学科」にあわせ授業を選ぶために、本冊子「授業科目一覧表」は非常に重要です。以下に「授業科目一覧表」の見方を説明します。

「卒業」に関する事項

- ・「科目区分」欄 …それぞれの科目が所属する区分（基礎教育科目、専門教育科目など）を示します。これは前掲の表に授業科目名等を入れた表です。
- ・「配当年次」欄 …その科目を履修できる最低年次を示します。上級生が下級年次に配当されている科目を履修することも可能です。
- ・「単位数」欄 …合格したときに得られる単位数です。
- ・「各学科」欄

必修	2単位 などと記されます。枠内の数字は単位数を示しており、その科目を必ず合格する必要があります。
選択必修	この枠内から科目を選び、指定された単位数、修得する必要があります。
選択	「基礎教育科目より 20」などと記されます。左側の該当する系列（例えば基礎教育科目）から科目を選び、20 単位数、修得する必要があります。

【卒業の条件（抜粋）】

必修科目 → すべて合格
選択必修科目 → それぞれの枠が定める
単位数以上、合格
選択科目 → (同上)
↓
「卒業」

(2) 学科の登録（経営学部のみ）

- ・ 1年次4月 …自分の希望する学科を意識して、科目を選択します。
- ・ 1年次9月頃 …学科・コース希望調査³
- ・ 1年次2月頃 …所属学科の発表⁴
- ・ 2年次4月～ …学科への所属⁵

※経営学部では、入学後いきなり所属学科を決めるのではなく、半年間、授業を受け、様々なことを検討しながらそれを決めることにしています。そのため1年次4月に科目を選択する際には、自分が希望する学科を仮に決め、「授業科目一覧表」を見て、科目を選びます。

※なお2年次4月に所属する学科が、当初1年次4月に想定したものと異なっても、1年次に修得した単位が無駄になることはありません。それら単位は「選択科目」として、卒業要件に算入されます。

(3) 卒業

- ・ 本学では、以下の条件をすべて満たしたときに「卒業」になり、卒業式において「学位記」が授与されます。
 - ① 4年以上在学する
 - ② 「授業科目一覧表」において、
- ・ 必修科目にすべて合格する必要があります。
- ・ 選択必修科目を、それぞれの枠が定める単位数以上、合格する必要があります。
- ・ 選択科目を、それぞれの枠が定める単位数以上、合格する必要があります。

³ 所属を希望する学科（経営学科、心理経営学科）・コースを調査します。

⁴ 所属学科は原則として本人の第一希望を優先しますが、極端な人数の偏りが生じる場合、教育効果を考え、それを第二希望にすることがあります。詳細を学科希望調査時に説明します。

⁵ 学科専門科目の選択必修枠は、所属する学科の学科専門科目から科目を選び、所定の単位分、合格することが必要です。

2025・2026年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択		
経営学部 授業科目 25・26年度生	基礎ゼミナール	1	2	2単位			2単位			250-1111-11	クラス指定あり
	情報処理基礎Ⅰ	1	2	2単位			2単位			250-1112-11	クラス指定あり
	情報処理基礎Ⅱ	1	2	2単位			2単位			250-1113-11	クラス指定あり
	コミュニケーションと音声表現	1	2							250-1114-12	
	コミュニケーションと文章表現	1	2							250-1115-12	
	地域と行政	1	2							250-1116-12	藤枝市、磐田市
	教養講座A	1	2							250-1117-12	
	教養講座B	1	2							250-1118-12	
	教養講座C	1	2							250-1119-12	
	教養講座D	1	2							250-1120-12	
	高大連携プロジェクトA	1	2							250-1121-12	
	高大連携プロジェクトB	1	2							250-1122-12	
	英語Ⅰ	1	2							250-1201-12	
	英語Ⅱ	1	2							250-1202-12	
	英語Ⅲ	2	2							250-1203-22	
	英語Ⅳ	2	2							250-1204-22	
	中国語Ⅰ	1	2							250-1205-12	
	中国語Ⅱ	1	2							250-1206-12	
	中国語Ⅲ	2	2							250-1207-22	
	中国語Ⅳ	2	2							250-1208-22	
	コミュニケーション英語A	1	2							250-1209-12	
	コミュニケーション英語B	1	2							250-1210-12	
	英会話Ⅰ	2	2							250-1211-22	
	英会話Ⅱ	2	2							250-1212-22	
	心理学	1	2							250-1131-12	
	文学	1	2							250-1132-12	
	言語学	1	2							250-1133-12	
	歴史学	1	2							250-1134-12	
	音楽	1	2							250-1135-12	
	美術	1	2							250-1136-12	
	日本国憲法	1	2							250-1137-12	
	法学	1	2							250-1138-12	
	社会学	1	2							250-1139-12	
経済学	1	2							250-1140-12		
環境学	1	2							250-1141-12		
数学	1	2							250-1142-12		
物理学	1	2							250-1143-12		
化学	1	2							250-1144-12		
生命科学	1	2							250-1145-12		
情報科学	1	2							250-1146-12		
運動と健康	1	2							250-1147-12		
スポーツA	1	1							250-1148-12		
スポーツB	1	1							250-1149-12		
特別共同講義	1	2							250-1150-12		

2025・2026 年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目 区分	授業科目名	配当 年次	単 位 数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択 必修	選択	必修	選択 必修	選択		
専 門 教 育 科 目	経営学入門	1	2							251-2311-12	
	簿記原理 I	1	2							251-2312-12	
	簿記原理 II	1	2							251-2313-12	
	簿記原理 III	2	2							251-2314-22	
	簿記原理 IV	2	2							251-2315-22	
	現代経済学 A	1	2							251-2316-12	
	現代経済学 B	1	2							251-2317-12	
	経営管理総論	1	2							251-2318-12	
	マーケティング論	1	2							251-2319-12	
	財務会計論	2	2							251-2320-22	
	観光学入門	1	2							251-2321-12	
	観光産業論	1	2							251-2322-12	
	子ども家庭福祉	1	2							251-2351-12	
	社会福祉	1	2							251-2352-12	
	子ども家庭支援論	1	2							251-2353-12	
	保育者論	1	2							251-2354-12	
	保育の心理学	1	2							251-2355-12	
	子ども理解	3	2							251-2356-32	
地域福祉論	3	2							251-2357-32		
子ども家庭支援の心理学	1	2							251-2358-12		

経営学部

授業科目

25・26年度生

2025・2026年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択		
経営学部 授業科目 25・26年度生 経営学 専門教育科目	経営戦略論	1	2							251-2401-12	
	経営組織論	1	2							251-2402-12	
	人的資源管理論	1	2							251-2403-12	
	国際経営論	2	2							251-2404-22	
	流通論	2	2							251-2405-22	
	公共経済学	2	2							251-2406-22	
	国際経済学	2	2							251-2407-22	
	財務管理論	2	2							251-2408-22	
	企業ファイナンス	2	2							251-2409-22	
	金融システム論	2	2							251-2410-22	
	金融論	2	2							251-2411-22	
	原価計算論Ⅰ	2	2							251-2412-22	
	原価計算論Ⅱ	2	2							251-2413-22	
	財務諸表論	2	2							251-2414-22	
	経営分析論	2	2							251-2415-22	
	管理会計論	2	2							251-2416-22	
	税務会計論	2	2							251-2417-22	
	日本経済論	3	2							251-2418-32	
	経済統計	3	2							251-2419-32	
	企業法務	3	2							251-2420-32	
	労働法	3	2							251-2421-32	
	情報セキュリティ	1	2							251-2422-12	
	システムデザイン	1	2							251-2423-12	
	AI・DX入門	1	2							251-2424-12	
	プログラミング基礎	1	2							251-2425-12	
	プログラミング応用	1	2							251-2426-12	
	デジタル技術基礎	2	2							251-2427-22	
	デジタル技術基礎演習	2	2							251-2428-22	
	デザイン表現基礎	1	2							251-2429-12	
	デザイン表現基礎演習	1	2							251-2430-12	
	地域学	2	2							251-2431-22	
	地域経営論	2	2							251-2432-22	
	地域経済学	2	2							251-2433-22	
	地域産業論A	2	2							251-2434-22	
	地域産業論B	2	2							251-2435-22	
	地方自治論	2	2							251-2436-22	
	民法A	2	2							251-2437-22	
	民法B	2	2							251-2438-22	
	行政法	2	2							251-2439-22	
	観光資源論	2	2							251-2440-22	
	観光文化論	2	2							251-2441-22	
	観光マーケティング	2	2							251-2442-22	
	観光マネジメント論A	2	2							251-2443-22	
	観光マネジメント論B	2	2							251-2444-22	
	経営学特殊講義A	2	2							251-2491-22	
	経営学特殊講義B	2	2							251-2492-22	
	経営学特殊講義C	2	2							251-2493-22	
	経営学特殊講義D	2	2							251-2494-22	
	経営学特殊講義E	2	2							251-2495-22	

経営学科の学生は、経営学科専門科目より20単位修得すること

専門教育科目より52単位修得すること（留学生は40単位修得すること）
 ※次ページに続く

専門教育科目より52単位修得すること（留学生は40単位修得すること）
 ※次ページに続く

2025・2026年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択		
専門教育科目	心理基礎科目	心理学概論A	1	2						251-2601-12	
		心理学概論B	1	2						251-2602-12	
		性格心理学	1	2						251-2603-12	
		認知心理学	1	2						251-2604-12	
		知覚心理学	1	2						251-2605-12	
		学習心理学	1	2						251-2606-12	
		社会心理学	2	2						251-2607-22	
	人間行動力養成科目	臨床心理学概論	2	2						251-2608-22	
		組織心理学	2	2						251-2609-22	
		心理療法概論	2	2						251-2610-22	
		心理学研究法	2	2						251-2611-22	
		消費者心理学	3	2						251-2612-32	
		心理カウンセリング概論	3	2						251-2613-32	
		人間関係論	2	2						251-2614-22	
	人間行動力応用科目	組織モチベーション論	2	2						251-2615-22	
		感性評価論	2	2						251-2616-22	
		心理評価論	2	2						251-2617-22	
		イノベーション論	2	2						251-2618-22	
		ベンチャー企業論	2	2						251-2619-22	
		意思決定論	3	2						251-2620-32	
		行動経済学A	3	2						251-2621-32	
		行動経済学B	3	2						251-2622-32	
		感性マーケティング	2	2						251-2623-22	
		感性デザイン	2	2						251-2624-22	
	特殊講義科目	ものづくり心理学概論	3	2						251-2625-32	
		ものづくり心理学演習	3	2						251-2626-32	
		心理経営学特殊講義A	2	2						251-2691-22	
		心理経営学特殊講義B	3	2						251-2692-32	
		心理経営学特殊講義C	3	2						251-2693-32	
	産官学連携科目	心理経営学特殊講義D	3	2						251-2694-32	
		心理経営学特殊講義E	3	2						251-2695-32	
		産官学連携講座A	1	2						251-2381-12	TO K A Iグループ
		産官学連携講座B	1	2						251-2382-12	(中部電力)
		産官学連携講座C	1	2						251-2383-12	(電通東日本)
		産官学連携講座D	1	2						251-2384-12	静岡銀行
		産官学連携講座E	1	2						251-2385-12	(ヤマハ発動機)・藤枝ロータリークラブ・藤枝商工会議所
		産官学連携講座F	1	2						251-2386-12	浜松いわた信用金庫・静岡県行政書士会
		産官学連携講座G	1	2						251-2387-12	静岡県経済産業部・静岡県中小企業家同友会
		産官学連携講座H	1	2						251-2388-12	タニザワフーズ、警察・消防・自衛隊
		経営学専門演習A	1	2						251-2711-12	
		経営学専門演習B	1	2						251-2712-12	
		経営学専門演習C	1	2						251-2713-12	
学部共通科目	経営学専門演習D	1	2						251-2714-12		
	経営学専門演習E	1	2						251-2715-12		
	経営学専門演習F	1	2						251-2716-12		
	経営学専門演習G	1	2						251-2717-12		
	経営学専門演習H	1	2						251-2718-12		
	専門ゼミナールI	3	2	2単位			2単位		251-2731-31		
	専門ゼミナールII	3	2	2単位			2単位		251-2732-31		
	卒業研究	4	6						251-2751-42	「専門ゼミナールI・II」単位修得者対象	
	留学生特別科目	日本語I	1	2						251-2801-14	留学生専用。留学生は必修
		日本語II	1	2						251-2802-14	留学生専用。留学生は必修
日本語III		2	2						251-2803-24	留学生専用。留学生は必修	
日本語IV		2	2						251-2804-24	留学生専用。留学生は必修	
日本語文章表現I		1	2						251-2805-12	留学生専用	
日本語文章表現II		1	2						251-2806-12	留学生専用	
ビジネス日本語I		3	2						251-2807-34	留学生専用。留学生は必修	
ビジネス日本語II	3	2						251-2808-34	留学生専用。留学生は必修		

経営学部
授業科目
25・26年度生

2025・2026年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考	
				必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択			
経営学部 授業科目 25・26年度生	データマネジメント基礎	1	2							250-2911-12		
	データサイエンス基礎	2	2							250-2912-22		
	データサイエンス基礎実践	3	2							250-2913-32		
	統計学	2	2							250-2914-22		
	統計調査論	3	2							250-2915-32		
	スポーツ経営科目	スポーツ産業論	1	2							250-2921-12	
		スポーツ経済学	1	2							250-2922-12	
		スポーツマネジメント入門	1	2							250-2923-12	
		スポーツマーケティング論	2	2							250-2924-22	
		スポーツマーケティング戦略論	3	2							250-2925-32	
		スポーツ組織行動論	3	2							250-2926-32	
		スポーツジャーナリズム論	3	2							250-2927-32	
		地域スポーツ政策論	3	2							250-2928-32	
		スポーツイベント企画運営演習A	3	2							250-2929-32	ジュピロ
		スポーツイベント企画運営演習B	3	2							250-2930-32	(静岡ブルーレヴズ)
	スポーツ保育科目	保育内容概論	1	2							250-2941-12	
		保育内容の理解と方法	2	2							250-2942-22	
		スポーツ保育	1	2							250-2943-12	
		子どもスポーツ論	2	2							250-2944-22	
		子どものスポーツ遊び	2	2							250-2945-22	
		リトミック	1	2							250-2946-12	
		スポーツ保育指導法Ⅰ	2	2							250-2947-22	
		スポーツ保育指導法Ⅱ	2	2							250-2948-22	
		スポーツ保育指導法Ⅲ	3	2							250-2949-32	
		スポーツ保育実習	3	1							250-2950-32	
	キャリアデザイン形成科目	キャリアデザイン概論	1	2							250-2961-12	
		キャリアデザイン講座Ⅰ	2	2	2単位			2単位			250-2962-21	クラス指定あり
		キャリアデザイン講座Ⅱ	3	2	2単位			2単位			250-2963-31	クラス指定あり
		キャリアデザイン講座Ⅲ	3	2	2単位			2単位			250-2964-31	クラス指定あり
		キャリアデザイン実践	4	2							250-2965-42	
	学外研修・海外研修	インターンシップ	3	2							250-2966-32	
		社会実践講座A	1	2							250-2971-12	認定は半期2単位まで
		社会実践講座B	1	2							250-2972-12	認定は半期2単位まで
社会実践講座C		2	2							250-2973-22	認定は半期2単位まで	
海外研修A		1	2							250-2974-12		
海外研修B		1	2							250-2975-12		
海外研修C		1	2							250-2976-12		
全学特殊講義A		1	2							250-2991-12		
全学特殊講義B		1	2							250-2992-12		
全学特殊講義C		1	2							250-2993-12		

経営学部「実務経験のある教員による授業科目」

静岡産業大学は、実務経験のある教員等による授業科目を以下の表のとおり、開講します。当該授業科目では、企業・行政機関などでの実務経験を有する教員が、その経験を生かして、それぞれの組織・団体における実践、現状・課題などを講義します。学生はそれらと、他の授業科目で学ぶ理論等を組み合わせ、より体系的な学修を行うことができます。

	授業科目名	担当	単位数	学科名	
				経営	心理経営
基礎教育科目	地域と行政	藤枝市	2	○	○
		磐田市	2	○	○
	小計		4	4	4
専門教育科目	産官学連携講座 A	TOKAIグループ	2	○	○
	産官学連携講座 D	静岡銀行	2	○	○
	産官学連携講座 E	藤枝ロータリークラブ・藤枝商工会議所	2	○	○
	産官学連携講座 F	浜松いわた信用金庫	2	○	○
		静岡県行政書士会	2	○	○
	産官学連携講座 G	静岡県経済産業部	2	○	○
		静岡県中小企業家同友会	2	○	○
	産官学連携講座 H	タニザワフーズ	2	○	○
		警察・消防・自衛隊	2	○	○
	キャリアデザイン講座 I	宮田弘一 他	2	○	○
キャリアデザイン講座 II	宮田弘一 他	2	○	○	
キャリアデザイン講座 III	宮田弘一 他	2	○	○	
	小計		24	24	24
	合計		28	28	28

(注) 各授業科目について、詳細はシラバスを参照してください。

2024 年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考	
				必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択			
基全	基礎ゼミナール	1	2	2 単位			2 単位			211-1111-11	クラス指定あり	
	情報処理基礎 I	1	2	2 単位			2 単位			211-1112-11	クラス指定あり	
	情報処理基礎 II	1	2	2 単位			2 単位			211-1113-11	クラス指定あり	
	コミュニケーションと音声表現	1	2							211-1114-12		
	コミュニケーションと文章表現	1	2							211-1115-12		
	防災・減災と生活 A	1	2							211-1116-12	藤枝市	
	防災・減災と生活 B	1	2							211-1117-12	磐田市	
	教養講座 A	1	2							211-1118-12		
	教養講座 B	1	2							211-1119-12		
	教養講座 C	1	2							211-1120-12		
	教養講座 D	1	2							211-1121-12		
	教養講座 E	1	2							211-1122-12		
	教養講座 F	1	2							211-1123-12		
	教養講座 G	1	2							211-1124-12		
	教養講座 H	1	2							211-1125-12		
	高大連携プロジェクト A	1	2							211-1126-12		
	高大連携プロジェクト B	1	2							211-1127-12		
	礎学	英語 I	1	2							211-1201-12	
		英語 II	1	2							211-1202-12	
英語 III		2	2							211-1203-22		
英語 IV		2	2							211-1204-22		
中国語 I		1	2							211-1205-12		
中国語 II		1	2							211-1206-12		
中国語 III		2	2							211-1207-22		
中国語 IV		2	2							211-1208-22		
コミュニケーション英語 A		1	2							211-1215-12		
コミュニケーション英語 B		1	2							211-1216-12		
教共	英会話 I	2	2							211-1210-22		
	英会話 II	2	2							211-1211-22		
	海外研修 A	1	2							211-1212-12		
	海外研修 B	1	2							211-1213-12		
	海外研修 C	1	2							211-1214-12		
	心理学	1	2							211-1131-12		
	文学	1	2							211-1132-12		
	言語学	1	2							211-1133-12		
	日本国憲法	1	2							211-1134-12		
	法学	1	2							211-1135-12		
育通	社会学	1	2							211-1136-12		
	経済学	1	2							211-1137-12		
	産業史	1	2							211-1138-12		
	環境学	1	2							211-1139-12		
	数学	1	2							211-1140-12		
	物理学	1	2							211-1141-12		
	化学	1	2							211-1142-12		
	生命科学	1	2							211-1143-12		
	情報科学	1	2							211-1144-12		
	社会実践講座 A	1	2							211-1145-12	認定は半期 2 単位まで	
科目	社会実践講座 B	1	2							211-1146-12	認定は半期 2 単位まで	
	社会実践講座 C	2	2							211-1147-22	認定は半期 2 単位まで	
	特別共同講義	1	2							211-1148-12		
	スポーツ A	1	1							211-1151-12		
	スポーツ B	1	1							211-1152-12		
	キャリアデザイン概論 A	1	2							211-1171-12		
	キャリアデザイン概論 B	2	2							211-1172-22		
	キャリアデザイン講座 I	2	2	2 単位			2 単位			211-1173-21	クラス指定あり	
	キャリアデザイン講座 II	3	2	2 単位			2 単位			211-1174-31	クラス指定あり	
	キャリアデザイン講座 III	3	2	2 単位			2 単位			211-1175-31	クラス指定あり	
目	インターンシップ A	3	2							211-1176-32		
	インターンシップ B	3	2							211-1177-32		

2024 年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目 区分	授業科目名	配当 年次	単 位 数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択 必修	選択	必修	選択 必修	選択		
専 門 基 礎 教 育 科 目	経営学入門	1	2	8 単 位 修 得 す る こ と	専 門 基 礎 科 目 よ り	専 門 教 育 科 目 よ り 50 単 位 修 得 す る こ と	8 単 位 修 得 す る こ と	専 門 基 礎 科 目 よ り	専 門 教 育 科 目 よ り 50 単 位 修 得 す る こ と	211-2311-12	
	簿記原理 I	1	2							211-2312-12	
	簿記原理 II	1	2							211-2313-12	
	簿記原理 III	2	2							211-2322-22	
	簿記原理 IV	2	2							211-2323-22	
	現代経済学 A	1	2							211-2314-12	
	現代経済学 B	1	2							211-2315-12	
	経営管理総論	2	2							211-2316-22	
	マーケティング論	2	2							211-2317-22	
	財務会計論	2	2							211-2318-22	
	経営戦略論	2	2	211-2331-22							
	経営組織論	2	2	211-2332-22							
	人的資源管理論	2	2	211-2333-22							
	国際経営論	2	2	211-2334-22							
	流通システム論	2	2	211-2335-22							
	経営史	2	2	211-2336-22							
	公共経済学	2	2	211-2337-22							
	国際経済学	2	2	211-2338-22							
	心理学概論 A	1	2	211-2371-12	8 単 位 修 得 す る こ と	心 理 経 営 学 科 の 学 生 は、 心 理 基 礎 科 目 よ り	心 理 経 営 学 科 の 学 生 は、 心 理 基 礎 科 目 よ り	8 単 位 修 得 す る こ と	心 理 経 営 学 科 の 学 生 は、 心 理 基 礎 科 目 よ り	211-2371-12	
	心理学概論 B	1	2	211-2372-12							
	心理統計法	1	2	211-2373-12							
	心理調査法	3	2	211-2374-32							
	社会心理学	2	2	211-2375-22							
	臨床心理学概論	2	2	211-2376-22							
	人間関係論	2	2	211-2377-22							
	組織モチベーション論	2	2	211-2378-22							
感性評価論	2	2	211-2379-22								
心理評価論	2	2	211-2380-22								

経営学部

授業科目

24 年度生

2024 年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択		
経営学部 授業科目 24年度生	サブライチェーンマネジメント	2	2							211-2401-22	
	観光マーケティング	2	2							211-2402-22	
	広告マネジメント	2	2							211-2403-22	(電通東日本)
	財務管理論	2	2							211-2404-22	
	企業ファイナンス	2	2							211-2405-22	
	金融システム論	2	2							211-2406-22	
	金融論	2	2							211-2407-22	
	金融・証券市場論	2	2							211-2408-22	静岡銀行
	原価計算論	2	2							211-2410-22	
	原価計算論II	2	2							251-2413-22	
	財務諸表論A	2	2							211-2467-22	
	財務諸表論B	2	2							211-2468-22	
	経営分析論	2	2							211-2411-22	
	管理会計論	2	2							211-2412-22	
	税務会計論	2	2							211-2413-22	
	日本経済論	3	2							211-2414-32	
	経済統計	3	2							211-2415-32	
	企業法務	3	2							211-2416-32	
	労働法	3	2							211-2417-32	
	企業メセナA	1	2							211-2418-12	TOKAIグループ
	企業メセナB	1	2							211-2419-12	(中部電力)
	企業メセナC	1	2							211-2420-12	タニザワフーズ
	情報セキュリティ論	2	2							211-2421-22	
	システムデザイン	2	2							211-2422-22	
	コンテンツデザインI	3	2							211-2423-32	
	コンテンツデザインII	3	2							211-2424-32	
	グラフィックデザイン基礎	2	2							211-2425-22	
	グラフィックデザイン応用	2	2							211-2426-22	
視覚表現技術	3	2							211-2427-32		
映像コンテンツ基礎	2	2							211-2428-22		
映像コンテンツ応用	2	2							211-2429-22		
アニメーション基礎	2	2							211-2430-22		
アニメーション応用	2	2							211-2431-22		
コンピュータデザイン基礎	1	2							211-2432-12		
コンピュータデザイン基礎演習	1	2							211-2433-12		
グラフィックデザイン基礎演習	2	2							211-2434-22		
グラフィックデザイン応用演習	2	2							211-2435-22		
マルチメディア基礎	2	2							211-2436-22		
マルチメディア基礎演習	2	2							211-2437-22		
プログラミング	2	2							211-2438-22		
地域企業デザイン論	2	2							211-2439-22		
NPO論	2	2							211-2440-22		
地域経営論	2	2							211-2441-22		
地域経済学	2	2							211-2442-22		
地域産業論A	2	2							211-2443-22		
地域産業論B	2	2							211-2444-22	藤枝ロータリークラブ・藤枝商工会議所	
地域産業論C	2	2							211-2445-22		
農業政策論	2	2							211-2446-22		
都市マネジメント	2	2							211-2447-22		
地域観光文化論	2	2							211-2448-22		
地方財政論	2	2							211-2449-22		
地方自治論	2	2							211-2450-22		
地域社会と法	2	2							211-2451-22	静岡県行政書士会	
民法A	2	2							211-2452-22		
民法B	2	2							211-2453-22		
行政法	2	2							211-2454-22		
地域学	2	2							211-2455-22		
地域政策論	2	2							211-2456-22		
観光資源論	2	2							251-2440-22		
観光マネジメント論A	2	2							251-2443-22		
観光マネジメント論B	2	2							251-2444-22		
スポーツ産業論	1	2							211-2457-12		
スポーツ経済学	1	2							211-2458-12		
スポーツ用品論	2	2							211-2459-22		
スポーツマネジメント論	2	2							211-2460-22		
スポーツジャーナリズム論	3	2							211-2461-32		
企業メセナD	1	2							211-2464-12	(スズキ)、静岡県中小企業家同友会	
企業メセナE	1	2							211-2465-12	(ヤマハ発動機)、警察・消防・自衛隊	
企業メセナF	1	2							211-2466-12	浜松いわた信用金庫	

2024 年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択		
経営学専攻 経営学専攻 経営学専攻	経営学特殊講義 A	2	2						211-2491-22		
	経営学特殊講義 B	2	2						211-2492-22		
	経営学特殊講義 C	2	2						211-2493-22	静岡県経済産業部	
	経営学特殊講義 D	2	2						211-2494-22		
	経営学特殊講義 E	2	2						251-2495-22		
人間行動力養成科目 心理経営学専攻 発達支援力・保育力養成科目	感性マーケティング	2	2						211-2601-22		
	多文化理解	2	2						211-2602-22		
	シンボルと人間行動	2	2						211-2603-22		
	人間価値と記号	3	2						211-2604-32		
	組織心理学	2	2						211-2605-22		
	性格心理学	2	2						211-2606-22		
	認知心理学	2	2						211-2607-22		
	知覚心理学	2	2						211-2608-22		
	説得の心理学	2	2						211-2609-22		
	心理療法概論	2	2						211-2610-22		
	心理学研究法	2	2						211-2611-22		
	消費者心理学	3	2						211-2612-32		
	学習心理学	3	2						211-2613-32		
	心理検査法	3	2						211-2614-32		
	心理学基礎実験 A	3	2						211-2615-32		
	心理学基礎実験 B	3	2						211-2616-32		
	心理カウンセリング概論	3	2						211-2617-32		
	心理カウンセリング演習	3	2						211-2618-32		
	心理学課題演習	4	2						211-2619-42		
	イノベーション論	2	2						251-2618-22		
	保育原理	1	2						211-2620-12		
	子ども家庭福祉	1	2						211-2621-12		
	社会福祉	1	2						211-2622-12		
	子ども家庭支援論	1	2						211-2623-12		
	社会的養護 I	2	2						211-2624-22		
	保育者論	1	2						211-2625-12		
	保育の心理学	1	2						211-2626-12		
	子ども理解	3	2						211-2627-32		
	保育内容 (健康)	2	1						211-2628-22	保育士・スポーツ保育教育士の資格申請者のみ	
	保育内容 (人間関係)	2	1						211-2629-22	保育士・スポーツ保育教育士の資格申請者のみ	
	保育内容 (環境)	2	1						211-2630-22	保育士・スポーツ保育教育士の資格申請者のみ	
	保育内容 (言葉)	2	1						211-2631-22	保育士・スポーツ保育教育士の資格申請者のみ	
	保育内容 (表現)	2	1						211-2632-22	保育士・スポーツ保育教育士の資格申請者のみ	
	音楽基礎	1	1						211-2633-12	保育士の資格申請者のみ	
	音楽 (実技 A)	2	1						211-2634-22	保育士の資格申請者のみ	
	音楽 (実技 B)	3	1						211-2635-32	保育士の資格申請者のみ	
	保育内容の理解と方法 (言葉)	1	1						211-2636-12	保育士の資格申請者のみ	
	保育内容の理解と方法 (音楽)	2	1						211-2637-22	保育士の資格申請者のみ	
	保育内容の理解と方法 (造形) I	1	1						211-2638-12	保育士・スポーツ保育教育士の資格申請者のみ	
保育内容の理解と方法 (造形) II	3	1						211-2639-32	保育士の資格申請者のみ		
保育内容の理解と方法 (身体) I	2	1						211-2640-22	保育士・スポーツ保育教育士の資格申請者のみ		
保育内容の理解と方法 (身体) II	3	1						211-2641-32	保育士の資格申請者のみ		
子育て支援	2	1						211-2642-22	保育士の資格申請者のみ		
地域福祉論	4	2						211-2643-42			
子ども言葉	3	2						211-2644-32			
スポーツ保育	1	2						211-2645-12			
子どものスポーツ遊び	2	2						211-2646-22			
リトミック	1	2						211-2647-12			
子どもスポーツ論	2	2						211-2648-22			
スポーツ保育指導法 I	2	2						211-2649-22			
スポーツ保育指導法 II	2	2						211-2650-22			
スポーツ保育指導法 III	3	2						211-2651-32			
スポーツ保育実習	3	1						211-2652-32			
心理経営学専攻 心理経営学専攻 心理経営学専攻 心理経営学専攻	心理経営学特殊講義 A	2	2						211-2691-22		
	心理経営学特殊講義 B	2	2						211-2692-22		
	心理経営学特殊講義 C	3	2						211-2693-32		
	心理経営学特殊講義 D	4	2						211-2694-42		

経営学専攻の学生は、
 経営学専攻科目より
 20単位修得すること

心理経営学専攻の学生は、
 心理経営学専攻科目より
 20単位修得すること

心理経営学専攻の学生は、
 心理経営学専攻科目より
 50単位修得すること

心理経営学専攻の学生は、
 心理経営学専攻科目より
 38単位修得すること

※次ページに続く

経営学部
 授業科目
 24年度生

2024 年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択		
経営学部 授業科目 24年度生	データマネジメント基礎	1	2							211-2319-12	
	データサイエンス基礎	2	2							211-2462-22	
	データサイエンス基礎実践	3	2							211-2463-32	
	統計学	2	2							211-2320-22	
	統計調査論	3	2							211-2321-32	
	専門演習A	1	2							211-2711-12	
	専門演習B	1	2							211-2712-12	
	専門演習C	1	2							211-2713-12	
	専門演習D	1	2							211-2714-12	
	専門演習E	1	2							211-2715-12	
	専門演習F	1	2							211-2716-12	
	専門演習G	1	2							211-2717-12	
	専門演習H	1	2							211-2718-12	
	専門ゼミナールⅠ	3	2							211-2731-32	
	専門ゼミナールⅡ	3	2							211-2732-32	
	卒業研究	4	4							211-2751-42	「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」単位修得者対象
	日本語Ⅰ	1	2							211-2801-14	留学生専用。留学生は必修
	日本語Ⅱ	1	2							211-2802-14	留学生専用。留学生は必修
	日本語Ⅲ	2	2							211-2803-24	留学生専用。留学生は必修
	日本語Ⅳ	2	2							211-2804-24	留学生専用。留学生は必修
日本語文章表現Ⅰ	1	2							211-2805-12	留学生専用	
日本語文章表現Ⅱ	1	2							211-2806-12	留学生専用	
ビジネス日本語Ⅰ	3	2							211-2807-34	留学生専用。留学生は必修	
ビジネス日本語Ⅱ	3	2							211-2808-34	留学生専用。留学生は必修	
全学特殊講義A	1	2							250-2991-12		
全学特殊講義B	1	2							250-2992-12		
全学特殊講義C	1	2							250-2993-12		

2024 年度生 経営学部 授業科目（保育士に関する科目）

授業科目名	科目ナンバー	授業科目名	科目ナンバー
教育原理（保育）	211-4001-13	保育実習Ⅰ（保育所）	211-4012-33
子ども家庭支援の心理学	211-4002-13	保育実習Ⅰ（施設）	211-4013-33
子どもの保健	211-4003-13	保育実習指導Ⅰ（保育所）	211-4014-23
子どもの食と栄養	211-4004-23	保育実習指導Ⅰ（施設）	211-4015-33
保育の計画と評価	211-4005-23	保育実践演習	211-4016-43
保育内容総論	211-4006-13	保育実習Ⅱ（保育所）	211-4017-33
乳児保育Ⅰ	211-4007-23	保育実習Ⅲ（施設）	211-4018-43
乳児保育Ⅱ	211-4008-23	保育実習指導Ⅱ（保育所）	211-4019-33
子どもの健康と安全	211-4009-13	保育実習指導Ⅲ（施設）	211-4020-43
障がい児保育	211-4010-23		
社会的養護Ⅱ	211-4011-33		

経営学部「実務経験のある教員による授業科目」

静岡産業大学は、実務経験のある教員等による授業科目を以下の表のとおり、開講します。当該授業科目では、企業・行政機関などでの実務経験を有する教員が、その経験を生かして、それぞれの組織・団体における実践、現状・課題などを講義します。学生はそれらと、他の授業科目で学ぶ理論等を組み合わせ、より体系的な学修を行うことができます。

授業科目名	担当	単位数	学科名		
			経営	心理経営	
基礎教育科目	防災・減災と生活A	藤枝市	2	○	○
	防災・減災と生活B	磐田市	2	○	○
	キャリアデザイン講座Ⅰ	宮田弘一 他	2	○	○
	キャリアデザイン講座Ⅱ	宮田弘一 他	2	○	○
	キャリアデザイン講座Ⅲ	宮田弘一 他	2	○	○
	小計		10	10	10
専門教育科目	金融・証券市場論	静岡銀行	2	○	○
	企業メセナA	TOKAIグループ	2	○	○
	企業メセナC	タニザワフーズ	2	○	○
	地域産業論B	下田明宏	2	○	○
	地域社会と法	静岡県行政書士会	2	○	○
	企業メセナF	浜松いわた信用金庫	2	○	○
	経営学特殊講義C	静岡県経済産業部	2	○	○
小計		14	14	14	
合計		24	24	24	

(注) 各授業科目について、詳細はシラバスを参照してください。

2023 年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考		
				必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択				
基 全	基礎能力形成科目	基礎ゼミナール	1	2	2単位			2単位		211-1111-11	クラス指定あり		
		情報処理基礎Ⅰ	1	2	2単位			2単位		211-1112-11	クラス指定あり		
		情報処理基礎Ⅱ	1	2	2単位			2単位		211-1113-11	クラス指定あり		
		コミュニケーションと音声表現	1	2						211-1114-12			
		コミュニケーションと文章表現	1	2						211-1115-12			
		防災・減災と生活A	1	2						211-1116-12	藤枝市		
		防災・減災と生活B	1	2						211-1117-12	磐田市		
		教養講座A	1	2						211-1118-12			
		教養講座B	1	2						211-1119-12			
		教養講座C	1	2						211-1120-12			
		教養講座D	1	2						211-1121-12			
		教養講座E	1	2						211-1122-12			
		教養講座F	1	2						211-1123-12			
		教養講座G	1	2						211-1124-12			
		教養講座H	1	2						211-1125-12			
		高大連携プロジェクトA	1	2						211-1126-12			
		高大連携プロジェクトB	1	2						211-1127-12			
		礎 学	外国語科目	英語Ⅰ	1	2						211-1201-12	
				英語Ⅱ	1	2						211-1202-12	
				英語Ⅲ	2	2						211-1203-22	
英語Ⅳ	2			2						211-1204-22			
中国語Ⅰ	1			2						211-1205-12			
中国語Ⅱ	1			2						211-1206-12			
中国語Ⅲ	2			2						211-1207-22			
中国語Ⅳ	2			2						211-1208-22			
コミュニケーション英語A	1			2						211-1215-12			
コミュニケーション英語B	1			2						211-1216-12			
英会話Ⅰ	2			2						211-1210-22			
英会話Ⅱ	2			2						211-1211-22			
海外研修A	1			2						211-1212-12			
海外研修B	1			2						211-1213-12			
海外研修C	1			2						211-1214-12			
教 共	外国語科目			心理学	1	2						211-1131-12	
				文学	1	2						211-1132-12	
				言語学	1	2						211-1133-12	
				日本国憲法	1	2						211-1134-12	
				法学	1	2						211-1135-12	
		社会学	1	2						211-1136-12			
		経済学	1	2						211-1137-12			
		産業史	1	2						211-1138-12			
		環境学	1	2						211-1139-12			
		数学	1	2						211-1140-12			
		物理学	1	2						211-1141-12			
		化学	1	2						211-1142-12			
		生命科学	1	2						211-1143-12			
		情報科学	1	2						211-1144-12			
		社会実践講座A	1	2						211-1145-12	認定は半期2単位まで		
		社会実践講座B	1	2						211-1146-12	認定は半期2単位まで		
		社会実践講座C	2	2						211-1147-22	認定は半期2単位まで		
		特別共同講義	1	2						211-1148-12			
		育 通	教養科目	スポーツA	1	1						211-1151-12	
				スポーツB	1	1						211-1152-12	
キャリアデザイン概論A	1			2						211-1171-12			
キャリアデザイン概論B	2			2						211-1172-22			
キャリアデザイン講座Ⅰ	2			2	2単位			2単位		211-1173-21	クラス指定あり		
キャリアデザイン講座Ⅱ	3			2	2単位			2単位		211-1174-31	クラス指定あり		
キャリアデザイン講座Ⅲ	3			2	2単位			2単位		211-1175-31	クラス指定あり		
インターンシップA	3			2						211-1176-32			
インターンシップB	3			2						211-1177-32			
目 目	キャリア形成科目			キャリアデザイン概論A	1	2						211-1171-12	
		キャリアデザイン概論B	2	2						211-1172-22			
		キャリアデザイン講座Ⅰ	2	2	2単位			2単位		211-1173-21	クラス指定あり		
		キャリアデザイン講座Ⅱ	3	2	2単位			2単位		211-1174-31	クラス指定あり		
		キャリアデザイン講座Ⅲ	3	2	2単位			2単位		211-1175-31	クラス指定あり		
		インターンシップA	3	2						211-1176-32			
		インターンシップB	3	2						211-1177-32			

2023 年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目 区分	授業科目名	配当 年次	単 位 数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択 必修	選択	必修	選択 必修	選択		
専 門 基 礎 教 育 科 目	経営学入門	1	2							211-2311-12	
	簿記原理 I	1	2							211-2312-12	
	簿記原理 II	1	2							211-2313-12	
	簿記原理 III	2	2							211-2322-22	
	簿記原理 IV	2	2							211-2323-22	
	現代経済学 A	1	2							211-2314-12	
	現代経済学 B	1	2							211-2315-12	
	経営管理総論	2	2							211-2316-22	
	マーケティング論	2	2							211-2317-22	
	財務会計論	2	2							211-2318-22	
	データマネジメント基礎	1	2							211-2319-12	
	統計学	2	2							211-2320-22	
	統計調査論	3	2							211-2321-32	
	経営戦略論	2	2							211-2331-22	
	経営組織論	2	2							211-2332-22	
	人的資源管理論	2	2							211-2333-22	
	国際経営論	2	2							211-2334-22	
	流通システム論	2	2							211-2335-22	
	経営史	2	2							211-2336-22	
	公共経済学	2	2							211-2337-22	
	国際経済学	2	2							211-2338-22	
	心理学概論 A	1	2							211-2371-12	
	心理学概論 B	1	2							211-2372-12	
	心理統計法	1	2							211-2373-12	
	心理調査法	3	2							211-2374-32	
	社会心理学	2	2							211-2375-22	
臨床心理学概論	2	2							211-2376-22		
人間関係論	2	2							211-2377-22		
組織モチベーション論	2	2							211-2378-22		
感性評価論	2	2							211-2379-22		
心理評価論	2	2							211-2380-22		

経営学部

授業科目

23 年度生

2023 年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択		
経営学部 授業科目 23年度生 経営学部 専門教育科目	サプライチェーンマネジメント	2	2							211-2401-22	
	観光マーケティング	2	2							211-2402-22	
	広告マネジメント	2	2							211-2403-22	(電通東日本)
	財務管理論	2	2							211-2404-22	
	企業ファイナンス	2	2							211-2405-22	
	金融システム論	2	2							211-2406-22	
	金融論	2	2							211-2407-22	
	金融・証券市場論	2	2							211-2408-22	静岡銀行
	原価計算論	2	2							211-2410-22	
	原価計算論II	2	2							251-2413-22	
	財務諸表論A	2	2							211-2467-22	
	財務諸表論B	2	2							211-2468-22	
	経営分析論	2	2							211-2411-22	
	管理会計論	2	2							211-2412-22	
	税務会計論	2	2							211-2413-22	
	日本経済論	3	2							211-2414-32	
	経済統計	3	2							211-2415-32	
	企業法務	3	2							211-2416-32	
	労働法	3	2							211-2417-32	
	企業メセナA	1	2							211-2418-12	TOKAIグループ
	企業メセナB	1	2							211-2419-12	(中部電力)
	企業メセナC	1	2							211-2420-12	タニザワフーズ
	情報セキュリティ論	2	2							211-2421-22	
	システムデザイン	2	2							211-2422-22	
	コンテンツデザインI	3	2							211-2423-32	
	コンテンツデザインII	3	2							211-2424-32	
	グラフィックデザイン基礎	2	2							211-2425-22	
	グラフィックデザイン応用	2	2							211-2426-22	
	視覚表現技術	3	2							211-2427-32	
	映像コンテンツ基礎	2	2							211-2428-22	
	映像コンテンツ応用	2	2							211-2429-22	
	アニメーション基礎	2	2							211-2430-22	
	アニメーション応用	2	2							211-2431-22	
	コンピュータデザイン基礎	1	2							211-2432-12	
	コンピュータデザイン基礎演習	1	2							211-2433-12	
	グラフィックデザイン基礎演習	2	2							211-2434-22	
	グラフィックデザイン応用演習	2	2							211-2435-22	
	マルチメディア基礎	2	2							211-2436-22	
	マルチメディア基礎演習	2	2							211-2437-22	
	プログラミング	2	2							211-2438-22	
	地域企業デザイン論	2	2							211-2439-22	
	NPO論	2	2							211-2440-22	
	地域経営論	2	2							211-2441-22	
	地域経済学	2	2							211-2442-22	
	地域産業論A	2	2							211-2443-22	
地域産業論B	2	2							211-2444-22	藤枝ロータリークラブ・藤枝商工会議所	
地域産業論C	2	2							211-2445-22		
農業政策論	2	2							211-2446-22		
都市マネジメント	2	2							211-2447-22		
地域観光文化論	2	2							211-2448-22		
地方財政論	2	2							211-2449-22		
地方自治論	2	2							211-2450-22		
地域社会と法	2	2							211-2451-22	静岡県行政書士会	
民法A	2	2							211-2452-22		
民法B	2	2							211-2453-22		
行政法	2	2							211-2454-22		
地域学	2	2							211-2455-22		
地域政策論	2	2							211-2456-22		
観光資源論	2	2							251-2440-22		
観光マネジメント論A	2	2							251-2443-22		
観光マネジメント論B	2	2							251-2444-22		
スポーツ産業論	1	2							211-2457-12		
スポーツ経済学	1	2							211-2458-12		
スポーツ用品論	2	2							211-2459-22		
スポーツマネジメント論	2	2							211-2460-22		
スポーツジャーナリズム論	3	2							211-2461-32		
データサイエンス基礎	2	2							211-2462-22		
データサイエンス基礎実践	3	2							211-2463-32		
企業メセナD	1	2							211-2464-12	(スズキ)、静岡県中小企業家同友会	
企業メセナE	1	2							211-2465-12	(ヤマハ発動機)、警察・消防・自衛隊	
企業メセナF	1	2							211-2466-12	浜松いわた信用金庫	

2023 年度生 経営学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【経営学科】			【心理経営学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択		
経営学部 専攻教育科目	専門演習A	1	2	8 単位 修得 する こと	特 殊 研 究 科 目 よ り	専 門 教 育 科 目 よ り 50 単 位 修 得 す る こ と (留 学 生 は 38 単 位 修 得 す る こ と)	8 単 位 修 得 す る こ と	特 殊 研 究 科 目 よ り	専 門 教 育 科 目 よ り 50 単 位 修 得 す る こ と (留 学 生 は 38 単 位 修 得 す る こ と)	211-2711-12	
	専門演習B	1	2							211-2712-12	
	専門演習C	1	2							211-2713-12	
	専門演習D	1	2							211-2714-12	
	専門演習E	1	2							211-2715-12	
	専門演習F	1	2							211-2716-12	
	専門演習G	1	2							211-2717-12	
	専門演習H	1	2							211-2718-12	
	専門ゼミナールⅠ	3	2	211-2731-32							
	専門ゼミナールⅡ	3	2	211-2732-32							
	卒業研究	4	4	211-2751-42	「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」単位修得者対象						
	全学共通科目 留学生特別科目	日本語Ⅰ	1	2	留学生は必修	留学生専用	留学生は必修	留学生専用	211-2801-14	留学生専用。留学生は必修	
		日本語Ⅱ	1	2	留学生は必修	留学生専用	留学生は必修	留学生専用	211-2802-14	留学生専用。留学生は必修	
		日本語Ⅲ	2	2	留学生は必修	留学生専用	留学生は必修	留学生専用	211-2803-24	留学生専用。留学生は必修	
		日本語Ⅳ	2	2	留学生は必修	留学生専用	留学生は必修	留学生専用	211-2804-24	留学生専用。留学生は必修	
		日本語文章表現Ⅰ	1	2					211-2805-12	留学生専用	
日本語文章表現Ⅱ		1	2					211-2806-12	留学生専用		
ビジネス日本語Ⅰ		3	2	留学生は必修	留学生専用	留学生は必修	留学生専用	211-2807-34	留学生専用。留学生は必修		
ビジネス日本語Ⅱ		3	2	留学生は必修	留学生専用	留学生は必修	留学生専用	211-2808-34	留学生専用。留学生は必修		
全学特殊講義A		1	2					250-2991-12			
全学特殊講義B		1	2					250-2992-12			
全学特殊講義C	1	2					250-2993-12				

2023年度生 経営学部 授業科目 (保育士に関する科目)

授業科目名	科目ナンバー	授業科目名	科目ナンバー
教育原理 (保育)	211-4001-13	保育実習Ⅰ (保育所)	211-4012-33
子ども家庭支援の心理学	211-4002-13	保育実習Ⅰ (施設)	211-4013-33
子どもの保健	211-4003-13	保育実習指導Ⅰ (保育所)	211-4014-23
子どもの食と栄養	211-4004-23	保育実習指導Ⅰ (施設)	211-4015-33
保育の計画と評価	211-4005-23	保育実践演習	211-4016-43
保育内容総論	211-4006-13	保育実習Ⅱ (保育所)	211-4017-33
乳児保育Ⅰ	211-4007-23	保育実習Ⅲ (施設)	211-4018-43
乳児保育Ⅱ	211-4008-23	保育実習指導Ⅱ (保育所)	211-4019-33
子どもの健康と安全	211-4009-13	保育実習指導Ⅲ (施設)	211-4020-43
障がい児保育	211-4010-23		
社会的養護Ⅱ	211-4011-33		

経営学部「実務経験のある教員による授業科目」

静岡産業大学は、実務経験のある教員等による授業科目を以下の表のとおり、開講します。当該授業科目では、企業・行政機関などでの実務経験を有する教員が、その経験を生かして、それぞれの組織・団体における実践、現状・課題などを講義します。学生はそれらと、他の授業科目で学ぶ理論等を組み合わせ、より体系的な学修を行うことができます。

	授業科目名	担当	単位数	学科名	
				経営	心理経営
基礎教育科目	防災・減災と生活A	藤枝市	2	○	○
	防災・減災と生活B	磐田市	2	○	○
	キャリアデザイン講座Ⅰ	宮田弘一 他	2	○	○
	キャリアデザイン講座Ⅱ	宮田弘一 他	2	○	○
	キャリアデザイン講座Ⅲ	宮田弘一 他	2	○	○
	小計		10	10	10
専門教育科目	金融・証券市場論	静岡銀行	2	○	○
	企業メセナA	TOKAIグループ	2	○	○
	企業メセナC	タニザワフーズ	2	○	○
	地域産業論B	下田明宏	2	○	○
	地域社会と法	静岡県行政書士会	2	○	○
	企業メセナF	浜松いわた信用金庫	2	○	○
	経営学特殊講義C	静岡県経済産業部	2	○	○
	小計		14	14	14
	合計		24	24	24

(注) 各授業科目について、詳細はシラバスを参照してください。

スポーツ科学部

1. 学びの体系（スポーツ科学部・1年生向け）

スポーツ科学部は、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」、「知る」の四つの視点を重視し、専門知識の修得と実学を通して、教育・スポーツ・健康分野でリーダーシップを発揮できる実践力の高い人材の育成を目指します。

〔スポーツ科学科〕

人間の運動やスポーツを、教育学、歴史学、医学、心理学などの領域から多面的に捉え、スポーツ科学の先端技術と専門知識を駆使し、次の四つのプログラムを柱とした学びが用意されています。

〈保健体育教員養成プログラム〉

中高保健体育教員の免許を取得するだけでなく、採用試験に「現役」で合格し、即戦力として学校現場に通用する教員を養成するプログラムです。免許を取得するために必要な教職課程に加えて、採用試験対策の講座や、実践力を育成するための学校実習（近隣の小・中・高校）、教材開発力や指導力を身につけるためのゼミ活動などが用意されています。

〈スポーツトレーナープログラム〉

スポーツトレーナープログラムは、アスリートのパフォーマンス向上とケガの予防を重要視し、スポーツ医学、栄養学などの幅広い知識と体験を提供します。学生はアスリートの評価、トレーニングプログラムの設計、応急処置などのスキルを習得することができます。カリキュラムは最新の研究と実践に基づいており、学生がアスリートのトップパフォーマンスをサポートするための知識とスキルを獲得できるようになっています。

〈健康マネジメントプログラム〉

フィットネス分野の専門資格を取得して、健康づくりをサポートするスポーツクラブや福祉施設への就職、インストラクターとしてのキャリアを考えている学生へ向けたプログラムです。解剖学、運動生理学、スポーツ心理学などの重要な科目を学びつつ、ニーズに合わせた効果的なトレーニングの提供スキルを磨きます。

〈スポーツチームマネジメントプログラム〉

スポーツチームの現場で必要とされる経営管理能力とデータ分析スキルを身につけ、科学的根拠に基づいた経営判断ができるチームマネジメントのプロフェッショナルを育成するプログラムです。スポーツ組織の経営実態、財務分析、マーケティング、組織行動、人材管理などの理解を深め、現場で求められる専門的スキルを養成します。これにより、スポーツチームの現場でリーダーシップを発揮し、課題を解決できる専門的な人材として活躍することが期待されます。

2. 授業の選び方（スポーツ科学部・1年生向け）

ここでは4年後にきちんと卒業でき、かつ体系的な学習をできるよう、授業の選び方を説明します

(1) 使用するもの

- ・「学生便覧」
- ・「SSU履修ガイド」（本冊子）
- ・「時間割表」
- ・「My Schedule」

(2) 学科の設定

- ・学科はスポーツ科学科です。

(3) 必修科目について

- ①「授業科目一覧表」で「必修」欄を縦方向に見ます。
- ②必修科目を探す。以下の科目が見つかります。

- ・「基礎ゼミナール」……………（半期2単位）
- ・「情報処理基礎Ⅰ」「情報処理基礎Ⅱ」……………（それぞれ半期2単位）
- ・「体力学概論」……………（半期2単位）
- ・「体育原理（2年次必修）」……………（半期2単位）
- ・「スポーツ経営管理論（2年次必修）」……………（半期2単位）
- ・「スポーツ科学概論」……………（半期2単位）
- ・「スポーツ科学研究法（3年次必修）」……………（半期2単位）
- ・「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ（3年次必修）」……………（それぞれ半期2単位）
- ・「卒業研究（4年次必修）」……………（通年6単位）
- ・「キャリアデザイン講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（2・3年次必修）」……………（それぞれ半期2単位）

- ③上記の中で、1年次に必修とされている科目をひとつずつチェックします。

- ・「基礎ゼミナール」
 - (a) 授業科目一覧表の「配当年次」「単位数」「備考」を確認します。
 - (i) シラバスで授業内容を確認します。
 - (u) 学生ポータルにて、曜日・時限を確認します。所属クラスの変更はできません。このクラスが高校のホームルームにあたります。
 - (e) 時間割表および My Schedule で曜日・時限を確認します。
- ・「情報処理基礎Ⅰ」「情報処理基礎Ⅱ」「体力学概論」「スポーツ科学概論」
 - (o) 授業科目一覧表の「配当年次」「単位数」「備考」を確認します。
 - (k) シラバスで授業内容を確認します。
 - (s) 学生ポータルにて、曜日・時限を確認します。
 - (k) 時間割表を見て、該当する必修クラスの「情報処理基礎Ⅰ」「情報処理基礎Ⅱ」を探します。
 - ※この科目は曜日・時限が決められています。それらの変更はできません。
 - ※該当するクラスの授業に出席します。例えば、時間割表に書かれているすべての「情報処理基礎Ⅰ」に出席する必要はありません。
 - (h) My Schedule 右側の表、該当する曜日・時限に「情報処理基礎Ⅰ」「情報処理基礎Ⅱ」を記入します。同様に「体力学概論」「スポーツ科学概論」を記入します。
 - (c) 第1回の「情報処理基礎Ⅰ」の授業において、大学設置のパソコンの使い方などについて説明および確認を行います。必ず出席してください。また「ユーザー名、パスワード」（学生証の紙カバーに記載）を持参しましょう。

④ その他

- ・これら必修科目を配当年次に記載されている学年で履修する必要があります。
- ・必修科目に合格しなければ、卒業できません。
- ・必修科目が不合格であった場合、次年度以降に再度、履修することになります。

(4) 選択必修科目について

- ①「授業科目一覧表」で「選択必修」欄を縦方向に見ます。
- ②「英語Ⅰ」～「英会話Ⅱ」で4単位分、科目を選んで、合格しなければなりません。ここでは例として、この枠で4単位分、科目を選ぶことにします。
 - ※この「選択必修」枠4単位分をすべて1年次に合格する必要はありません。卒業までに4単位分、合格する必要があります。
 - ※この「選択必修」枠では4単位、必要です。4単位以上修得した場合、超過分を「選択」枠にまわすことができます。
- ③選択した科目について、下記(さ)～(そ)の項目をひとつずつチェックします。
 - (さ) 授業科目一覧表の「配当年次」「単位数」「備考」を確認します。
 - ※1年次には、原則として2年次以上に配当の科目を履修できません。逆に2年次以上の学生は低学年に配当の科目を履修できます。
 - (し) シラバスで授業内容を確認します。
 - (す) 時間割表を見て、当該科目の曜日・時限を確認します。
 - (せ) My Schedule 右側の表、該当する曜日・時限に当該科目を記入します。
 - (そ) 英語は大学での勉強、将来の就職等に大変重要です。「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」は選択必修科目ですが、スポーツ科学部ではこの科目の履修を推奨しています。
- ④同様に、「授業科目一覧表」で「選択必修」欄を縦方向に見ます。
- ⑤2年次以降、「体づくり運動」～「球技(バドミントン)」で2単位分、科目を選んで、合格しなければいけません。これ以降の作業は上記③と同様です。
- ⑥①～⑤を繰り返します。なお履修登録は一年間に48単位までです。ただし「授業科目一覧表」で**名称が太字で記載された科目**はこの制限に含みません。

(5) 選択科目について

- ①「授業科目一覧表」で「選択」欄を縦方向に見ます。
- ②「コミュニケーションと音声表現」～「特別共同講義」で20単位分、科目を選んで、合格しなければなりません。ここでは例として、この枠で20単位分、科目を選ぶことにします。
 - ※この「選択」枠20単位分をすべて1年次に合格する必要はありません。卒業までに20単位分、合格する必要があります。
 - ※この「選択」枠に用いる科目は、先ほどの「選択必修」枠で用いた科目と別である必要があります。例えば「選択必修」枠で「英語Ⅰ」を選んだら、「選択」枠では「心理学」を選びます。なお「選択必修」枠で指定以上の単位を修得した場合、超過分を「選択」枠にまわすことができます。
- ③選択した科目について、上記(さ)～(せ)の項目をひとつずつチェックします。
 - (た) キャリア準備は大学での勉強、将来の就職等に大変重要です。「キャリアデザイン概論」は選択科目ですが、スポーツ科学部ではこの科目の履修を推奨しています。
- ④これを繰り返します。なお上記(4)⑥に記載の「履修登録の上限」に注意しましょう。

3. 2025・2026年度生卒業要件

科目区分	授業科目名(例示)	配当年次	必修	選択必修	選択	計	
基礎教育科目	基礎能力形成科目 基礎ゼミナール 情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 教養講座A～D	1	2			30	
		1	2				
		1	2				
		1					
	外国語科目 英語Ⅰ・英語Ⅱ 中国語Ⅰ・中国語Ⅱ	1 1		4	20		
教養科目 社会学 数学 スポーツA スポーツB	1						
	1						
	1						
	1						
基礎教育科目 小計			6	4	20		
専門教育科目	スポーツ科学科専門科目 導入科目 体力学概論	1	2			94	
		基幹科目 体育原理 スポーツ経営管理論	2	2			
			2	2			
		発展科目 女性とスポーツ	2				
		実技科目 体づくり運動	2		2		
	特殊講義科目 スポーツ科学特殊講義A スポーツ科学特殊講義B	2					
		2					
	特殊研究科目 スポーツ科学概論 スポーツ科学専門演習A～H スポーツ科学研究法 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業研究	1	2				
		2		4			
		3	2				
		3	2				
		3	2				
	全学共通科目 データサイエンス科目 データマネジメント基礎 データサイエンス基礎 データサイエンス基礎実践 スポーツ経営論 スポーツ産業論 ネーション保育科目 保育内容概論 キャリア形成科目 キャリアデザイン講座Ⅰ キャリアデザイン講座Ⅱ キャリアデザイン講座Ⅲ 学外研修・海外研修 社会実践講座A・B 海外研修A・B・C 全学特殊講義科目 全学特殊講義A 全学特殊講義B 全学特殊講義C	1					
		2					
		3					
1							
1							
2		2					
3		2					
3		2					
1							
1							
1							
専門教育科目 小計			26	6	62		
合計			32	10	82	124	

(注) この表には、多くの科目の中から一部を抜粋して掲載しています。

【基礎教育科目と専門教育科目】

スポーツ科学部が設置する科目は「基礎教育科目」と「専門教育科目」に分類されます。後者の「専門教育科目」は「スポーツ科学科専門科目」などに分かれます。

①基礎教育科目

社会学や数学、外国語など教養を広く、深く身につけるための科目です。

②専門教育科目（スポーツ科学科専門科目）

スポーツ科学の土台となる知識を学ぶ「導入科目」、スポーツ科学の基礎的内容を学ぶ「基幹科目」、より細分化した領域を学ぶ「発展科目」のほか、スポーツ実技に関する知識と技能を習得・向上させる「実技科目」があります。

【必修科目、選択必修科目、選択科目】

基礎教育科目や専門教育科目のなかは「必修科目」「選択必修科目」「選択科目」に区分されます。

①必修科目

必修科目は、各分野において基礎的かつ特に重要な内容を含む科目です。必修科目はあらかじめ定められており、卒業には必修科目すべてに合格することが必要です。¹

②選択必修科目

選択必修科目は、基礎教育科目や専門教育科目をバランスよく学ぶために設けられた科目群です。選択必修科目では、指定された科目群のなかから、自分の目標にあわせ科目を選ぶことができます。卒業には、それぞれの選択必修枠で定められた分、科目に合格することが必要です。

③選択科目

選択科目は、基礎教育科目や専門教育科目をより広く、より深く学ぶために設けられた科目群です。選択科目では、幅広い科目群のなかから、自分の目標にあわせ科目を選ぶことができます。卒業には、それぞれの選択枠で定められた分、科目に合格することが必要です。

【ゼミナール科目】

基礎教育科目には「基礎ゼミナール」、専門教育科目には「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」など、学部にはいくつかの「ゼミナール科目」が設置されています。講義科目では一般に「講義を聞く」のに対し、「ゼミナール科目」では学生が自ら調査を行い、結果をまとめ、発表をします。² それをできるように「ゼミナール科目」では、少人数のクラス（＝ゼミ）を編成します。「基礎ゼミナール」「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」「卒業研究」は必修科目です。3年次の「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」では大学の学びを深めるための貴重な機会が提供されます。4年次の「卒業研究」で論文を執筆し、発表します。

¹ 必修科目の履修にはいくつかの注意事項があります。それらについてはP.7「必修科目の履修登録について」を参照してください。

² 各ゼミナールの内容についてはシラバスの該当ページを参照してください。

4. 2024年度生卒業要件

科目区分	授業科目名 (例示)	配当年次	必修	選択必修	選択	計	
				スポーツ科学科			
基礎教育科目	基盤能力形成科目	基礎ゼミナール	1	2	4	30	
		情報処理基礎Ⅰ	1	2			
		情報処理基礎Ⅱ	1	2			
		教養講座A～C	1				
		基盤能力形成科目 小計					
	外国語科目	英語Ⅰ	1				
		英語Ⅱ	1				
	外国語科目 小計						
	教養科目	社会学	1				
		数学	1				
	教養科目 小計						
	体育実技科目	スポーツA・B	1				
		体育実技科目 小計					
	キャリア形成科目	キャリアデザイン講座Ⅰ	2	2			
キャリアデザイン講座Ⅱ		3	2				
キャリアデザイン講座Ⅲ		3	2				
キャリア形成科目 小計							
基礎教育科目 中計		12	4	14			
専門教育科目	導入科目		6	2	62	94	
		導入科目 小計					
	基幹科目		6				
		基幹科目 小計					
	発展科目		10				
		発展科目 小計					
	実技科目						2
		実技科目 小計					
	特殊講義科目	スポーツ科学特殊講義A・B	2				
		特殊講義科目 小計					
全学共通科目	データサイエンス科目	データマネジメント基礎	1				
		データサイエンス基礎	2				
		データサイエンス基礎実践	3				
	データサイエンス科目 小計						
特殊研究科目	専門演習A～D	1	8				
	専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	3					
	卒業研究	4					
特殊研究科目 小計							
全学特殊講義科目	全学特殊講義A～C	1					
全学特殊講義科目 小計							
専門教育科目 中計		22	10	62			

(注1) この表には、多くの科目の中から一部を抜粋して掲載しています。

5. 2023年度生卒業要件

科目区分	授業科目名 (例示)	配当年次	必修	選択必修	選択	計	
				スポーツ科学科			
基礎教育科目	基盤能力形成科目	基礎ゼミナール	1	2		30	
		情報処理基礎Ⅰ	1	2			
		情報処理基礎Ⅱ	1	2			
		教養講座A～C	1				
		基盤能力形成科目 小計					
	外国語科目	英語Ⅰ	1		4		
		英語Ⅱ	1				
		外国語科目 小計					
	教養科目	社会学	1				
		数学	1				
		教養科目 小計					
	体育実技科目	スポーツA・B	1				
		体育実技科目 小計					
	キャリア形成科目	キャリアデザイン講座Ⅰ	2	2			
キャリアデザイン講座Ⅱ		3	2				
キャリアデザイン講座Ⅲ		3	2				
キャリア形成科目 小計							
基礎教育科目 中計			12	4	14		
専門教育科目	導入科目			6	62	94	
		導入科目 小計					
	基幹科目			6			
		基幹科目 小計					
	発展科目			10			
		発展科目 小計					
	実技科目						2
		実技科目 小計					
	特殊講義科目	スポーツ科学特殊講義A・B	2				
		特殊講義科目 小計					
	全学共通科目	専門演習A～D	1				8
専門ゼミナールⅠ・Ⅱ		3					
卒業研究		4					
特殊研究科目 小計							
全学特殊講義科目	全学特殊講義A～C	1					
	全学特殊講義科目 小計						
専門教育科目 中計			22	10	62		

(注1) この表には、多くの科目の中から一部を抜粋して掲載しています。

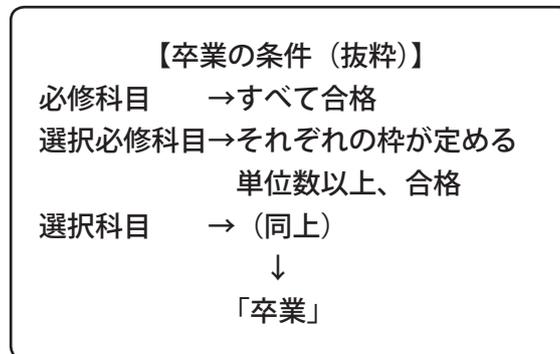
6. 【重要】「授業科目一覧表」と「卒業」

(1) 「授業科目一覧表」の見方

- ・本冊子「授業科目一覧表」には、スポーツ科学部に設置されている授業科目が掲載されています。「授業選びのルール」「学部・学科」にあわせ授業を選ぶために、本冊子「授業科目一覧表」は非常に重要です。以下に「授業科目一覧表」の見方を説明します。

「卒業」に関する事項

- ・「科目区分」欄 …それぞれの科目が所属する区分（基礎教育科目、専門教育科目など）を示します。これは前掲の表に授業科目名等を入れた表です。
- ・「配当年次」欄 …その科目を履修できる最低年次を示します。上級生が下級年次に配当されている科目を履修することも可能です。
- ・「単位数」欄 …合格したときに得られる単位数です。
- ・「各学科」欄
 - 必修 **2単位** などと記されます。枠内の数字は単位数を示します。その科目を必ず合格する必要があります。
 - 選択必修 この枠内から科目を選び、指定された単位分、修得する必要があります。
 - 選択 「基礎教育科目より 20」などと記されます。左側の該当する系列（例えば基礎教育科目）から科目を選び、20 単位分、修得する必要があります。



(2) 卒業

- ・本学では、以下の条件をすべて満たしたときに「卒業」になり、卒業式において「学位記」が授与されます。
- ① 4 年以上在学する
- ② 「授業科目一覧表」において、
 - ・必修科目にすべて合格する必要があります。
 - ・選択必修科目を、それぞれの枠が定める単位数以上、合格する必要があります。
 - ・選択科目を、それぞれの枠が定める単位数以上、合格する必要があります。

2025・2026 年度生 スポーツ科学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【スポーツ科学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択		
基礎 学 共 通 科 目	基礎ゼミナール	1	2	2 単位			250-1111-11	クラス指定あり
	情報処理基礎 I	1	2	2 単位			250-1112-11	クラス指定あり
	情報処理基礎 II	1	2	2 単位			250-1113-11	クラス指定あり
	コミュニケーションと音声表現	1	2				250-1114-12	
	コミュニケーションと文章表現	1	2				250-1115-12	
	地域と行政	1	2				250-1116-12	磐田市
	教養講座 A	1	2				250-1117-12	
	教養講座 B	1	2				250-1118-12	
	教養講座 C	1	2				250-1119-12	
	教養講座 D	1	2				250-1120-12	
	高大連携プロジェクト A	1	2				250-1121-12	
	高大連携プロジェクト B	1	2				250-1122-12	
	英語 I	1	2		外国語科目より4単位修得すること	基礎 教 育 科 目 よ り 20 単 位 修 得 す る こ と	250-1201-12	
	英語 II	1	2				250-1202-12	
	英語 III	2	2				250-1203-22	
	英語 IV	2	2				250-1204-22	
	中国語 I	1	2				250-1205-12	
	中国語 II	1	2				250-1206-12	
	中国語 III	2	2				250-1207-22	
	中国語 IV	2	2				250-1208-22	
	コミュニケーション英語 A	1	2				250-1209-12	
	コミュニケーション英語 B	1	2				250-1210-12	
	英会話 I	2	2				250-1211-22	
	英会話 II	2	2				250-1212-22	
	心理学	1	2				250-1131-12	
	文学	1	2				250-1132-12	
	言語学	1	2				250-1133-12	
	歴史学	1	2				250-1134-12	
	音楽	1	2		250-1135-12			
	美術	1	2		250-1136-12			
	日本国憲法	1	2		250-1137-12			
	法学	1	2		250-1138-12			
	社会学	1	2		250-1139-12			
	経済学	1	2		250-1140-12			
	環境学	1	2		250-1141-12			
	数学	1	2		250-1142-12			
	物理学	1	2		250-1143-12			
	化学	1	2		250-1144-12			
	生命科学	1	2		250-1145-12			
	情報科学	1	2		250-1146-12			
運動と健康	1	2		250-1147-12				
スポーツ A	1	1		250-1148-12				
スポーツ B	1	1		250-1149-12				
特別共同講義	1	2		250-1150-12				

スポーツ科学部

授業科目

25・26 年度生

2025・2026 年度生 スポーツ科学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【スポーツ科学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択		
専門 教育科 専門科目	体力学概論	1	2	2単位		専 門 教 育 科 目 よ り 62 単 位 修 得 す る こ と ※ 次 ペ ー ジ に 続 く	254-2411-11	
	ライフステージ運動論	1	2				254-2412-12	
	からだ気づき	1	2	254-2413-12				
	トレーニング科学	1	2	254-2414-12				
	アダプテッドスポーツ論	1	2	254-2415-12				
	ストレスと健康の科学	1	2	254-2416-12				
	スポーツ文化論	1	2	254-2417-12				
	教育原理	1	2	254-2418-12				
	スポーツトレーナー論	1	2	254-2419-12				
	解剖生理学	1	2	254-2420-12				
	体育原理	2	2	2単位			254-2430-21	
	スポーツ経営管理論	2	2	2単位			254-2431-21	
	運動生理学	2	2				254-2432-22	
	体育・スポーツ史	2	2				254-2433-22	
	スポーツバイオメカニクス	2	2				254-2434-22	
	運動方法学	2	2				254-2435-22	
	スポーツ心理学	2	2				254-2436-22	
	スポーツ医学（整形外科）	2	2				254-2437-22	
	スポーツ医学（内科）	2	2				254-2438-22	
	公衆衛生学	2	2				254-2439-22	
	健康づくり運動演習	2	2				254-2450-22	
	女性とスポーツ	2	2				254-2451-22	
	測定評価演習	2	2				254-2452-22	
	機能解剖学	2	2		254-2453-22			
	スポーツ栄養学	2	2		254-2454-22			
	ヘルスプロモーション概論	2	2		254-2455-22			
	生理心理学	2	2		254-2456-22			
	学校保健	2	2		254-2457-22			
	レクリエーション論	2	2		254-2458-22			
	トレーナー演習	2	2		254-2459-22			
	コンディショニング論	2	2		254-2460-22			
	トレーニング演習Ⅰ	2	2		254-2461-22			
	スポーツコーチング論	3	2		254-2462-32			
	スポーツ社会学	3	2		254-2463-32			
	加齢と老化の科学	3	2		254-2464-32			
	フィットネス概論	3	2	254-2465-32				
	コンディショニング演習	3	2	254-2466-32				
	ダンスと教育	3	2	254-2467-32				
	救急処置法	3	2	254-2468-32				
	アスレティックトレーニング論	3	2	254-2469-32				
	臨床心理学	3	2	254-2470-32				
	スポーツ行政論	3	2	254-2471-32				
	スポーツデータ解析	3	2	254-2472-32				
レジスタンストレーニングの科学	3	2	254-2473-32					
トレーニング指導演習Ⅰ	3	2	254-2474-32					
トレーニング指導演習Ⅱ	3	2	254-2475-32					
リコンディショニング演習	3	2	254-2476-32					
スポーツ統計学	3	2	254-2477-32					
メンタルトレーニング演習	3	2	254-2478-32					
認知動作型トレーニング演習	3	2	254-2479-32					
トレーニング演習Ⅱ	4	2	254-2480-42					
スポーツパフォーマンスの分析	4	2	254-2481-42					
保健体育科教育法Ⅰ	2	2	254-2482-22					
保健体育科教育法Ⅱ	3	2	254-2483-32					
保健体育科教育法Ⅲ	3	2	254-2484-32					
保健体育科教育法Ⅳ	4	2	254-2485-42					

スポーツ科学部

授業科目

25・26年度生

2025・2026 年度生 スポーツ科学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【スポーツ科学科】			科目ナンバー	備考		
				必修	選択必修	選択				
専門教育科目	実技科目	体づくり運動	2	1		実技科目より2単位修得すること	専門教育科目より62単位修得すること	254-2511-22		
		ダンス	2	1				254-2512-22		
		武道（柔道）	2	1				254-2513-22		
		球技（バスケットボール）	2	1				254-2514-22		
		球技（バレーボール）	2	1				254-2515-22		
		球技（サッカー）	2	1				254-2516-22		
		球技（ハンドボール）	2	1				254-2517-22		
		球技（ソフトボール）	2	1				254-2518-22		
		水泳	3	1				254-2519-32		
		陸上競技	3	1				254-2520-32		
		器械運動	3	1				254-2521-32		
		球技（テニス）	3	1				254-2522-32		
		球技（バドミントン）	3	1				254-2523-32		
		スポーツ科学特殊講義A	2	2					254-2591-22	
	スポーツ科学特殊講義B	2	2		254-2592-22					
	特殊研究科目	スポーツ科学概論	1	2	2単位			254-2701-11		
		スポーツ科学専門演習A	2	2		4単位修得すること 特殊研究科目より	※次ページに続く	254-2711-22		
		スポーツ科学専門演習B	2	2				254-2712-22		
		スポーツ科学専門演習C	2	2				254-2713-22		
		スポーツ科学専門演習D	2	2				254-2714-22		
		スポーツ科学専門演習E	2	2				254-2715-22		
		スポーツ科学専門演習F	2	2				254-2716-22		
		スポーツ科学専門演習G	2	2				254-2717-22		
		スポーツ科学専門演習H	2	2				254-2718-22		
		スポーツ科学研究法	3	2	2単位				254-2721-31	
		専門ゼミナールⅠ	3	2	2単位				254-2731-31	
専門ゼミナールⅡ		3	2	2単位				254-2732-31		
卒業研究	4	6	6単位					254-2751-41		

スポーツ科学部

授業科目

25・26年度生

2025・2026 年度生 スポーツ科学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【スポーツ科学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択		
専門 教育科目	データマネジメント基礎	1	2				250-2911-12	
	データサイエンス基礎	2	2				250-2912-22	
	データサイエンス基礎実践	3	2				250-2913-32	
	統計学	2	2				250-2914-22	
	統計調査論	3	2				250-2915-32	
	スポーツ産業論	1	2				250-2921-12	
	スポーツ経済学	1	2				250-2922-12	
	スポーツマネジメント入門	1	2				250-2923-12	
	スポーツマーケティング論	2	2				250-2924-22	
	スポーツマーケティング戦略論	3	2				250-2925-32	
	スポーツ組織行動論	3	2				250-2926-32	
	スポーツジャーナリズム論	3	2				250-2927-32	
	地域スポーツ政策論	3	2				250-2928-32	
	スポーツイベント企画運営演習A	3	2				250-2929-32	ジュビロ
	スポーツイベント企画運営演習B	3	2				250-2930-32	(静岡ブルーレヴズ)
	保育内容概論	1	2				250-2941-12	
	保育内容の理解と方法	2	2				250-2942-22	
	スポーツ保育	1	2				250-2943-12	
	子どもスポーツ論	2	2				250-2944-22	
	子どものスポーツ遊び	2	2				250-2945-22	
	リトミック	1	2				250-2946-12	
	スポーツ保育指導法Ⅰ	2	2				250-2947-22	
	スポーツ保育指導法Ⅱ	2	2				250-2948-22	
	スポーツ保育指導法Ⅲ	3	2				250-2949-32	
	スポーツ保育実習	3	1				250-2950-32	
	キャリアデザイン概論	1	2				250-2961-12	
	キャリアデザイン講座Ⅰ	2	2				250-2962-21	クラス指定あり
	キャリアデザイン講座Ⅱ	3	2				250-2963-31	クラス指定あり
	キャリアデザイン講座Ⅲ	3	2				250-2964-31	クラス指定あり
	キャリアデザイン実践	4	2				250-2965-42	
インターンシップ	3	2	250-2966-32					
学外研修・海外研修			250-2971-12	認定は半期2単位まで				
社会実践講座A	1	2	250-2972-12	認定は半期2単位まで				
社会実践講座B	1	2	250-2973-22	認定は半期2単位まで				
社会実践講座C	2	2	250-2974-12					
海外研修A	1	2	250-2975-12					
海外研修B	1	2	250-2976-12					
海外研修C	1	2	250-2991-12					
全学特殊講義A	1	2	250-2992-12					
全学特殊講義B	1	2	250-2993-12					
全学特殊講義C	1	2						

2026 年度生 スポーツ科学部 授業科目（教職関連科目）

授業科目名	科目ナンバー	授業科目名	科目ナンバー
教職入門（教師論）	254-3001-13	情報通信技術の活用	254-3017-23
教育社会学	254-3002-13	生徒指導	254-3009-33
教育心理学	254-3003-33	教育相談	254-3010-33
特別支援教育総論	254-3004-13	進路指導	254-3011-33
教育課程と方法	254-3005-23	事前事後指導	254-3012-93
道徳教育	254-3006-13	教育実習Ⅰ	254-3013-43
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	254-3007-23	教育実習Ⅱ	254-3014-43
教育方法論	254-3016-23	教職実践演習（中・高）	254-3015-43

スポーツ科学部「実務経験のある教員による授業科目」

静岡産業大学は、実務経験のある教員等による授業科目を以下の表のとおり、開講します。当該授業科目では、企業・行政機関などでの実務経験を有する教員が、その経験を生かして、それぞれの組織・団体における実践、現状・課題などを講義します。学生はそれらと、他の授業科目で学ぶ理論等を組み合わせ、より体系的な学修を行うことができます。

	授業科目名	担当	単位数	学科名
				スポーツ科学
科目 教育 基礎	地域と行政	磐田市	2	○
	小計		2	2
専門 教育 科目	学校保健	佐藤若	2	○
	スポーツコーチング論	中西健一郎	2	○
	スポーツ社会学	大島建	2	○
	スポーツマーケティング論	大島建	2	○
	アスレティックトレーニング論	中井真吾	2	○
	スポーツイベント企画運営演習	ジュビロ磐田	2	○
	キャリアデザイン講座Ⅰ	川合智之 他	2	○
	キャリアデザイン講座Ⅱ	川合智之 他	2	○
	キャリアデザイン講座Ⅲ	川合智之 他	2	○
小計		18	18	
合計		20	20	

(注) 各授業科目について、詳細はシラバスを参照してください。

2024 年度生 スポーツ科学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【スポーツ科学科】			科目ナンバー	備考	
				必修	選択必修	選択			
基 全	基礎ゼミナール	1	2	2 単位			214-1111-11	クラス指定あり	
	情報処理基礎 I	1	2	2 単位			214-1112-11	クラス指定あり	
	情報処理基礎 II	1	2	2 単位			214-1113-11	クラス指定あり	
	コミュニケーションと音声表現	1	2				214-1114-12		
	コミュニケーションと文章表現	1	2				214-1115-12		
	防災・減災と生活	1	2				214-1116-12	磐田市	
	教養講座 A	1	2				214-1117-12		
	教養講座 B	1	2				214-1118-12		
	教養講座 C	1	2				214-1119-12		
	高大連携プロジェクト A	1	2				214-1120-12		
	高大連携プロジェクト B	1	2				214-1121-12		
	英語 I	1	2				214-1201-12		
	英語 II	1	2				214-1202-12		
	英語 III	2	2				214-1203-22		
礎 学	英語 IV	2	2				214-1204-22		
	中国語 I	1	2				214-1205-12		
	中国語 II	1	2				214-1206-12		
	中国語 III	2	2				214-1207-22		
	中国語 IV	2	2				214-1208-22		
	コミュニケーション英語 A	1	2				214-1213-12		
	コミュニケーション英語 B	1	2				214-1214-12		
	英会話 I	2	2				214-1210-22		
	英会話 II	2	2				214-1211-22		
	海外研修	1	2				214-1212-12		
	心理学	1	2				214-1131-12		
	文学	1	2				214-1132-12		
	言語学	1	2				214-1133-12		
	日本国憲法	1	2				214-1134-12		
教 共	法学	1	2				214-1135-12		
	社会学	1	2				214-1136-12		
	経済学	1	2				214-1137-12		
	産業史	1	2				214-1138-12		
	環境学	1	2				214-1139-12		
	数学	1	2				214-1140-12		
	物理学	1	2				214-1141-12		
	化学	1	2				214-1142-12		
	生命科学	1	2				214-1143-12		
	情報科学	1	2				214-1144-12		
	社会実践講座 A	1	2				214-1145-12	認定は半期 2 単位まで	
	社会実践講座 B	1	2				214-1146-12	認定は半期 2 単位まで	
	特別共同講義	1	2				214-1147-12		
	育 通	スポーツ A	1	1				214-1151-12	
スポーツ B		1	1				214-1152-12		
キャリアデザイン概論 A		1	2				214-1171-12		
キャリアデザイン概論 B		2	2				214-1172-22		
キャリアデザイン講座 I		2	2	2 単位			214-1173-21	クラス指定あり	
キャリアデザイン講座 II		3	2	2 単位			214-1174-31	クラス指定あり	
キャリアデザイン講座 III		3	2	2 単位			214-1175-31	クラス指定あり	
インターンシップ A		3	2				214-1176-32		
インターンシップ B		3	2				214-1177-32		
科 科		基礎能力形成科目							
		外国語科目				4 単位修得すること			
		教養科目							
		基礎教育科目					14 単位修得すること		
		共通科目							
	体育								
	理学								
	工学								
	農学								
	医学								
	法学								
	経済学								
	文学								
	芸術学								
キャリア形成科目									

スポーツ科学部

授業科目

24 年度生

2024 年度生 スポーツ科学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【スポーツ科学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択 必修	選択		
スポーツ科学科専門科目 専門教育科目	スポーツ科学入門	1	2	2単位			214-2411-11	
	スポーツと教育	1	2	2単位			214-2412-11	
	ライフステージ運動論	1	2	2単位			214-2413-11	
	からだ気づき	1	2				214-2414-12	
	トレーニング科学	1	2				214-2415-12	
	体力学概論	1	2				214-2416-12	
	ストレスと健康の科学	1	2				214-2417-12	
	スポーツ文化論	1	2				214-2418-12	
	教育原理	1	2				214-2419-12	
	健康情報学	1	2				214-2420-12	
	運動生理学	2	2	2単位			214-2431-21	
	スポーツ文化史	2	2	2単位			214-2432-21	
	スポーツバイオメカニクス	2	2	2単位			214-2433-21	
	子どもスポーツ論	2	2				214-2434-22	
	体育原理	2	2				214-2435-22	
	運動方法学	2	2				214-2436-22	
	スポーツ心理学	2	2				214-2437-22	
	スポーツ医学	2	2				214-2438-22	
	公衆衛生学	2	2				214-2439-22	
	女性とスポーツ	2	2	2単位			214-2451-21	
	体育測定法	2	2	2単位			214-2452-21	
	機能解剖学	2	2				214-2453-22	
	スポーツ栄養学	2	2				214-2454-22	
	ヘルスプロモーション概論	2	2				214-2455-22	
	生理心理学	2	2				214-2456-22	
	学校保健	2	2				214-2457-22	
	武道論	2	2				214-2458-22	
	レクリエーション論	2	2				214-2459-22	
	スポーツ経営管理論	2	2				214-2460-22	
	スポーツコーチング論	3	2	2単位			214-2461-31	
	スポーツ社会学	3	2	2単位			214-2462-31	
	加齢と老化の科学	3	2				214-2463-32	
	フィットネス概論	3	2				214-2464-32	
	コンディショニング演習	3	2				214-2465-32	
	スポーツ人類学	3	2				214-2466-32	
	ダンスと教育	3	2				214-2467-32	
	アダプテッドスポーツ論	3	2				214-2468-32	
	スポーツビジネス論	3	2				214-2469-32	
	地域スポーツ政策論	3	2				214-2470-32	
	救急処置法	3	2	2単位			214-2471-31	
	アスレティックトレーニング論	3	2				214-2472-32	
	運動生理学実験演習	3	2				214-2473-32	
	臨床心理学	3	2				214-2474-32	
	スポーツマーケティング論	3	2				214-2475-32	
	スポーツ行政論	3	2				214-2476-32	
	スポーツイベント企画運営	3	2				214-2477-32	(ジュビロ)
	スポーツデータ解析	3	2				214-2478-32	
	トレーニング演習	4	2				214-2479-42	
	リハビリテーション論	4	2				214-2480-42	
	認知動作型トレーニング演習	4	2				214-2481-42	3年生以上履修可
	スポーツパフォーマンスの分析	4	2				214-2482-42	
	スポーツイベント企画運営演習	4	2				214-2483-42	静岡ブルーレヴズ、3年生以上履修可
	スポーツデータ解析演習	4	2				214-2484-42	
保健体育科教育法Ⅰ	2	2				214-2485-22		
保健体育科教育法Ⅱ	3	2				214-2486-32		
保健体育科教育法Ⅲ	3	2				214-2487-32		
保健体育科教育法Ⅳ	4	2				214-2488-42		

スポーツ科学部
 授業科目
 24年度生

2024 年度生 スポーツ科学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【スポーツ科学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択 必修	選択		
スポーツ科学科専門科目	水泳	2	1		2 単位修得すること 実技科目より	専 門 教 育 科 目 よ り 6 2 単 位 修 得 す る こ と	214-2511-22	
	球技 (バスケットボール)	2	1				214-2512-22	
	武道 (柔道)	2	1				214-2513-22	
	体づくり運動	2	1				214-2514-22	
	陸上競技	2	1				214-2515-22	
	ダンス	2	1				214-2516-22	
	器械運動	3	1				214-2517-32	
	球技 (サッカー)	3	1				214-2518-32	
	球技 (バレーボール)	3	1				214-2519-32	
	球技 (テニス)	3	1				214-2520-32	
	野外活動実習	4	1				214-2521-42	3 年生以上履修可
	スポーツ科学特殊講義 A	2	2				214-2591-22	
	スポーツ科学特殊講義 B	2	2				214-2592-22	
	データサイエンス科目							
データマネジメント基礎	1	2	211-2319-12					
データサイエンス基礎	2	2	211-2462-22					
データサイエンス基礎実践	3	2	211-2463-32					
統計学	2	2	211-2320-22					
統計調査論	3	2	211-2321-32					
特殊研究科目								
専門演習 A	1	2	214-2711-12					
専門演習 B	1	2	214-2712-12					
専門演習 C	1	2	214-2713-12					
専門演習 D	1	2	214-2714-12					
専門ゼミナール I	3	2	214-2731-32					
専門ゼミナール II	3	2	214-2732-32					
卒業研究	4	4	214-2751-42	「専門ゼミナール I・II」単位修得者対象				
全学特殊講義科目								
全学特殊講義 A	1	2	254-2991-12					
全学特殊講義 B	1	2	254-2992-12					
全学特殊講義 C	1	2	254-2993-12					

授業科目名	科目ナンバー
教職入門 (教師論)	214-3001-13
教育社会学	214-3002-13
教育心理学	214-3003-33
特別支援教育総論	214-3004-13
教育課程と方法	214-3005-23
道徳教育	214-3006-13
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	214-3007-23
教育方法論	214-3016-23

授業科目名	科目ナンバー
情報通信技術の活用	214-3017-33
生徒指導	214-3009-33
教育相談	214-3010-33
進路指導	214-3011-33
事前事後指導	214-3012-93
教育実習 I	214-3013-43
教育実習 II	214-3014-43
教職実践演習 (中・高)	214-3015-43

スポーツ科学部

授業科目

24 年度生

スポーツ科学部「実務経験のある教員による授業科目」

静岡産業大学は、実務経験のある教員等による授業科目を以下の表のとおり、開講します。当該授業科目では、企業・行政機関などでの実務経験を有する教員が、その経験を生かして、それぞれの組織・団体における実践、現状・課題などを講義します。学生はそれらと、他の授業科目で学ぶ理論等を組み合わせ、より体系的な学修を行うことができます。

	授業科目名	担当	単位数	学科名
				スポーツ科学
基礎教育科目	防災・減災と生活	磐田市	2	○
	キャリアデザイン講座Ⅰ	川合智之 他	2	○
	キャリアデザイン講座Ⅱ	川合智之 他	2	○
	キャリアデザイン講座Ⅲ	川合智之 他	2	○
	小計		8	8
専門教育科目	学校保健	佐藤若	2	○
	スポーツコーチング論	中西健一郎	2	○
	スポーツ社会学	大島建	2	○
	アスレティックトレーニング論	中井真吾	2	○
	スポーツマーケティング論	大島建	2	○
	スポーツイベント企画運営	ジュビロ磐田	2	○
	小計		12	12
合計			20	20

(注) 各授業科目について、詳細はシラバスを参照してください。

2023 年度生 スポーツ科学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【スポーツ科学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択		
基 全	基礎能力形成科目	基礎ゼミナール	1	2	2 単位		214-1111-11	クラス指定あり
		情報処理基礎 I	1	2	2 単位		214-1112-11	クラス指定あり
		情報処理基礎 II	1	2	2 単位		214-1113-11	クラス指定あり
		コミュニケーションと音声表現	1	2			214-1114-12	
		コミュニケーションと文章表現	1	2			214-1115-12	
		防災・減災と生活	1	2			214-1116-12	磐田市
		教養講座 A	1	2			214-1117-12	
		教養講座 B	1	2			214-1118-12	
		教養講座 C	1	2			214-1119-12	
		高大連携プロジェクト A	1	2			214-1120-12	
		高大連携プロジェクト B	1	2			214-1121-12	
		英語 I	1	2			214-1201-12	
		英語 II	1	2			214-1202-12	
		英語 III	2	2			214-1203-22	
教 共	外国語科目	英語 IV	2	2			214-1204-22	
		中国語 I	1	2			214-1205-12	
		中国語 II	1	2			214-1206-12	
		中国語 III	2	2			214-1207-22	
		中国語 IV	2	2			214-1208-22	
		コミュニケーション英語 A	1	2			214-1213-12	
		コミュニケーション英語 B	1	2			214-1214-12	
		英会話 I	2	2			214-1210-22	
		英会話 II	2	2			214-1211-22	
		海外研修	1	2			214-1212-12	
		心理学	1	2			214-1131-12	
		文学	1	2			214-1132-12	
		言語学	1	2			214-1133-12	
		日本国憲法	1	2			214-1134-12	
科 科	教養科目	法学	1	2			214-1135-12	
		社会学	1	2			214-1136-12	
		経済学	1	2			214-1137-12	
		産業史	1	2			214-1138-12	
		環境学	1	2			214-1139-12	
		数学	1	2			214-1140-12	
		物理学	1	2			214-1141-12	
		化学	1	2			214-1142-12	
		生命科学	1	2			214-1143-12	
		情報科学	1	2			214-1144-12	
		社会実践講座 A	1	2			214-1145-12	認定は半期 2 単位まで
		社会実践講座 B	1	2			214-1146-12	認定は半期 2 単位まで
		特別共同講義	1	2			214-1147-12	
		目 目	体育科	スポーツ A	1	1		
スポーツ B	1			1			214-1152-12	
キャリアデザイン概論 A	1			2			214-1171-12	
キャリアデザイン概論 B	2			2			214-1172-22	
キャリアデザイン講座 I	2			2	2 単位		214-1173-21	クラス指定あり
キャリアデザイン講座 II	3			2	2 単位		214-1174-31	クラス指定あり
キャリアデザイン講座 III	3			2	2 単位		214-1175-31	クラス指定あり
インターンシップ A	3			2			214-1176-32	
インターンシップ B	3			2			214-1177-32	

4 単位修得すること
 外国語科目より

基礎教育科目より
 14 単位修得すること

スポーツ科学部

授業科目

23 年度生

2023 年度生 スポーツ科学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【スポーツ科学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択		
スポーツ科学科専門科目 専門教育科目	スポーツ科学入門	1	2	2 単位			214-2411-11	
	スポーツと教育	1	2	2 単位			214-2412-11	
	ライフステージ運動論	1	2	2 単位			214-2413-11	
	からだ気づき	1	2				214-2414-12	
	トレーニング科学	1	2				214-2415-12	
	体力学概論	1	2				214-2416-12	
	ストレスと健康の科学	1	2				214-2417-12	
	スポーツ文化論	1	2				214-2418-12	
	教育原理	1	2				214-2419-12	
	健康情報学	1	2				214-2420-12	
	運動生理学	2	2	2 単位			214-2431-21	
	スポーツ文化史	2	2	2 単位			214-2432-21	
	スポーツバイオメカニクス	2	2	2 単位			214-2433-21	
	子どもスポーツ論	2	2				214-2434-22	
	体育原理	2	2				214-2435-22	
	運動方法学	2	2				214-2436-22	
	スポーツ心理学	2	2				214-2437-22	
	スポーツ医学	2	2				214-2438-22	
	公衆衛生学	2	2				214-2439-22	
	女性とスポーツ	2	2	2 単位			214-2451-21	
	体育測定法	2	2	2 単位			214-2452-21	
	機能解剖学	2	2				214-2453-22	
	スポーツ栄養学	2	2				214-2454-22	
	ヘルスプロモーション概論	2	2				214-2455-22	
	生理心理学	2	2				214-2456-22	
	学校保健	2	2				214-2457-22	
	武道論	2	2				214-2458-22	
	レクリエーション論	2	2				214-2459-22	
	スポーツ経営管理論	2	2				214-2460-22	
	スポーツコーチング論	3	2	2 単位			214-2461-31	
	スポーツ社会学	3	2	2 単位			214-2462-31	
	加齢と老化の科学	3	2				214-2463-32	
	フィットネス概論	3	2				214-2464-32	
	コンディショニング演習	3	2				214-2465-32	
	スポーツ人類学	3	2				214-2466-32	
	ダンスと教育	3	2				214-2467-32	
	アダプテッドスポーツ論	3	2				214-2468-32	
	スポーツビジネス論	3	2				214-2469-32	
	地域スポーツ政策論	3	2				214-2470-32	
	救急処置法	3	2	2 単位			214-2471-31	
	アスレティックトレーニング論	3	2				214-2472-32	
	運動生理学実験演習	3	2				214-2473-32	
	臨床心理学	3	2				214-2474-32	
	スポーツマーケティング論	3	2				214-2475-32	
	スポーツ行政論	3	2				214-2476-32	
	スポーツイベント企画運営	3	2				214-2477-32	(ジュビロ)
	スポーツデータ解析	3	2				214-2478-32	
トレーニング演習	4	2				214-2479-42		
リハビリテーション論	4	2				214-2480-42		
認知動作型トレーニング演習	4	2				214-2481-42	3 年生以上履修可	
スポーツパフォーマンスの分析	4	2				214-2482-42		
スポーツイベント企画運営演習	4	2				214-2483-42	静岡ブルーレヴズ 3 年生以上履修可	
スポーツデータ解析演習	4	2				214-2484-42		
保健体育科教育法 I	2	2				214-2485-22		
保健体育科教育法 II	3	2				214-2486-32		
保健体育科教育法 III	3	2				214-2487-32		
保健体育科教育法 IV	4	2				214-2488-42		

スポーツ科学部

授業科目

23 年度生

2023 年度生 スポーツ科学部 授業科目

※必修科目の単位や、選択必修科目として用いる科目の単位を、選択科目の単位に含めることはできません。
 ※太字科目は、年間履修登録単位数の上限を超えて履修することができる科目

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数	【スポーツ科学科】			科目ナンバー	備考
				必修	選択必修	選択		
スポーツ科学科専門科目	水泳	2	1		2 実技科目より 単位数修得すること	専門教育科目より 62単位数修得すること	214-2511-22	
	球技（バスケットボール）	2	1				214-2512-22	
	武道（柔道）	2	1				214-2513-22	
	体づくり運動	2	1				214-2514-22	
	陸上競技	2	1				214-2515-22	
	ダンス	2	1				214-2516-22	
	器械運動	3	1				214-2517-32	
	球技（サッカー）	3	1				214-2518-32	
	球技（バレーボール）	3	1				214-2519-32	
	球技（テニス）	3	1				214-2520-32	
	野外活動実習	4	1				214-2521-42	3年生以上履修可
	スポーツ科学特殊講義A	2	2				214-2591-22	
	スポーツ科学特殊講義B	2	2				214-2592-22	
	214-2592-22						214-2592-22	
専門教育科目	専門演習A	1	2	8 特殊研究科目より 単位数修得すること		214-2711-12		
	専門演習B	1	2			214-2712-12		
	専門演習C	1	2			214-2713-12		
	専門演習D	1	2			214-2714-12		
	専門ゼミナールⅠ	3	2			214-2731-32		
	専門ゼミナールⅡ	3	2			214-2732-32		
	卒業研究	4	4			214-2751-42	「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」単位数修得者対象	
	214-2751-42					214-2751-42		
	250-2991-12					250-2991-12		
	250-2992-12					250-2992-12		
全学共通科目	250-2993-12			250-2993-12				
	250-2993-12			250-2993-12				
	250-2993-12			250-2993-12				
全学特殊講義科目	250-2993-12			250-2993-12				
	250-2993-12			250-2993-12				
	250-2993-12			250-2993-12				

2023 年度生 スポーツ科学部 授業科目（教職関連科目）

授業科目名	科目ナンバー
教職入門（教師論）	214-3001-13
教育社会学	214-3002-13
教育心理学	214-3003-33
特別支援教育総論	214-3004-13
教育課程と方法	214-3005-23
道徳教育	214-3006-13
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	214-3007-23
教育方法論	214-3016-23

授業科目名	科目ナンバー
情報通信技術の活用	214-3017-33
生徒指導	214-3009-33
教育相談	214-3010-33
進路指導	214-3011-33
事前事後指導	214-3012-93
教育実習Ⅰ	214-3013-43
教育実習Ⅱ	214-3014-43
教職実践演習（中・高）	214-3015-43

スポーツ科学部「実務経験のある教員による授業科目」

静岡産業大学は、実務経験のある教員等による授業科目を以下の表のとおり、開講します。当該授業科目では、企業・行政機関などでの実務経験を有する教員が、その経験を生かして、それぞれの組織・団体における実践、現状・課題などを講義します。学生はそれらと、他の授業科目で学ぶ理論等を組み合わせ、より体系的な学修を行うことができます。

	授業科目名	担当	単位数	学科名
				スポーツ科学
基礎教育科目	防災・減災と生活	磐田市	2	○
	キャリアデザイン講座Ⅰ	川合智之 他	2	○
	キャリアデザイン講座Ⅱ	川合智之 他	2	○
	キャリアデザイン講座Ⅲ	川合智之 他	2	○
	小計		8	8
専門教育科目	学校保健	佐藤若	2	○
	スポーツコーチング論	中西健一郎	2	○
	スポーツ社会学	大島建	2	○
	アスレティックトレーニング論	中井真吾	2	○
	スポーツマーケティング論	大島建	2	○
	スポーツイベント企画運営	ジュビロ磐田	2	○
	小計		12	12
合計			20	20

(注) 各授業科目について、詳細はシラバスを参照してください。

3つのポリシーと単位認定の方針

単位認定の方針と3つのポリシー

1. 単位認定の方針

静岡産業大学は、本学学則第21条(単位の授与)及び大学・各学部のディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)、カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)に基づき、単位認定を行います。各授業科目において、担当教員は上記を踏まえて到達目標を設定、それをシラバスに明記するとともに、以下の評価方法、評価基準に基づき、学生の学修到達度を評価します。

(評価方法)

本学における試験は、試験規程に基づき、筆記試験、レポート試験、実技試験などとなります。各授業科目の担当教員は、学則第22条(学習の評価)に基づき、試験等を評価します。

学修到達度を適切に評価するために、評価方法・基準をシラバスで学生にあらかじめ明示し、その内容に基づいて厳格な成績評価を実施します。

なお、本学はオフィスアワー等を設け、学生の質問に直接、対応できるようにするとともに、教員のメールアドレスを公開し、学生から担当教員に対し、成績に関する照会ができるようにしています。

(評価基準)

本学における各授業科目の成績評価は、学則第22条に基づき、S、A、B、C、Dの五段階評価とし、C以上を合格とします。評価基準を成績評価基準等に関する細則に示します。各授業科目の担当教員は、学修到達度を適切に評価するために、評価方法・基準をシラバスで学生にあらかじめ明示し、その内容に基づいて厳格な成績評価を実施します。

2. 3つのポリシー

静岡産業大学は学部・学科ごとに、

- ①ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)
- ②アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)
- ③カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

から成る「3つのポリシー」を定めています。

3つのポリシーでは、学部が大枠を定め、学科がそれぞれの詳細を定めます。

次ページより、各学部と各学科の3つのポリシーを説明します。

■ 経営学部

□ 目指すべき人物像

- ・ 経営学を中心とする複合的な専門知識と、人文科学、社会科学、自然科学などに関する教養を身につけ、地域の発展に貢献する人材

□ DP（ディプロマ・ポリシー）

（知識・理解）【基礎理論の理解、教養の修得】

- ・ 各学科が提供する基幹科目の基礎理論を理解している。
- ・ 人文科学、社会科学、自然科学などに関する教養を身につけている。

（思考・判断・表現）【課題の発見と考察、プレゼンテーション】

- ・ 現代社会における、経営に係る諸課題、個人や組織の心理に係る諸課題を、種々のデータに基づき発見できる。
- ・ 現代社会における、経営に係る諸課題、個人や組織の心理に係る諸課題を、基礎理論に基づき考察できる。
- ・ 発見・考察した内容を、口頭または文章などでの的確に表現できる。

（関心・意欲・態度）【当該分野への関心、主体的取り組み、他者との協働】

- ・ 経営、個人や組織の心理などの状況や動向に関心を持っている。
- ・ 主体性を持ち、新たな課題に取り組むことができる。
- ・ 人間や社会の多様性を認め、様々な人材・組織などと協働できる。

（技能）【情報リテラシー、コミュニケーション】

- ・ 必要なデータを収集し、それらを的確に整理・分析できる。
- ・ 他者を尊重したコミュニケーションをとることができる。

□ AP（アドミッション・ポリシー）

（知識・理解）【基礎学力】

- ・ 国語、外国語、数学について、高等学校卒業相当の知識を有している。

（思考・判断・表現）【考察、表現】

- ・ 課題を種々のデータに基づき、多面的に捉えることができる。
- ・ 自分の意見を他者に分かりやすく、伝えることができる。

（関心・意欲・態度）【当該分野への興味、積極性、協調性】

- ・ ビジネス、個人や組織の心理に興味を持っている。
- ・ 勉強や課外活動、ボランティア活動などに積極的に取り組んでいる。
- ・ 仲間と協力して、課題に取り組むことができる。

（技能）【コミュニケーション】

- ・ コミュニケーションを円滑にとることができる。

□ CP（カリキュラム・ポリシー）

- ・ 経済学、経営学、情報学、心理学に関連する諸分野を複合的に学修する。
- ・ 地域社会との多様な連携により、理論と実践とが融合した実学を学修する。
- ・ 少人数教育を基礎とした、アクティブラーニングを推進する。

□ 経営学科

□ 目指すべき人物像

- ・ 経営学、商学、経済学、会計学に関する理論・知識・技能を身につけた人材
- ・ 経営学を中心とする各理論を、企業などで実践できるビジネス・パーソン

□ DP (ディプロマ・ポリシー)

(知識・理解)【基礎理論の理解、教養の修得】

- ・ 経営学、商学、経済学、会計学の基礎理論を理解している。
- ・ 人文科学、社会科学、自然科学などに関する教養を身につけている。

(思考・判断・表現)【課題の発見と考察、プレゼンテーション】

- ・ 経営に関する諸課題を、資料などにに基づき発見できる。
- ・ 経営に関する諸課題を、基礎理論に基づき考察できる。
- ・ 発見・考察した内容を、口頭または文章などで的確に表現できる。

(関心・意欲・態度)【当該分野への関心、主体的取り組み、他者との協働】

- ・ 経営などの状況や動向に関心を持っている。
- ・ 主体性を持ち、新たな課題に取り組むことができる。
- ・ 人間や社会の多様性を認め、様々な人材・組織などと協働できる。

(技能)【情報リテラシー、コミュニケーション】

- ・ 必要なデータを収集し、それらを的確に整理・分析できる。
- ・ 他者を尊重したコミュニケーションをとることができる。

□ AP (アドミッション・ポリシー)

(知識・理解)【基礎学力】

- ・ 国語、外国語、数学について、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)【考察、表現】

- ・ 課題を種々のデータに基づき、多面的に捉えることができる。
- ・ 自分の意見を他者に分かりやすく、伝えることができる。

(関心・意欲・態度)【当該分野への興味、積極性、協調性】

- ・ ビジネスや地域、会計などに興味を持っている。
- ・ 勉強や課外活動、ボランティア活動などに積極的に取り組んでいる。
- ・ 仲間と協力して、課題に取り組むことができる。

(技能)【コミュニケーション】

- ・ コミュニケーションを円滑にとることができる。

□ CP (カリキュラム・ポリシー)

- ・ 企業や地域などの事例を用いて、経営、販売、地域、財務を分析する。
- ・ 経営学、商学、経済学、会計学の各分野から、企業などにアプローチする。
- ・ 地域連携型アクティブラーニングにより、理論と実践を融合する。

□ 心理経営学科

□ 目指すべき人物像

- ・経営学及び心理学に関する理論・知識・技能を身につけた人材
- ・心理学をビジネスに、よりの確に活用できる人材

□ DP (ディプロマ・ポリシー)

(知識・理解)【基礎理論の理解、教養の修得】

- ・経営学、商学、経済学、会計学の基礎理論を理解している。
- ・人文科学、社会科学、自然科学などに関する教養を身につけている。

(思考・判断・表現)【課題の発見と考察、プレゼンテーション】

- ・経営、心理に関する諸課題を、資料などに基づき発見できる。
- ・経営、心理に関する諸課題を、基礎理論に基づき考察できる。
- ・発見・考察した内容を、口頭または文章などで的確に表現できる。

(関心・意欲・態度)【当該分野への関心、主体的取り組み、他者との協働】

- ・経営、心理などの状況や動向に関心を持っている。
- ・主体性を持ち、新たな課題に取り組むことができる。
- ・人間や社会の多様性を認め、様々な人材・組織などと協働できる。

(技能)【情報リテラシー、コミュニケーション】

- ・必要なデータを収集し、それらを的確に整理・分析できる。
- ・他者を尊重したコミュニケーションをとることができる。

□ AP (アドミッション・ポリシー)

(知識・理解)【基礎学力】

- ・国語、外国語、数学について、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)【考察、表現】

- ・課題を種々のデータに基づき、多面的に捉えることができる。
- ・自分の意見を他者に分かりやすく、伝えることができる。

(関心・意欲・態度)【当該分野への興味、積極性、協調性】

- ・ビジネスや心理などに興味を持っている。
- ・勉強や課外活動、ボランティア活動などに積極的に取り組んでいる。
- ・仲間と協力して、課題に取り組むことができる。

(技能)【コミュニケーション】

- ・コミュニケーションを円滑にとることができる。

□ CP (カリキュラム・ポリシー)

- ・経営や心理などに関連する理論・知識・技能を修得する。
- ・経営学、心理学の各分野から、企業にアプローチする。
- ・アクティブラーニング等により、理論と実践を融合する。

■ スポーツ科学部

□ 養成人材像

一生涯、心身ともに健康で文化的な生活を送ることができる社会を構築するため、年齢、性別、障がいの有無を問わず、いつでも誰でもスポーツ文化に関わり豊かな人生を送ることができるよう、地域社会において中核的な役割を担う指導的な人材を養成する。

□ DP (ディプロマ・ポリシー)

- ① スポーツ科学の基礎的な理論、スポーツの意義や課題について総合的視点から理解し、主体性、積極性、協調性を持ち、多様性を認め、スポーツを通じて他者と協働するために必要な能力を有している。
- ② スポーツ科学を活用し、ライフステージに合わせたスポーツ実践や健康づくり、地域振興に活用できるプログラムを企画・指導し、適切なトレーニングを処方・指導できる知識・技能を有している。
- ③ スポーツ科学の理論に基づいて、学校、地域等でスポーツを実践し、企画・指導する能力を有している。

□ AP (アドミッション・ポリシー)

- ① 高等学校までの基礎的な知識や技能を身につけている。
- ② スポーツにおける諸事象を多面的にとらえ表現する能力を有している。

(知識・理解) 【基礎学力・理解】

- ・ 高等学校等までの基礎的・基本的な知識を有している。
- ・ スポーツや運動の楽しさを体験的に理解している。

(思考・判断・表現) 【考察、表現】

- ・ 課題を資料などに基づき、多面的に捉えることができる。
- ・ 自分の意見を他者に分かりやすく、伝えることができる。

(関心・意欲・態度) 【当該分野への興味、積極性、協調性】

- ・ ボランティアや職業体験などを通して地域活動に参加した経験があり、入学後も他者とともに主体的に取り組む姿勢を有している。
- ・ 社会を取り巻く諸環境などをもとに自ら課題を発見し、それを解決するために考え、探求することができる。

(技能) 【基礎的技能・コミュニケーション】

- ・ 高等学校等までの保健体育の基礎的・基本的な技能を有している。
- ・ 他者の意見等を尊重し、円滑な人間関係を心がけることができる。

□ CP (カリキュラム・ポリシー)

- ① 幅広い教養を身につけ、キャリア形成へつながる知識を学修する。
- ② 社会の課題とスポーツ科学の関連を広い視点から学修する。
- ③ スポーツ科学の基礎的知識を幅広く身につける。
- ④ スポーツ科学を活かした卒業後の職域を想定した知識・技能を身につける。

□ スポーツ科学科

□ 養成人材像

従前の経営学部スポーツ経営学科のスポーツ領域の知見を活かしスポーツ教育や地域の活性化に貢献できる下記の人材を養成する。

- ①スポーツを地域の資源として活用し、競技者あるいは生きがいとしてのスポーツの実践者、指導者として地域社会に貢献できる人材
- ②ライフステージに応じた健康の維持・増進や、競技力向上を目指す人に対して、適切なトレーニングを処方・指導できる人材
- ③中・高校の保健体育科教員としての素養（体育実技、スポーツに関する人文科学・自然科学・教育法等）を身につけ、学校教育の場で活躍できる人材

□ DP（ディプロマ・ポリシー）

前述の人材を養成するために、次の8点のディプロマ・ポリシーを設定する。

- ①主体性、積極性、協調性を持ち、多様性を認め、他者と協働するために必要な能力を有している。
- ②スポーツの意義や課題について理解している。
- ③スポーツ科学の基礎的な理論を理解している。
- ④健康の維持・増進や、競技力向上を目指す人に対して、適切なトレーニングを処方・指導できる知識・技能を有している。
- ⑤ライフステージに合わせて、スポーツや健康づくり、地域振興に活用できるプログラムを企画・指導する知識・技能を有している。
- ⑥学校、地域等でスポーツを企画・指導する能力を有している。
- ⑦スポーツ科学の理論に基づいてスポーツを指導する能力を有している。
- ⑧修得した知識を組み合わせた総合的な視点からスポーツをとらえ、課題を発見し解決する能力を有している。

□ AP（アドミッション・ポリシー）

- ①高等学校までの基礎的な知識や技能をスポーツに活かすことができる。
- ②論理的思考力を持ち、自分の考えをわかりやすく表現することができる。
- ③スポーツを「する・みる・ささえる・知る」ことに興味を持ち、諸活動を通じて、自ら学び試行し行動することができる。

□ CP（カリキュラム・ポリシー）

- ①スポーツ科学を学ぶ上で必要な基礎的素養を身につける。
- ②スポーツ科学を学ぶ意義やスポーツと社会の関わりを学び入門的な知識・技能を身につける。
- ③地域社会や学校教育の現場、スポーツ施設、プロ競技団体等で必要となるスポーツ科学の基礎的知識を学修する。
- ④キャリア形成の方向性に必要となるスポーツ科学の理論的な知識を学修し、職域を踏まえ目的に応じた専門的知識を社会で活用する技能を身につける。
- ⑤スポーツ科学に関する自らの関心・興味を探求し、総合的能力を身につける。
- ⑥アクティブラーニングで学ぶことにより、高い実践力を身につける。

2026年度 入学者用 静岡産業大学 学則・規程一覧

「学則」は大学の決まりの【基盤】です。学則には、本学の目的や学部、学科の教育研究上の目的、教育課程や履修方法、単位の考え方などが掲載されています。必要に応じて、適宜、参照してください。

また、大学や学部には、様々な規程・細則・内規・申し合わせ事項などがあります。それらは本学の Web サイトに掲載されています。それらも必要に応じて、適宜、参照してください。

※入学年度の学則が適用されるため、2026年度以前の入学者は、入学時に受け取った「SSU履修ガイド」を参照してください。

静岡産業大学学則

第1章 総 則
(目 的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、本学園創立の精神に基づき人間教育を行い、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養すると共に深く専門学術の理論および応用を教授研究することにより、高質な識見と実践力に富む人材を育成し、地域産業の振興と地方文化の発展に貢献することを目的とする。

第2章 学部、学科、学生定員及び修業年限
(学部学科及び学生定員)

第2条 本学において設置する学部、学科及びその学生定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学生員	編入学生員 (3年次)	収容定員
経 営 学 部	経 営 学 科	280人	10人	1,140人
	心 理 経 営 学 科	70人	—	280人
	計	350人	10人	1,420人
ス ポ ー ツ 科 学 部	ス ポ ー ツ 科 学 科	120人	—	480人
	計	120人	—	480人

(教育研究上の目的)

- 第2条の2 本学の学部及び学科の教育研究上の目的は、次のとおりとする。
- 2 経営学部は、経営学とその周辺学問を修めることにより専門知識と分析力・洞察力を有し、それをもって組織の課題解決と創造的マネジメントを可能にする人材、さらに、幅広い教養、自ら成長する力、責任感及び発想力を培うことで、地域社会の持続的創生・発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。
- (1) 経営学科は、多様性・複雑化する現代の企業経営に関する「理論的学習」と産業界との連携による「実践的学習」により、実際のビジネスの現場で応用し活用できる能力を修得するとともに、人格的に優れ、ビジネス感覚と幅広い教養を身につけた次世代のビジネスリーダーを育成することを目的とする。
- (2) 心理経営学科は、経営や心理、保育に関する理論的・実践的な学習により、ビジネス心理、組織行動の心理及び子どもの情操心理を理解し、それをさまざまな状況での意思

決定や子ども保育に応用し、人間の種々な行動変容に結びつけることができる能力を養うとともに、さまざまな組織や企業における人間関係のストレス問題の解決に、心理学的手法を用いて貢献しうる人材を育成することを目的とする。

- 3 スポーツ科学部スポーツ科学科は、一生涯、心身ともに健康で文化的な生活を送ることができる社会を構築するため、年齢、性別、障害の有無を問わず、いつでも誰でもスポーツ文化に関わり豊かな人生を送ることができるよう、地域社会において中核的な役割を担う指導的な人材を育成することを目的とする。

(修業年限及び在学年限)

- 第3条 学部の修業年限は、4年とする。
- 2 学生は8年を超えて在学することができない。ただし、第12条（編入学）から第12条の3（再入学）までの規定により入学した学生は、第12条の4（編入学等の場合の取扱い）の規定により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

(長期履修学生)

- 第3条の2 前条の規定にかかわらず、職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する学生がその旨を申し出たときは、長期履修学生としてこれを認めることができる。
- 2 長期履修学生に関して必要な事項は、別に定める。

第3章 学年、学期及び休業日
(学 年)

第4条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(学 期)

第5条 学年を次の2学期に分ける。

- 前期 4月1日から9月30日まで
後期 10月1日から翌年3月31日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、授業期間については、年度毎に定める学年暦によるものとする。

(休業日)

第6条 休業日は、次のとおりとする。ただし、春季、夏季及び冬季休業日の期間は、年度毎に定める学年暦によるものとする。

日 曜 日

創立記念日 5月25日

国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

春季休業日

夏季休業日

冬季休業日

2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更し、または臨時の休業日を定めることができる。

3 第1項の規定にかかわらず、学長が必要と認めた場合は、休業日に授業を行うことができる。

第4章 入学、退学及び休学

（入学の時期）

第7条 入学及び編入学の時期は、学年の始めとする。ただし、教育上支障がないときは、後期に入学させることができる。

（入学資格）

第8条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

(8) その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

（入学の出願）

第9条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に検定料を添えて提出しなければならない。

2 前項の書類の提出の時期、方法及び提出すべき書類等については、別に定める。

（入学者の選抜）

第10条 入学者の選抜は、公正かつ妥当な方法により、適切な体制を整えて行うものとする。

2 前条の入学志願者については、「静岡産業大学入学者選抜規程」により選抜し、学長が合格者を決定する。

（入学手続及び入学許可）

第11条 前条により合格の通知を受けた者は、所定の期日までに本学所定の書類を提出すると共に所定の入学金を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

（編入学）

第12条 本学への編入学を志願する者があるときは、第2条（学部学科及び学生定員）に定める編入学定員の他は、欠員のある場合に限り、選考の上、学長は3年次または2年次に入学を許可することができる。

2 編入学について必要な事項は、別に定める。

（転入学）

第12条の2 他の大学に在学している者で、本学への入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の意見を聴き、学長は相当年次に入学を許可することができる。

（再入学）

第12条の3 第13条（退学）の規定による退学者及び第17条（除籍）第3号の規定による除籍者が同一学部に戻入学を願ったときは、別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の意見を聴き、学長は相当年次に入学を許可することができる。

（編入学等の場合の取扱い）

第12条の4 前3条の規定により入学を許可された者の卒業に要する授業科目及び単位数並びに在学すべき年数については、当該学部教授会の意見を聴き、学長が決定する。

（退学）

第13条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(休 学)

第14条 疾病その他やむを得ない事情により3か月以上休学することのできない者は、学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病のため休学することが適当でないと思われられる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第15条 休学の期間は前期または後期を区分とし、1年を超えることができない。ただし、特別の事由がある場合は、引き続きさらに1年まで延長することができる。

2 休学の期間は、通算して3年を超えることができない。

3 休学の期間は、第3条(修業年限及び在学年限)第2項の在学年限に算入しない。

(復 学)

第16条 休学期間を満たした者は、学長の許可を得て復学することができる。

(転学部及び転学科)

第16条の2 学生が他の学部または同一学部内の他の学科に転学科の志願をしようとするときは、その所属する学部長に願い出て、教育上支障がない場合に限り、別に定めるところにより選考の上、教授会の意見を聴き、学長の許可を得なければならない。

2 前項の規定により転学部または転学科した者の卒業に要する授業科目及び単位数並びに在学すべき年数については、当該学部教授会の意見を聴き、学長が決定する。

(留 学)

第16条の3 本学において教育上有益と認めるときは、外国の大学等に留学し学修することを認めることができる。

2 留学について必要な事項は、別に定める。

(除 籍)

第17条 次の各号の一に該当する者は、当該学部教授会の意見を聴き、学長が除籍する。

- (1) 第3条(修業年限及び在学年限)第2項に定める在学年限を超えた者
- (2) 第15条(休学の期間)第2項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
- (3) 授業料等の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (4) 死亡または長期にわたり行方不明の者

第5章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第18条 授業科目の区分は、基礎教育科目及び専門教育科目とし、これを必修科目、選択科

目及び自由科目に分けて、各年次に配当する。

2 授業科目の種類、配当年次、単位数は、経営学部については別表1、スポーツ科学部については別表2のとおりとする。

3 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより、またはこれらの併用により行うものとする。

4 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で開催させることができる。

5 前項の授業の方法により修得する単位数は、第28条(卒業に必要な単位数)に定める卒業に必要な単位数のうち、60単位を超えないものとする。

(教職課程)

第18条の2 教育職員免許法による免許状を取得しようとする者は、同法及び同法施行規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

学 部	学 科	免 許 状 の 種 類	免 許 教 科
スポーツ科学部	スポーツ科学科	中学校教諭一種免許状	保健体育
		高等学校教諭一種免許状	保健体育

3 教職課程の履修に関して必要な事項は、別に定める。

第18条の3 削除

(授業期間)

第19条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め35週にわたることを原則とする。

(単位の計算方法)

第20条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 講義、演習、実験、実習または実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授

業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の結果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(単位の授与)

第21条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

2 前項の試験に関して必要な事項は、別に定める。

(学習の評価)

第22条 試験等の評価はS、A、B、C、Dをもって表し、C以上を合格とする。

(放送大学)

第23条 放送大学との単位互換契約に基づき、放送大学で修得した単位については、本学において修得したのと同じとして認定することができる。

(他の学部における授業科目の履修等)

第23条の2 教育上有益と認めるときは、他学部との協議に基づき、学生に他学部の授業科目を履修させることができる。他学部の履修について必要な事項は、別に定める。

(他の大学または短期大学における授業科目の履修等)

第24条 教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより、他大学(第23条の放送大学を含む。)または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、第16条の3(留学)に基づき外国の大学等に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第25条 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学または高等専門学校等の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることのできる単位数は、前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第26条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学者前に大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、当該学部教授会の意見を聴き、本学に入学者後、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学者前に行った前条第1項に規定する学修を、当該学部教授会の意見を聴き、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、編入学、入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第24条第1項及び第25条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第27条 削除

第6章 卒業 (卒業に必要な単位数)

第28条 本学を卒業するためには、経営学部については別表1並びに別に定める卒業要件により、スポーツ科学部については別表2並びに別に定める卒業要件により、それぞれ124単位以上を修得しなければならない。ただし、自由科目については、卒業に必要な単位数に算入しない。

(卒業及び学士)

第29条 本学に4年(第12条(編入学)から第12条の3(再入学)までの規定により入学した者については、第12条の4(編入学等の場合の取扱い)の規定に定められた在学すべき年数)以上在学し、前条に定める単位数を修得した者については、当該学部教授会の意見を聴き、学部長が当該学科の課程を修了したことを認定し、学長が卒業を認定する。

2 卒業した者には学士の学位を授与し、学位記に専攻分野を下記のとおり付記する。

経営学部	経営学科	学士(経営学)
	心理経営学科	学士(心理経営学)
スポーツ科学部	スポーツ科学科	学士(スポーツ科学)

3 卒業の時期は、学年または学期の終わりとする。

第7章 授業料等納付金 (納付金の額)

第30条 授業料、施設設備費、実習費及びスポーツ研究実験費(以下「授業料等」という。)並びに入学金及び入学検定料の額は、別に定める。

(授業料等の納付)

第31条 授業料等は、前期にあつては4月30日まで、後期にあつては10月31日までに納付しなければならぬ。ただし、新たに入学手続をとる者については、指定期日までに納付しなければならぬ。

(授業料等の減免)

第32条 品行が方正であつて成績が優秀と認められる者については、特待生として入学金及び授業料等を減免することができる。

2 前項の特待生の選考等については、別に定める。

(授業料等の延納)

第33条 経済的事由により授業料等の納付が困難と認められる者については、別に定めるところにより、授業料等を延納させることができる。

(退学及び停学の場合の授業料等)

第34条 学期の途中で退学しようとする者については、当該学期分の授業料等を納付しなければならぬ。

2 停学期間中の授業料等は徴収する。

(休学の場合の授業料等)

第35条 休学を許可され、または命ぜられた者の休学期間中の授業料等は徴収しない。ただし、当該期間中、在籍料として各学期ごと60,000円を納付しなければならぬ。

第36条 削除

(学年の途中で卒業する場合の授業料等)

第37条 学年の途中で卒業する見込みの者は、卒業する見込みの月までの授業料等を納付するものとする。

(納付金の返還)

第38条 既納の納付金は、原則として返還しない。

第8章 教職員組織

(教職員組織)

第39条 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、助手等の教員、事務職員、技術職員、その他必要な職員を置く。職制は別に定める。

2 本学に必要なに応じ副学長、学部長を置くことができる。

第9章 大学協議会及び教授会

(大学協議会)

第39条の2 大学の運営及び教育研究にかかわる重要事項を審議し、かつ、各学部との連絡・調整を図るため、本学に大学協議会を置く。

2 大学協議会に関し、必要な事項は、別に定める。

(教授会)

第40条 本学の各学部に教授会を置く。

2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり意見を述べらるものとす。

(1) 学生の入学、卒業

(2) 学位の授与

(3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長、副学長及び学部長が司る教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

4 教授会に関し、必要な事項は、別に定める。

(教授会の構成)

第41条 教授会は、専任の教授、准教授、講師、助教をもって組織する。

2 教授会が必要と認めるときは、教授会に他の教員及び職員を出席させることができる。

第42条 削除

第10章 社会人、外国人留学生及び帰国生徒の入学

(社会人)

第43条 第8条(入学資格)に該当する入学資格を有する社会人で、本学に入学を志願する者があるときは、別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の意見を聴き、学長は社会人入学として許可する。社会人入学の選抜方法については、別に定める。

(外国人留学生)

第44条 外国人で大学等において教育を受ける目的をもって入学し、本学に入学を志願する者があるときは、別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の意見を聴き、学長は外国人留学生として入学を許可する。

2 外国人留学生について、選抜方法その他必要な事項は、別に定める。

- (帰国生徒)
- 第45条 海外から帰国した生徒で、第8条(入学資格)に定める入学資格があり、本学に入学を志願する者があるときは、別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の意見を聴き、学長は帰国生徒として入学を許可する。
- 2 帰国生徒について、選抜方法その他必要な事項は、別に定める。
- 第11章 科目等履修生及び特別聴講学生
(科目等履修生)
- 第46条 本学の特定の授業科目の履修を希望する者があるときは、本学の教習に支障のない限りにおいて別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の意見を聴き、学部長は科目等履修生として履修を許可することができる。
- 2 科目等履修生には、本学則第21条(単位の授与)及び第22条(学習の評価)の規定を準用して単位を与えまたは学習の評価を行うことができる。
- 3 科目等履修生に関して必要な事項は、別に定める。
(特別聴講学生)
- 第47条 本学において他の大学(外国の大学を含む。)または短期大学との協議により、当該大学または短期大学の学生に特別聴講学生として本学の授業科目を履修させることができる。
- 2 特別聴講学生について必要な事項は、別に定める。
- 第12章 賞 罰
(表彰)
- 第48条 学生として表彰に値する行為があった者は、学長が表彰する。
(罰 則)
- 第49条 本学の規則に違反し、または学生としての本分に反する行為をした者は、別に定める手続きにより、学長が懲戒する。
- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する学生に対して行う。
- (1) 品行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 - (3) 正当な理由がなくて出席常でない者
 - (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
- 4 罰則の内容は、別に定める。
- 第13章 図 書 館
(図書館)
- 第50条 本学に図書館を置く。
- 2 図書館に関して必要な事項は、別に定める。
- 第14章 公開講座
(公開講座)
- 第51条 地域住民の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開講することができる。
- 2 公開講座に関して必要な事項は、別に定める。
- 第15章 附属機関
(総合研究所)
- 第52条 本学に附属機関として総合研究所を置く。
- 2 総合研究所に関して必要な事項は、別に定める。
(教職センター)
- 第52条の2 本学に附属機関として教職センターを置く。
- 2 教職センターに関して必要な事項は、別に定める。
(アクゼンビリティセンター)
- 第52条の3 本学に附属機関としてアクゼンビリティセンターを置く。
- 2 アクゼンビリティセンターに関して必要な事項は、別に定める。
(経営研究センター)
- 第53条 本学経営学部附属機関として経営研究センターを置く。
- 2 経営研究センターに関して必要な事項は、別に定める。
(情報デザイン研究センター)
- 第53条の2 本学経営学部附属機関として情報デザイン研究センターを置く。
- 2 情報デザイン研究センターに関して必要な事項は、別に定める。
第53条の3 削除
(日本語教育研究センター)
- 第53条の4 本学経営学部附属機関として日本語教育研究センターを置く。

2 日本語教育研究センターに関して必要な事項は、別に定める。

(保育研究センター)

第54条の5 本学経営学部附属機関として保育研究センターを置く。

2 保育研究センターに関して必要な事項は、別に定める。

(スポーツ教育研究センター)

第54条 本学スポーツ学部附属機関としてスポーツ教育研究センターを置く。

2 スポーツ教育研究センターに関して必要な事項は、別に定める。

(スポーツ医科学研究センター)

第54条の2 本学スポーツ科学部に附属機関としてスポーツ医科学研究センターを置く。

2 スポーツ医科学研究センターに関して必要な事項は、別に定める。

第16章 学則の改正

(学則の改正)

第55条 この学則の改正は、大学協議会及び理事会の議決を経て行う。

第17章 雑 則

(細 則)

第56条 この学則の施行に関し、必要な事項は、大学協議会及び各学部教授会の意見を聴き、学長が別に定める。

附 則

1 この学則は、平成5年12月21日（文部大臣の認可の日）から施行する。

2 平成6年度から8年度における経営栄養学科の収容定員は、第2条の規定にかかわらず次のとおりとする。

平成6年度 180人 昼間主コース 140人 夜間主コース 40人

平成7年度 360人 昼間主コース 280人 夜間主コース 80人

平成8年度 570人 昼間主コース 450人（うち編入学30人）

夜間主コース 120人

附 則（平成6年11月22日改正）

1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。

2 改正後の学則は、平成7年度以降に入学する者から適用し、平成6年度以前に入学した者については、なお、従前の例による。

附 則（平成7年6月26日改正）

この学則の変更は、平成7年7月1日から施行する。

附 則（平成7年10月31日改正）

この学則の変更は、平成7年11月1日から施行する。ただし、第30条（授業料の額）の改正については、平成8年度以降に入学する者から適用し、平成7年度以前に入学した者については、なお、従前の例による。

附 則（平成8年7月23日改正）

この学則の変更は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（平成9年5月13日改正）

この学則の変更は、平成9年10月1日から施行する。

附 則（平成10年2月9日改正）

この学則の変更は、平成9年12月19日（文部大臣認可の日）から施行する。ただし、第31条（授業料等の納付）の改正については、平成10年4月1日から施行するものとし、別表第1から第3までの改正については、平成10年度以降に入学する者から適用し、平成9年度以前に入学した者については、なお、従前の例による。

附 則（平成10年11月25日改正）

この学則の変更は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成11年3月24日改正）

この学則の変更は、平成11年4月1日から施行する。

経営学部 経営環境学科 昼間主コース

年度	区分	入 学 定 員	編入学定員	収 容 定 員
平成13年度		94 人	3年次 30人	811 人
平成14年度		91	3年次 30人	682
平成15年度		88	3年次 12人	532
平成16年度		85	3年次 12人	382
平成17年度		85	3年次 12人	373
平成18年度		85	3年次 12人	367

附 則 (平成12年9月27日改正)

この学則の変更は、平成13年4月1日から施行する。

附 則 (平成13年3月21日改正)

この学則の変更は、平成13年4月1日から施行する。

附 則 (平成13年5月23日改正)

この学則の変更は、平成13年4月1日から適用する。

附 則 (平成14年2月27日改正)

この学則の変更は、平成14年4月1日から施行する。

附 則 (平成14年3月20日改正)

この学則の変更は、平成14年4月1日から施行する。ただし、別表第1の改正については、平成14年度以降に入学する者から適用し、平成13年度以前に入学した者については、なお、従前の例による。

附 則 (平成14年5月29日改正)

この学則の変更は、平成14年7月1日から施行する。

附 則 (平成15年1月22日改正)

この学則の変更は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成15年3月19日改正)

この学則の変更は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成15年9月24日改正)

この学則の変更は、平成16年4月1日から施行する。

- 1 この学則の変更は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 第2条(学部学科及び学生定員)の規定にかかわらず、収容定員は、平成16年度から平成18年度までの間、次のとおりとする。

附 則 (平成11年9月22日改正)

この学則の変更は、平成11年10月1日から施行する。

附 則 (平成11年11月24日改正)

1 この学則の変更は、平成12年4月1日から施行する。

2 第2条(学部学科及び学生定員)の規定にかかわらず、入学定員及び収容定員は、平成12年度から平成18年度までの間、次のとおりとする。

国際情報学部 国際情報学科

年度	区分	入 学 定 員	編入学定員	収 容 定 員
平成12年度		288 人	3年次 10人	898 人
平成13年度		276	3年次 10人	1,184
平成14年度		264	3年次 10人	1,148
平成15年度		252	3年次 10人	1,100
平成16年度		240	3年次 10人	1,052
平成17年度		240	3年次 10人	1,016
平成18年度		240	3年次 10人	992

附 則 (平成12年2月23日改正)

この学則の変更は、平成12年4月1日から施行する。ただし、別表第1の改正については、平成12年度以降に入学する者から適用し、平成11年度以前に入学した者については、別に定める統替規程による。

附 則 (平成12年3月22日改正)

この学則の変更は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (平成12年4月26日改正)

1 この学則の変更は、平成12年7月28日(文部大臣認可の日)から施行する。ただし、別表第1の改正については、平成13年度以降に入学する者から適用し、平成12年度以前に入学した者については、なお、従前の例による。

2 第2条(学部学科及び学生定員)の規定にかかわらず、入学定員及び収容定員は、平成13年度から平成18年度までの間、次のとおりとする。

経営学部 経営環境学科

年度	収 容 定 員	
	昼間主コース	夜間主コース
平成16年度	397 人	48 人
平成17年度	403	32
平成18年度	412	16

経営学部 情報マネジメント学科

年度	収 容 定 員	
	昼間主コース	夜間主コース
平成16年度	541 人	72 人
平成17年度	566	48
平成18年度	591	24

附 則 (平成16年2月25日改正)

この学則の変更は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成16年3月17日改正)

この学則の変更は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年2月23日改正)

1 この学則の変更は、平成17年4月1日から施行する。ただし、別表第1、第2及び第5の改正については、平成17年度以降に入学する者から適用し、平成16年度以前に入学した者については、なお、従前の例による。

2 第2条(学部学科専攻及び学生定員)の規定にかかわらず、収容定員は、平成17年度から平成19年度までの間、次のとおりとする。

経営学部 経営環境学科・情報マネジメント学科

年度	経営環境学科収容定員		情報マネジメント学科収容定員	
	昼間主コース	夜間主コース	昼間主コース	夜間主コース
平成17年度	291 人	32 人	403 人	48 人
平成18年度	188	16	265	24
平成19年度	100	0	145	0

経営学部 経営学科・スポーツ経営学科

年度	区分	経営学科収容定員		スポーツ経営学科 収容定員
		経営環境専攻	情報マネジメント専攻	
平成17年度		60 人	80 人	120 人
平成18年度		120	160	240
平成19年度		180	240	360

国際情報学部 国際情報学科

年度	区分	編入学定員		収 容 定 員
		3年次	10人	
平成17年度		3年次	10	776 人
平成18年度		3年次	10	512
平成19年度		—	—	250

情報学部 情報デザイン学科・国際情報学科

年度	区分	収 容 定 員	
		情報デザイン学科	国際情報学科
平成17年度		140 人	100 人
平成18年度		280	200
平成19年度		426	304

附 則 (平成18年2月24日改正)

この学則の変更は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年11月22日改正)

この学則の変更は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年1月24日改正)

この学則の変更は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年2月21日改正)

この学則の変更は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月19日改正)

この学則の変更は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年5月28日改正)

この学則の変更は、平成20年4月1日から適用する。

経営学部 経営学科・スポーツ経営学科・心理経営学科

年度	経 営 学 部 収 容 定 員	
	経 営 学 科	ス ポー ツ 経 営 学 科
平成24年度	458 人	524 人
平成25年度	396	524
平成26年度	356	504
		180
		計
		60 人
		120
		1,040
		1,040

附 則 (平成24年5月30日改正)

この学則の変更は、平成24年5月30日から施行する。

附 則 (平成25年3月27日改正)

この学則の変更は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年3月26日改正)

1 この学則の変更は平成26年4月1日から施行する。ただし、第30条(納付金の額)の改正については、平成27年度以降に入学する者から適用し、平成26年度以前に入学した者については、なお、従前の例による。

2 前項ただし書きの規定にかかわらず、平成27年度以降に編入学、転入学及び再入学をする者に係る納付金の額は、当該者の入学する年次の在学生の例による。

附 則 (平成27年3月25日改正)

この学則の変更は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年5月27日改正)

この学則の変更は、平成27年4月1日から適用する。

附 則 (平成28年3月30日改正)

1 この学則の変更は、平成28年4月1日から施行する。

2 第2条(学部学科及び学生定員)の規定にかかわらず、収容定員は、平成28年度から平成30年度までの間、次のとおりとする。

経営学部

年度	経 営 学 部 収 容 定 員	
	経 営 学 科	ス ポー ツ 経 営 学 科
平成28年度	328 人	504 人
平成29年度	340	524
平成30年度	352	544
		274
		計
		252 人
		264
		1,128
		1,170

附 則 (平成21年3月18日改正)

1 この学則の変更は、平成21年4月1日から施行する。ただし、第30条(納付金の額)の改正については、平成22年度以降に入学する者から適用し、平成21年度以前に入学した者については、なお、従前の例による。

2 前項ただし書きの規定にかかわらず、平成22年度以降に編入学、転入学及び再入学をする者に係る納付金の額は、当該者の入学する年次の在学生の例による。

附 則 (平成21年5月27日改正)

この学則の変更は、平成21年4月1日から適用する。

附 則 (平成21年9月30日改正)

この学則の変更は、平成21年10月1日から施行する。

附 則 (平成22年3月17日改正)

1 この学則の変更は、平成22年4月1日から施行する。

2 第2条(学部学科及び学生定員)の規定にかかわらず、収容定員は、平成22年度から平成24年度までの間、次のとおりとする。

年度	経 営 学 部 収 容 定 員	
	経 営 学 科	ス ポー ツ 経 営 学 科
平成22年度	540 人	502 人
平成23年度	520	524
平成24年度	498	544
		1,042

附 則 (平成22年5月26日改正)

この学則の変更は、平成22年4月1日から適用する。

附 則 (平成22年10月29日改正)

この学則の変更は、平成22年10月1日から適用する。

附 則 (平成23年3月23日改正)

この学則の変更は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月21日改正)

1 この学則の変更は、平成24年4月1日から施行する。ただし、別表第1及び第2の改正については、平成24年度以降に入学する者から適用し、平成23年度以前に入学した者については、なお、従前の例による。

2 第2条(学部学科専攻及び学生定員)の規定にかかわらず、収容定員は、平成24年度から平成26年度までの間、次のとおりとする。

情報学部

年度	情報学部 収 容 定 員	
	情報デザイン学科	国際情報学科
平成28年度	548 人	386 人
平成29年度	524	364
平成30年度	504	344
		計
		934 人
		888
		848

附 則 (平成29年 3 月29日改正)

この学則の変更は、平成29年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成29年12月 1 日改正)

この学則の変更は、平成30年 4 月 1 日から施行する。ただし、第41条 (教授会の構成) 第1項の改正については、平成29年10月 1 日から適用する。

附 則 (平成30年 2 月14日改正)

この学則の変更は、平成30年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成31年 2 月13日改正)

1 この学則の変更は、平成31年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 条 (学部学科及び学生定員)、第 2 条の 2 (教育研究上の目的)、第 18 条 (授業科目)、第 18 条の 2 (教職課程)、第 28 条 (卒業の必要単位数) 及び第 29 条 (卒業及び学士) の改正については、平成31年度以降に入学する者から適用し、平成30年度以前に入学した者については、なお、従前の例による。

2 情報学部情報デザイン学科及び国際情報学科は、平成30年度以前の入学者並びにこれらに相当する年次に編入学した者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

3 第 2 条 (学部学科及び学生定員) の規定にかかわらず、収容定員は、平成31年度から平成33年度までの間、次のとおりとする。

年度	経 営 学 部 収 容 定 員	
	経 営 学 科	スポーツ経営学科
平成31年度	482 人	622 人
平成32年度	600	680
平成33年度	710	740
		計
		1,386 人
		1,560
		1,730

情報学部

年度	情報学部 収 容 定 員	
	情報デザイン学科	国際情報学科
平成31年度	364 人	244 人
平成32年度	244	164
平成33年度	122	82
		計
		608 人
		408
		204

附 則 (令和元年12月 6 日改正)

この学則の変更は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (令和 3 年 3 月24日改正)

1 この学則の変更は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
 2 第 2 条 (学部学科及び学生定員) の規定にかかわらず、収容定員は、令和 3 年度から令和 5 年度までの間、次のとおりとする。

経営学部

年度	経 営 学 部 収 容 定 員		
	経 営 学 科	スポーツ経営学科	心理経営学科
令和 3 年度	710 人	540 人	360 人
令和 4 年度	820	400	440
令和 5 年度	820	200	520
			計
			1,610 人
			1,660
			1,540

スポーツ科学部

年度	スポーツ科学部収容定員	
	スポーツ科学部	スポーツ科学科
令和 3 年度	120 人	
令和 4 年度	240	
令和 5 年度	360	

附 則 (令和 4 年 3 月30日改正)

1 この学則の変更は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
 2 第 2 条 (学部学科及び学生定員) の規定にかかわらず、収容定員は、令和 4 年度から令和 6 年度までの間、次のとおりとする。

経営学部

年度	経営学部 収 容 定 員		
	経営学科	スポーツ経営学科	心理経営学科
令和4年度	900人	400人	360人
令和5年度	980	200	360
令和6年度	1,060	0	360
			計
			1,660人
			1,540
			1,420

附 則 (令和5年3月29日改正)
 この学則の変更は、令和5年4月1日から施行する。
 附 則 (令和6年3月27日改正)
 この学則の変更は、令和6年4月1日から施行する。
 附 則 (令和7年3月26日改正)
 この学則の変更は、令和7年4月1日から施行する。
 附 則 (令和8年3月25日改正)
 この学則の変更は、令和8年4月1日から施行する。

別表1 (第18条・第28条)

経営学部 授業科目 一 覧 表

科目区分	授業科目名 (全学共通科目)	配当 年次	単 位 数		授業形態 (講義・演習)	備 考
			必修	選択		
基 礎	基礎ゼミナール	1	2		○	4単位選択必修
	情報処理基礎Ⅰ	1	2		○	
	情報処理基礎Ⅱ	1	2		○	
	コミュニケーションと音声表現	1	2		○	
	コミュニケーションと文章表現	1	2		○	
	地域と行政	1	2		○	
	教養講座A	1	2		○	
	教養講座B	1	2		○	
	教養講座C	1	2		○	
	教養講座D	1	2		○	
学 礎	高大連携プロジェクトA	1	2		○	
	高大連携プロジェクトB	1	2		○	
	英語Ⅰ	1	2		○	
	英語Ⅱ	1	2		○	
	英語Ⅲ	2	2		○	
	英語Ⅳ	2	2		○	
	中国語Ⅰ	1	2		○	
	中国語Ⅱ	1	2		○	
	中国語Ⅲ	2	2		○	
	中国語Ⅳ	2	2		○	
教 共	コミュニケーション英語A	1	2		○	
	コミュニケーション英語B	1	2		○	
	英語Ⅰ	2	2		○	
	英語Ⅱ	2	2		○	
	英語Ⅲ	2	2		○	
	英語Ⅳ	2	2		○	
	中国語Ⅰ	1	2		○	
	中国語Ⅱ	1	2		○	
	中国語Ⅲ	2	2		○	
	中国語Ⅳ	2	2		○	
育 通	コミュニケーション英語A	1	2		○	
	コミュニケーション英語B	1	2		○	
	英語Ⅰ	2	2		○	
	英語Ⅱ	2	2		○	
	心理学Ⅰ	1	2		○	
	心理学Ⅱ	1	2		○	
	言語学Ⅰ	1	2		○	
	言語学Ⅱ	1	2		○	
	歴史学Ⅰ	1	2		○	
	歴史学Ⅱ	1	2		○	
科 目	音楽Ⅰ	1	2		○	
	音楽Ⅱ	1	2		○	
	日本国憲法	1	2		○	
	法字Ⅰ	1	2		○	
	法字Ⅱ	1	2		○	
	社会学Ⅰ	1	2		○	
	社会学Ⅱ	1	2		○	
	経済学Ⅰ	1	2		○	
	経済学Ⅱ	1	2		○	
	環境学Ⅰ	1	2		○	
環境学Ⅱ	1	2		○		
数学Ⅰ	1	2		○		
数学Ⅱ	1	2		○		
物理学Ⅰ	1	2		○		
物理学Ⅱ	1	2		○		
化学Ⅰ	1	2		○		
化学Ⅱ	1	2		○		
生命科学Ⅰ	1	2		○		
生命科学Ⅱ	1	2		○		
情報科学Ⅰ	1	2		○		
情報科学Ⅱ	1	2		○		

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数		授業形態		備考
			必修	選択	講義	演習	
基礎教育科目	運動と健康	1	2		○		
	スポーツA	1	1		○		
	スポーツB	1	1		○		
	特別共同講義	1	2		○		

専門教育科目 (専門基礎科目)

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数		授業形態		備考
			必修	選択	講義	演習	
専門教育科目	経営学入門	1	2		○		8単位選択必修
	簿記原理Ⅰ	1	2		○		
	簿記原理Ⅱ	1	2		○		
	簿記原理Ⅲ	2	2		○		
	簿記原理Ⅳ	2	2		○		
	現代経済学A	1	2		○		
	現代経済学B	1	2		○		
	経営管理総論	1	2		○		
	マーケティング論	1	2		○		
	財務会計論	2	2		○		
	観光学入門	1	2		○		
	観光産業論	1	2		○		
	子ども家庭福祉社会学	1	2		○		

専門教育科目 (経営学科専門科目)

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数		授業形態		備考
			必修	選択	講義	演習	
専門教育科目	経営戦略論	1	2		○		
	経営組織論	1	2		○		
	人的資源管理論	1	2		○		
	国際経営論	2	2		○		
	流通論	2	2		○		
	公共経済学	2	2		○		
	国際経済学	2	2		○		

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数		授業形態		備考
			必修	選択	講義	演習	
専門教育科目	財務管理論	2	2		○		経営学科 20単位選択必修
	企業ファイナンス論	2	2		○		
	金融システム論	2	2		○		
	金融融論	2	2		○		
	原価計算論Ⅰ	2	2		○		
	原価計算論Ⅱ	2	2		○		
	財務諸表論	2	2		○		
	経営分析論	2	2		○		
	管理会計論	2	2		○		
	税務会計論	2	2		○		
	日本経済論	3	2		○		
	経済統計	3	2		○		
	企業法務	3	2		○		
	労働セキリティ法	3	2		○		
	情報セキュリティ	1	2		○		
	システムデザイン	1	2		○		
	AI・DX入門	1	2		○		
	プログラミング基礎	1	2		○		
	プログラミング応用	1	2		○		
	デジタル技術基礎	2	2		○		
デジタル技術基礎演習	2	2		○			
デザイン表現基礎	1	2		○			
デザイン表現基礎演習	1	2		○			
地域社会学	2	2		○			
地域経営論	2	2		○			
地域経営学	2	2		○			
地域産業論A	2	2		○			
地域産業論B	2	2		○			
地域自治論	2	2		○			
民法A	2	2		○			
民法B	2	2		○			
行政法	2	2		○			
観光資源論	2	2		○			
観光文化論	2	2		○			
観光マーケティング論	2	2		○			
観光マネジメント論A	2	2		○			
観光マネジメント論B	2	2		○			
経営学特殊講義A	2	2		○			
経営学特殊講義B	2	2		○			
経営学特殊講義C	2	2		○			
経営学特殊講義D	2	2		○			
経営学特殊講義E	2	2		○			

専門教育科目 (心理経営学科専門科目)

科目区分	授 業 科 目 名	配当 年次	単 位 数		授 業 形 態		備 考
			必修	選択	講義	演習	
専 門 教 育 科 目	心理学概論A	1	2	0	○		心理経営学科 20単位選択必修
	心理学概論B	1	2	0	○		
	性格心理学	1	2	0	○		
	認知心理学	1	2	0	○		
	学習心理学	1	2	0	○		
	社会心理学	2	2	0	○		
	臨床心理学概論	2	2	0	○		
	組織心理学	2	2	0	○		
	心理療法概論	2	2	0	○		
	心理学研究法	2	2	0	○		
	消費者心理学	3	2	0	○		
	心理カウンセリング概論	3	2	0	○		
	人間関係論	2	2	0	○		
	組織モチベーション論	2	2	0	○		
	感性評価論	2	2	0	○		
心理評価論	2	2	0	○			
イノベーション論	2	2	0	○			
ベンチャー企業論	2	2	0	○			
意思決定論	3	2	0	○			
行動経済学A	3	2	0	○			
行動経済学B	3	2	0	○			
感性マーケティング	2	2	0	○			
感性デザイン	2	2	0	○			
ものづくり心理学概論	3	2	0	○			
ものづくり心理学演習	3	2	0	○			
心理経営学特殊講義A	2	2	0	○			
心理経営学特殊講義B	3	2	0	○			
心理経営学特殊講義C	3	2	0	○			
心理経営学特殊講義D	3	2	0	○			
心理経営学特殊講義E	3	2	0	○			

専門教育科目 (学部共通科目)

科目区分	授 業 科 目 名	配当 年次	単 位 数		授 業 形 態		備 考
			必修	選択	講義	演習	
専 門 教 育 科 目	産官学連携講座A	1	2	0	○		4単位選択必修
	産官学連携講座B	1	2	0	○		
	産官学連携講座C	1	2	0	○		
	産官学連携講座D	1	2	0	○		
	産官学連携講座E	1	2	0	○		
	産官学連携講座F	1	2	0	○		
	産官学連携講座G	1	2	0	○		
	産官学連携講座H	1	2	0	○		
	経営学専門演習A	1	2	0	○		
	経営学専門演習B	1	2	0	○		
	経営学専門演習C	1	2	0	○		
	経営学専門演習D	1	2	0	○		
	経営学専門演習E	1	2	0	○		
	経営学専門演習F	1	2	0	○		
	経営学専門演習G	1	2	0	○		
経営学専門演習H	1	2	0	○			
経営学ゼミナールI	3	2	0	○			
経営学ゼミナールII	3	2	0	○			
卒業研究	4	6	0	○			
科 目	日本語I	1	2	0	○		
	日本語II	1	2	0	○		
	日本語III	2	2	0	○		
	日本語IV	2	2	0	○		
	日本語文章表現I	1	2	0	○		
目 的	日本語文章表現II	1	2	0	○		
	ビジネス日本語I	3	2	0	○		
	ビジネス日本語II	3	2	0	○		

(注) ※印の科目は、留学生必修。

別表2 (第18条・第28条)

スポーツ学部授業科目一覧表

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数		授業形態	備考
			必修	選択		
基礎教育科目(全学共通科目)	基礎ゼミナール	1	2		演習	
	情報処理基礎Ⅰ	1	2		講義	
	情報処理基礎Ⅱ	1	2		講義	
	コミュニケーションと音楽表現	1	2		演習	
	コミュニケーションと文筆表現	1	2		演習	
	地域と行政	1	2		講義	
	教養講座A	1	2		講義	
	教養講座B	1	2		講義	
	教養講座C	1	2		講義	
	教養講座D	1	2		講義	
基礎学	高大連携プロジェクトA	1	2		演習	
	高大連携プロジェクトB	1	2		演習	
	英語Ⅰ	1	2		講義	
	英語Ⅱ	1	2		講義	
	英語Ⅲ	2	2		講義	
	英語Ⅳ	2	2		講義	
	中国語Ⅰ	1	2		講義	
	中国語Ⅱ	1	2		講義	
	中国語Ⅲ	2	2		講義	
	中国語Ⅳ	2	2		講義	
共通教育	コミュニケーション英語A	1	2		講義	
	コミュニケーション英語B	1	2		講義	
	英語会話Ⅰ	2	2		講義	
	英語会話Ⅱ	2	2		講義	
	心理	1	2		講義	
	文学	1	2		講義	
	言語学	1	2		講義	
	歴史	1	2		講義	
	音楽	1	2		講義	
	美術	1	2		講義	
科目	日本国憲法	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
科目	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	
	社会学	1	2		講義	

科目区分	授 業 科 目 名	配 当 年 次	単 位 数		授 業 形 態		備 考
			必 修	選 択	講 義	演 習	
基 礎 教 育 科 目	運 動 と 健 康	1			○		
	ス ポ ー ツ A	1	1			○	
	ス ポ ー ツ B	1	1			○	
特 別 共 同 講 義	講 義	1	2			○	

科目区分	授 業 科 目 名	配 当 年 次	単 位 数		授 業 形 態		備 考
			必 修	選 択	講 義	演 習	
専 門	体 方 学 概 論	1	2			○	
	ライフステージ運動論	1	2			○	
	からだ気づき	1	2			○	
	トレーニング科学	1	2			○	
	アダプテッドスポーツ論	1	2			○	
	ストレスと健康の科学	1	2			○	
	スポーツ文化論	1	2			○	
	教育原理	1	2			○	
	スポーツトレーニング論	1	2			○	
	解剖生理学	1	2			○	
	体育原理	1	2			○	
	スポーツ経営管理論	2	2			○	
	運動生理学	2	2			○	
	体育・スポーツ史	2	2			○	
	スポーツバイオメカニクス	2	2			○	
教 育 科	運動方法学	2	2			○	
	スポーツ心理学	2	2			○	
	スポーツ医学(整形外科)	2	2			○	
	スポーツ医学(内科)	2	2			○	
	公衆衛生学	2	2			○	
	健康づくり運動演習	2	2			○	
	女性とスポーツ	2	2			○	
	測定評価演習	2	2			○	
	機能解剖学	2	2			○	
	スポーツ栄養学	2	2			○	
	ヘルスプロモーション概論	2	2			○	
	生心理学	2	2			○	
	学校保健	2	2			○	
	レクリエーション論	2	2			○	
	トレーニング演習	2	2			○	
専 門 科	コンディショニング論	2	2			○	
	トレーニング演習Ⅰ	2	2			○	
	スポーツコーチング論	3	2			○	
	スポーツ社会学	3	2			○	
	加齢と老化の科学	3	2			○	
	フィットネス概論	3	2			○	
	コンディショニング演習	3	2			○	
	ダンスと教育	3	2			○	
	救急処置法	3	2			○	
	アスレティックトレーニング論	3	2			○	
	臨床心理学	3	2			○	
	スポーツ行政論	3	2			○	
	スポーツデータ解析	3	2			○	
	レジスタンストレーニングの科学	3	2			○	

科目区分	授業科目名	配当年次	単位 必修	単位 選択	自由	授業形態		備考
						講義	演習	
専	トレーニング指導演習Ⅰ	3		2			○	
	トレーニング指導演習Ⅱ	3		2			○	
	リコンディショニング演習	3		2			○	
	スポーツ統計学	3		2			○	
門	メンタルトレーニング演習	3		2			○	
	認知動作型トレーニング演習	3		2			○	
	トレーニング演習Ⅱ	4		2			○	
	スポーツパフォーマンスの分析	4		2			○	
教	保健体育科教育法Ⅰ	2		2			○	
	保健体育科教育法Ⅱ	3		2			○	
	保健体育科教育法Ⅲ	3		2			○	
	保健体育科教育法Ⅳ	4		2			○	
学	体づくり運動	2		2			○	
	ダンス	2		1			○	
	武道(柔道)	2		1			○	
	球技(バスケットボール)	2		1			○	
	球技(バレーボール)	2		1			○	
	球技(サッカー)	2		1			○	
	球技(ハンドボール)	2		1			○	
	球技(ソフトボール)	2		1			○	
	水泳	3		1			○	
	陸上競技	3		1			○	
育	器械運動	3		1			○	
	球技(テニス)	3		1			○	
	球技(バドミントン)	3		1			○	
	スポーツ科学特殊講義A	2		2			○	
科	スポーツ科学特殊講義B	2		2			○	
	スポーツ科学概論	1		2			○	
	スポーツ科学専門演習A	2		2			○	
	スポーツ科学専門演習B	2		2			○	
	スポーツ科学専門演習C	2		2			○	
	スポーツ科学専門演習D	2		2			○	
	スポーツ科学専門演習E	2		2			○	
	スポーツ科学専門演習F	2		2			○	
	スポーツ科学専門演習G	2		2			○	
	スポーツ科学専門演習H	2		2			○	
	スポーツ科学研究法	3		2			○	
	専門ゼミナールⅠ	3		2			○	
専門ゼミナールⅡ	3		2			○		
卒業	業 研 究	4		6			○	

2単位選択必修

4単位選択必修

科目区分	授業科目名	配当年次	単位 必修	単位 選択	自由	授業形態		備考
						講義	演習	
専	データーマネジメント基礎	1		2			○	
	データーサイエンス基礎	2		2			○	
	データーサイエンス基礎実践	3		2			○	
	統計学	2		2			○	
門	統計調査論	3		2			○	
	スポーツ産業論	1		2			○	
	スポーツ経済学	1		2			○	
	スポーツマネジメント入門	1		2			○	
	スポーツマーケティング論	2		2			○	
	スポーツマーケティング戦略論	3		2			○	
	スポーツ組織行動論	3		2			○	
	スポーツジャーナリズム論	3		2			○	
	地域スポーツ政策論	3		2			○	
	スポーツイベント企画運営演習A	3		2			○	
スポーツイベント企画運営演習B	3		2			○		
教	保育内容概論	1		2			○	
	保育内容の理解と方法	2		2			○	
	スポーツ保育	1		2			○	
	子どもスポーツ論	2		2			○	
育	子どものスポーツ遊び	2		2			○	
	リトミック	1		2			○	
	スポーツ保育指導法Ⅰ	2		2			○	
	スポーツ保育指導法Ⅱ	2		2			○	
科	スポーツ保育指導法Ⅲ	3		2			○	
	スポーツ保育実習	3		1			○	
	キャリアデザイン概論	1		2			○	
	キャリアデザイン講座Ⅰ	2		2			○	
	キャリアデザイン講座Ⅱ	3		2			○	
	キャリアデザイン講座Ⅲ	3		2			○	
	キャリアデザイン実践	4		2			○	
	インターンシップ	3		2			○	
	社会実践講座A	1		2			○	
	社会実践講座B	1		2			○	
	社会実践講座C	2		2			○	
	海外研修A	1		2			○	
海外研修B	1		2			○		
海外研修C	1		2			○		
全	全学特殊講義A	1		2			○	
	全学特殊講義B	1		2			○	
	全学特殊講義C	1		2			○	

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数			授業形態		備考
			必修	選択	自由	講義	演習	
教職関連科目	教職入門（教師論）	1		2	0			
	教育社会学	1		2	0			
	教育心理学	3		2	0			
	特別支援教育総論	1		2	0			
	教育課程と方法	2		2	0			
	道徳教育	1		2	0			
	<small>特別活動及び総合的な学習の時間の指導法</small>	2		2	0			
	教育方法論	2		2	0			
	情報通信技術の活用	2		1	0			
	生徒指導	3		2	0			
	教育相談	3		2	0			
	進路指導	3		2	0			
	事前事後指導	3・4		2	0		○	
	教育実習Ⅰ	4						○
教育実習Ⅱ	4		4				○	
教職実践演習（中・高）	4		2				○	

(注)教職関連科目は、卒業要件単位に算入しない。

静岡産業大学の規程について

静岡産業大学には「学則」をはじめとする様々な規程があります。※以下は、新静岡学園法人規程並びに静岡産業大学規程のうち、学生の皆さんにより関連深い規程の名称を記載しています。

学則等

学則

(学部間の履修に関する申し合わせ事項)

(成績評価基準等に関する細則)

教務関連規程

教職課程履修規程

保育士養成課程履修規程

試験規程

留学規程

転学部規程

転学科規程

長期履修学生規程

(長期履修学生規程に関するガイドライン)

卒業延期制度に関する規程

学生海外短期研修奨励金給付規程

資格・免許取得奨励金給付規程

科目等履修生規程

学生生活関連規程

特待生規程

在学生特待生規程

経済援助奨学金給付規程

大化け教育資金貸与規程

(大化け教育資金貸与規程に関するガイドライン)

社会人学生修学・学事奨励金給付規程

特別教育奨励賞授与規程

学生懲戒規程

課外活動援助費支給規程

静岡産業大学障害学生支援に関する基本方針

静岡産業大学修学における「合理的配慮」のガイドライン

静岡産業大学における性的マイノリティへの対応ガイドライン

地震防災規程

学校法人新静岡学園ハラスメントの防止等に関する規程

学校法人新静岡学園ソーシャルメディアガイドライン

就職支援関連規程

就職斡旋に関する規程

学費関連規程

学費等納付規程

入学金減免規程

外国人留学生授業料等減免規程

情報システム関連規程

情報ネットワークシステム利用規程

学校法人新静岡学園情報セキュリティポリシー

各種規程は、本学の Web サイト「規程集」(※)に掲載されています。学生の皆さんは、それらを必要に応じて、適宜、参照してください。

※「規程集」へのアクセス方法は以下のとおりです。

〔静岡産業大学 HP〕 → 〔大学案内〕 → 〔情報公開〕 → 〔規程集〕

本学の Web サイト「規程集」には、最新版の学則が掲載されています。学則は一部改正されることがありますが、学生の皆さんには入学年度の学則が適用されます。

2026

SSU履修ガイド

